

昭島市教育委員会の事務事業
に関する点検及び評価報告書
(令和6年度分)

令和7年8月

昭島市教育委員会

目 次

	頁
第1章 報告書の作成にあたって	
1 点検・評価の実施方針・・・・・・・・・・・・・・・・	2
2 昭島市教育委員会の教育目標及び基本方針・・・・・・・・	3
3 昭島市総合教育会議・・・・・・・・・・・・・・・・	7
第2章 教育委員会の組織及び活動状況	
1 教育委員会・・・・・・・・・・・・・・・・	8
2 教育委員会の事務事業を主管する組織・・・・・・・・	8
3 教育委員会の会議・・・・・・・・・・・・・・・・	10
4 教育委員会の活動・・・・・・・・・・・・・・・・	11
第3章 主要施策の点検及び評価	
評価シートの見方・・・・・・・・・・・・・・・・	15
学校教育の推進	
基本施策1 確かな学力の定着・・・・・・・・・・・・・・・・	17
基本施策2 豊かな心の醸成・・・・・・・・・・・・・・・・	25
基本施策3 健やかな体の育成・・・・・・・・・・・・・・・・	32
基本施策4 輝く未来に向かって・・・・・・・・・・・・・・・・	38
生涯学習の推進	
基本施策1 文化芸術活動の促進・・・・・・・・・・・・・・・・	53
基本施策2 文化財の保護・調査・活用・・・・・・・・	60
基本施策3 スポーツ・レクリエーションの振興・・・・・・・・	64
基本施策4 図書館活動の充実・・・・・・・・・・・・・・・・	69
基本施策5 生涯を通じた学習活動の推進・・・・・・・・	76
第4章 点検及び評価に関する外部評価員の評価と意見・・・・・・・・	83
第5章 資料	
参考資料一覧・・・・・・・・・・・・・・・・	89

第Ⅰ章 報告書の作成にあたって

Ⅰ 点検・評価の実施方針

Ⅰ 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条の規定により、教育委員会は、効果的な教育行政の推進を図るとともに教育委員会活動の透明性をより高め説明責任を果たすため、毎年、自らの権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果を議会に報告し、公表することが義務付けられています。

教育委員会では、教育の振興のための施策に関する基本的な計画として、更なる教育活動の推進に向けた『昭島市教育振興基本計画（令和 4 年度～令和 8 年度）』を策定し、教育施策を推進しています。この計画に基づく教育施策及び事務事業について、学識経験者（以下「外部評価員」という。）の協力を得て、毎年度点検評価を実施し、点検評価報告書（以下「報告書」という。）としてまとめています。

この報告書において課題とされた事項について、更に検討を加え、昭島市の更なる教育施策の推進に向け、学校教育、生涯学習の充実に努めてまいります。

Ⅱ 点検・評価報告書の実施方法

報告書は、「効果的な教育行政の推進」と「市民への説明責任を果たすこと」を目的として作成しています。PDCAサイクルを意識して、着実な進行管理のもと、令和 4 年度を起点とする新たな『昭島市教育振興基本計画（令和 4 年度～令和 8 年度）』の実効性を高めていくことを目指し次のとおり実施します。

- ① 『昭島市教育振興基本計画（令和 4 年度～令和 8 年度）』に掲載している「主な取組」をすべて評価したうえで、施策ごとの評価を決定する。
- ② 「主な取組」のうち、令和 6 年度（以下「評価対象年度」という。）における重点取組の取組実績を報告書に掲載する。
- ③ 評価対象年度における実績と課題を総括するとともに、評価基準を設け、分かりやすく記載し、次年度の取組の方向性を示す。
- ④ 教育委員会が委嘱した外部評価員の意見を付す。
- ⑤ 報告書は、市ホームページで公表する。

2 昭島市教育委員会の教育目標及び基本方針

昭島市教育委員会は、市民憲章と人間尊重の精神を基調とした教育を推進する。

子どもたちが常に心身ともに健康で生きがいを持ち、創造性に富み、社会の一員としての自覚を有し、多様性を認め合い、人間性豊かな市民として成長することを目指し、その実現に努める。

学校教育においては、学校、家庭、地域の密接な連携のもと、子どもたちが生涯を通して未来社会の変化に対応できるよう、自ら考え判断して行動する力を培い、国際的視野を広げ、豊かな心と健やかな体をはぐくみ、個性を生かすための教育を推進する。

社会教育においては、地域の文化、教育、スポーツ活動を通して市民誰もが、あらゆる機会に、生きる喜び、学ぶ楽しさを得られ、生涯にわたって主体的に学び続けることができ、市民相互と地域のつながりを育てていく生涯学習社会の実現を目指す。

子どもから高齢者までが生涯にわたっていきいきと学習できる環境の充実を図り、もって豊かな文化の創造とふるさと昭島を愛する心を育て、且ついのちの大切さや環境との共生を考え、ひろく国際社会に貢献できる人材の育成を図る。

【令和4（2022）年1月20日昭島市教育委員会決定】

【学校教育の目標及び基本方針】

1 目標

教育委員会は、市民憲章と人間尊重の精神を基調とし、広く国際社会において信頼と尊敬の得られる知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童・生徒を育成します。また、持続可能な社会づくりに貢献する資質・能力を育むため、全教育活動にSDGsの目標に関連させた学習を展開し、学校・家庭・地域の密接な連携のもと、ふるさと昭島の自然や文化を愛し、社会に主体的に貢献できる「たくましい昭島っ子」の育成を目指します。

2 基本方針

教育委員会は、日本国憲法及び教育基本法に基づき、人権尊重の理念を正しく理解し、思いやりの心や社会生活の基本的ルールを身に付け、社会に貢献しようとする精神を養うための教育を実施するとともに、学習指導要領の理念である「主体的・対話的で深い学び」の実現のため、昭島市の教育振興基本計画に掲げた4つの施策、「確かな学力の定着」「豊かな心の醸成」「健やかな体の育成」「輝く未来に向かって」を推進します。

学校は、本目標及び基本方針に基づいて、それぞれが立案する教育推進計画の実現に向けて教育活動を推進します。

○確かな学力の定着

- ・基礎的・基本的な知識及び技能の習得、思考力、判断力、表現力等の育成、主体的に学習に取り組む態度を育成するため、ICTを効果的に活用するなど、主体的・対話的で深い学びの視点による授業改善と、「個別最適な学び」「協働的な学び」の実現を図ります。
- ・児童・生徒の発達段階を踏まえ、個に応じた指導を充実させるとともに、児童・生徒の学習習慣の確立を図ります。

○豊かな心の醸成

- ・自分の大切さとともに他の人の大切さを認め、多様な価値観を基に自己の生き方を深められるよう人権教育、道徳教育や体験的な学習を充実させ、児童・生徒の豊かな心を育成します。
- ・児童・生徒の健全育成を図るための取組を推進し、教育相談体制の充実を図ります。

○健やかな体の育成

- ・児童・生徒が健康で安全な生活と豊かなスポーツライフの実現を目指していけるよう、生涯にわたって運動に親しむ態度や関心・意欲を高める取組を推進し、健やかな体の育成を図ります。
- ・食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けられるよう、食育を推進します。

○輝く未来に向かって

- ・義務教育を円滑にスタートさせるため、就学前教育との連携の充実と、義務教育9年間を見通した育てたい児童・生徒像に基づいた小・中学校の連携を図ります。
- ・国際社会において活躍できるグローバルな人材の育成を図るため、伝統・文化に関する教育、環境教育、国際理解教育を推進します。
- ・社会に開かれた教育課程を通して学校の教育力の向上を図るとともに、キャリア教育を推進し、将来、児童・生徒が自立できる基礎を培う指導の充実を図ります。

【生涯学習推進の目標及び基本方針】

1 目標

昨今の少子高齢化、高度情報化、グローバル化の進展により、市民を取り巻く生活環境が急激に変化する中、人々のライフスタイルや価値観も多様化し、日常生活全般にわたる様々な課題が生じています。特に、人生100年時代には、SDGsの理念である“誰一人取り残さない”を基本に、高齢者から若者まですべての人々に活躍の場があり、元気に活躍し続けられる社会、安心して暮らすことができる社会をつくる必要があります。

そのためには、誰もが生涯にわたり必要な学習を行い、その成果を生活や地域での活動に生かすことができる生涯学習社会の実現へ向けて、市民それぞれの能力や必要性に応じ、「だれもが、いつでも、どこでも」気軽に学習し、互いにふれあい、家庭や地域の教育力を高める多様な学習活動をはじめ、スポーツ、文化芸術など市民の自主性を尊重した生涯学習を推進する必要があります。このような学びを推進するための目標を「市民相互と地域のつながりを育てる生涯学習」と定めます。

2 基本方針

教育委員会は、市民の生涯学習を推進するための機関として、学習のきっかけづくりから、学習活動の支援、様々な生活課題の解決に向けた自主的な学習、更に文化芸術の振興、スポーツ活動への支援など、市民それぞれのニーズに応じた学習環境の整備を図る必要があります。

そのため、市民の自己実現を求める多様なニーズを的確に把握しながら、市長部局や教育機関をはじめ、関係行政機関・民間活動団体等との連携を図り、昭島市総合基本計画に沿って総合的かつ体系的な施策の展開を図ります。

具体的には、「文化芸術活動の促進」、「文化財の保護・調査・活用」、「スポーツ・レクリエーションの振興」、「図書館活動の充実」、「生涯を通じた学習活動の推進」の5つの施策を推進します。

○文化芸術活動の促進

誰もが文化芸術を身近に接する機会や活動する場と機会の充実に努めます。

多様で幅広い分野との連携を図りながら文化芸術を中心とした地域の活性化を推進します。

○文化財の保護・調査・活用

地域の暮らしのなかで守られ、継承されてきた文化財を、先人の知と技の結集と捉え、貴重な地域文化として活用するとともに、その調査・研究と保護・保存の推進を図ります。

○スポーツ・レクリエーションの振興

市民一人ひとりが、いつでも、どこでも、いつまでも、スポーツやレクリエーションに親しみ、交流を深め、心身ともに健康で明るく豊かな生活を送ることができるよう施策を推進します。

○図書館活動の充実

本と情報を仲立ちとして人が集い、つながり、新たな価値を創造する場となるよう、多様な情報・資料の提供に努めるとともに、図書館を拠点とした活動の支援を図ります。

○生涯を通じた学習活動の推進

誰もが生涯にわたり自分の意思で自由に学ぶことができる環境を整え、市民相互と地域のつながりと絆を育てます。

基本施策

【学校教育の推進】

基本施策 1 確かな学力の定着

- 1 基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着と主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進
- 2 理数教育の充実
- 3 読書活動の推進と言語能力の育成
- 4 個に応じた支援の充実

基本施策 2 豊かな心の醸成

- 1 人権教育の推進
- 2 道徳教育の充実
- 3 体験活動の充実
- 4 健全育成の推進

基本施策 3 健やかな体の育成

- 1 体力向上の推進
- 2 学校給食・食育の充実
- 3 学校保健安全の推進

基本施策 4 輝く未来に向かって

- 1 幼・保・小・中が連携した教育の充実
- 2 日本の伝統・文化に関する教育の充実
- 3 学校、家庭、地域・社会との連携・協働
- 4 学校の教育力の向上
- 5 教育環境の整備
- 6 情報教育の推進
- 7 環境教育の推進
- 8 国際理解教育の推進
- 9 キャリア教育の推進

【生涯学習の推進】

基本施策 1 文化芸術活動の促進

- 1 文化芸術活動への支援
- 2 文化芸術に接する機会の充実
- 3 多様な主体と連携した文化芸術活動の促進

基本施策 2 文化財の保護・調査・活用

- 1 文化財の保護・保存・調査・研究の推進
- 2 文化財の活用と継承の支援

基本施策 3 スポーツ・レクリエーションの振興

- 1 スポーツ・レクリエーション活動の普及・促進
- 2 スポーツ・レクリエーション環境の整備
- 3 人材の育成・地域交流の促進

基本施策 4 図書館活動の充実

- 1 多様な情報・資料の提供
- 2 図書館利用の促進
- 3 図書館を拠点とした活動の支援
- 4 誰一人取り残さない環境の整備

基本施策 5 生涯を通じた学習活動の推進

- 1 学習機会の提供
- 2 学習活動の支援
- 3 学習成果の活用

3 昭島市総合教育会議

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正に伴い、地域の実情に応じ、教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱を定めることとなりました。

令和3年12月16日に開催された総合教育会議での協議を踏まえ、基本構想における、まちづくりの理念である「人間尊重」と「環境との共生」のもと、「教育に関する大綱」を定めました。

この大綱により、昭島市教育振興基本計画の確実な実現に努めます。

昭島市教育に関する大綱

基本構想における、まちづくりの理念である「人間尊重」と「環境との共生」のもと、本市の教育に関する大綱を次のとおり定めます。

- 市民憲章と人間尊重の精神を基調とした教育を推進します。
- 子どもたちが常に心身ともに健康で生きがいを持ち、創造性に富み、社会の一員としての自覚を有し、多様性を認め合い、人間性豊かな市民として成長することを目指し、その実現に努めます。
- 学校教育においては、学校、家庭、地域の密接な連携のもと、子どもたちが生涯を通して未来社会の変化に対応できるよう、自ら考え判断して行動する力を培い、国際的視野を広げ、豊かな心と健やかな体をはぐくみ、個性を生かすための教育を推進します。
- 社会教育においては、地域の文化、教育、スポーツ活動を通して市民誰もが、あらゆる機会に、生きる喜び、学ぶ楽しさを得られ、生涯にわたって主体的に学び続けることができ、市民相互と地域のつながりを育てていく生涯学習社会の実現を目指します。
- 子どもから高齢者までが生涯にわたっていきいきと学習できる環境の充実に図り、もって豊かな文化の創造とふるさと昭島を愛する心を育て、且ついのちの大切さや環境との共生を考え、ひろく国際社会に貢献できる人材の育成を図ります。

第2章 教育委員会の組織及び活動状況

教育委員会は、都道府県及び市町村等に置かれる合議制の執行機関です。創造的で人間性豊かな人材を育成するため、生涯学習の推進をはじめ、教育、文化、スポーツの振興など幅広い分野にわたる教育行政を一体的に推進していく上で、教育委員会制度は重要な役割を担っています。

1 教育委員会

令和7年3月31日現在

職 名	氏 名	任 期 期 間	期数
教 育 長	山 下 秀 男	令和4年4月1日から 令和7年3月31日まで	2期
委 員 (教育長職務代理)	紅 林 由紀子	令和3年6月24日から 令和7年6月23日まで	6期
委 員	氏 井 初 枝	令和6年4月1日から 令和10年3月31日まで	3期
委 員	松 本 芳 之	令和4年12月25日から 令和8年12月24日まで	1期
委 員	眞 如 むつ子	令和5年4月8日から 令和9年4月7日まで	1期

2 教育委員会の事務事業を主管する組織

教育委員会事務局

令和6年4月1日現在

部	課	係	主 な 分 掌 事 務
学 校 教 育 部	教育総務課	庶務係	・教育委員会の会議に関すること。 ・条例、規則及び規程に関すること。 ・予算及び経理に関すること。 ・事務局及び課内庶務に関すること等
		学務係	・学齢児童及び学齢生徒の就学並びに児童生徒及び幼児の入 学、転学及び退学に関すること。 ・通学区域に関すること。 ・学級編制に関すること。 ・児童及び生徒に係る就学奨励に関すること等
		施設係	・教育施設の建設計画に関すること。 ・教育機関の設置、管理及び廃止の手続きに関すること。 ・教育施設の新営工事及び維持修繕工事に関すること。 ・教育施設関係の補助金に関すること等
		GIGAスクール 推進担当	・学校の電子計算組織の管理及び運用に関すること。
	指導課	指導係	・指導事務予算に関すること。 ・教育計画事業の推進に関すること。 ・教科書採択に関すること。 ・教育振興基金に関すること等
		教職員係	・教職員の任免の内申その他人事に関すること。 ・教職員の服務に関すること。 ・教職員の給与、旅費、退職手当等に関すること。 ・教職員の福利厚生に関すること等

部	課	係	主 な 分 掌 事 務
学 校 教 育 部	指導課	特別支援教育係	・特別支援教育の推進に関する事。 ・教育相談及び適応指導に関する事。 ・就学、転学等の相談に関する事。 ・巡回相談に関する事等
		指導主事	・教育課程編成、実施に関する事。 ・教育施策の企画、実施に関する事。 ・校内研究等、教職員の研修に関する事。 ・学校教育に関する専門的事項の指導に関する事。
	学校給食課	庶務係	・学校給食の計画に関する事。 ・学校給食共同調理場において調理される学校給食に係る次の事務に関する事。 (1) 献立に関する事。 (2) 調理に関する事。 (3) 食品の管理に関する事。 (4) 衛生管理に関する事。 ・配送に関する事。 ・学校給食運営審議会に関する事。 ・業者登録に関する事等
		学校給食費担当	・学校給食費に関する事。 ・給食物資の支払いに関する事。
		自校給食担当	・給食調理施設を有する学校において調理される学校給食に係る事務に関する事。
		給食施設整備担当	・学校給食の施設整備に関する事。
生 涯 学 習 部	社会教育課	社会教育係	・社会教育及び生涯学習の総合調整に関する事。 ・社会教育及び生涯学習に係る行政相談に関する事。 ・社会教育関係団体の育成及び援助に関する事等
	スポーツ振興課	スポーツ振興係	・スポーツ推進委員に関する事。 ・生涯スポーツの推進に関する事。 ・関係団体との連携及び協働に関する事。 ・スポーツの指導者の研修に関する事。 ・総合スポーツセンターの管理及び運営に関する事等
	アキシマエンス管理課	管理係	・指定管理業務の評価・モニタリングに関する事。 ・図書の購入及び廃棄の決定に関する事。 ・学校等市内関係機関及び団体との連携調整に関する事。 ・図書館協議会に関する事。
		文化財係	・市史及び文化財の保護、調査に関する事。 ・郷土資料室の管理運営に関する事。
	市民会館・公民館	管理係	・市民会館・公民館の施設及び設備の維持管理に関する事。 ・市民会館・公民館の利用承認並びに使用料の徴収、付属設備等の使用料の免除及び還付に関する事。 ・市民会館・公民館の庶務に関する事。 ・市民会館の自主文化事業に関する事等
		事業係	・公民館運営審議会の庶務に関する事。 ・各対象別、課題別講座等の開設に関する事。 ・討論会、展示会、音楽会、美術展その他の集会に関する事。 ・公民館事業に係る情報収集及び提供に関する事等

3 教育委員会の会議

I 教育委員会の活動情報

① 教育委員会開催状況

定例会：12回 臨時会：0回

② 審議事項

ア	議決事項（議案）	21件	
イ	協議事項（協議題）	5件	
ウ	報告事項（説明あり）	92件	
エ	報告事項（資料配布のみ）	30件	※説明を省略し、資料配布のみとした案件

会議の付議案件と結果は下表のとおり

開催日	議案 番号等	件名	結果
令和6年 4月18日	8号	昭島市スポーツ推進委員の委嘱について	可決
5月16日	9号	昭島市学校運営協議会委員の任命について	可決
	10号	昭島市青少年教育協力者感謝状被贈呈者について	可決
	協議	文化財の指定に関する諮問について	承認
7月18日	11号	昭島市公立学校学区に関する規則の一部を改正する規則について	可決
	12号	昭島市学校給食運営審議会委員の委嘱について	可決
	13号	昭島市民図書館協議会委員の委嘱について	可決
	14号	昭島市指定文化財の指定について	可決
8月9日	15号	昭島市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例施行規則の一部を改正する規則について	可決
	16号	令和7年度昭島市立学校で使用する教科用図書の採択について	可決
	協議	昭島市教育委員会の事務事業に関する点検及び評価報告書（令和5年度分）について	承認
9月6日	17号	昭島市社会教育委員の委嘱について	可決
	18号	昭島市公民館運営審議会委員の委嘱について	可決
10月10日	19号	昭島市教育委員会表彰被表彰者について	可決
	20号	昭島市奨学金等支給条例に基づく奨学生の決定について（非公開）	可決
	21号	昭島市文化財保護審議会委員の委嘱について	可決
11月21日	22号	令和7年度昭島市立学校における教育課程編成基準について	可決
令和7年 1月17日	協議	昭島市学校運営協議会の設置について	承認
	協議	文化財の指定に関する諮問について	承認

開催日	議案 番号等	件名	結果
2月13日	1号	昭島市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例施行規則の一部を改正する規則について	可決
	2号	令和7年度昭島市公立学校長等の任命に関する内申について (非公開)	可決
	協議	令和6年度昭島市立学校卒業式における告辞及び令和7年度昭島市立学校入学式におけるお祝いの言葉について	承認
3月21日	3号	昭島市教育委員会表彰被表彰者について	可決
	4号	令和7年度昭島市立学校の教育課程の受理について	可決
	5号	昭島市学校運営協議会規則の一部を改正する規則について	可決
	6号	昭島市学校給食費会計規則を廃止する規則について	可決

Ⅱ 総合教育会議（企画政策課所管）

令和7年3月21日に開催予定だった令和6年度第1回総合教育会議は令和7年度に延期して実施することとなりました。

4 教育委員会の活動

Ⅰ 教育委員の活動

教育委員は、学校の状況を把握し、教職員と情報共有するために、学校訪問や学校行事への出席のほか、校長会との意見交換会を開催しています。また、東京都教育委員会や近隣市との情報交換、情報共有を行うほか、研修会へ参加し、識見を高め、教育施策の決定等への反映に努めています。

(1) 教育委員の学校訪問、校長会との意見交換会、学校行事への参加

事業名	実施日	訪問先
校長・副校長・教職員辞令伝達式、臨時校長会	令和6年 4月1日	市役所 市民ホールほか
入学式	4月8日・9日	各小・中学校
学校訪問	5月13日・14日 10月3日・11日	共成小学校、武蔵野小学校 田中小学校、拝島中学校
市立小中学校長との情報交換会	令和7年1月17日	市役所 市民ホール
特別支援学級合同学習発表会	1月18日	FOSTERホール
東小学校70周年記念式典	1月25日	東小学校
武蔵野小学校50周年記念式典	11月16日	武蔵野小学校
昭島市研究指定校研究発表会	1月31日	中神小学校
卒業式	3月18日・25日	各小・中学校

その他、各校の音楽会、展覧会及び運動会などに参加しています。

(2) 教育委員の教育委員会関係行事への参加

事業名	実施日	開催場所
昭島市教育委員会表彰式	令和6年 4月7日	市役所 市民ホール
昭島市育英会	5月16日	市役所 203会議室
「未来をひらく」発表会	9月7日	市役所 市民ホール
昭島市教育委員会表彰式	11月3日	市役所 市民ホール
昭島市はたちのつどい～20celebration～	令和7年 1月13日	フォレスト・イン昭和館
食育シンポジウム	1月30日	アキシマエンス体育館

その他、教育委員会主催事業や後援事業に参加しています。

(3) 教育委員の会議

事業名	実施日	開催場所
東京都市町村教育委員会連合会 令和6年度第1回常任理事会及び理事会	令和6年 4月30日	東京自治会館 第7会議室 ほか
東京都市町村教育委員会連合会第68回定期総会	5月24日	東京自治会館 講堂
関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会	5月31日	茨城県古河市 イーエスはなもも体育館
東京都市町村教育委員会連合会 令和6年度第1回研修推進委員会	7月2日	東京自治会館 第7会議室
東京都市町村教育委員会連合会 令和6年度第2回研修推進委員会	7月31日	東京自治会館 第7会議室
東京都市町村教育委員会連合会 令和6年度第2回常任理事会及び理事会	8月23日	東京自治会館 第7会議室 ほか
東京都市町村教育委員会連合会 令和6年度第3回常任理事会及び理事会	令和7年 1月16日	東京自治会館 第7会議室 ほか

(4) 教育委員の研修

事業名	実施日	内 容
関東甲信越静市町村教育委員会連合会研修会	令和6年 5月31日	演題 妖怪談義 ～妖怪から学校の怪談まで～ 講師 国立歴史民俗博物館名誉教授 常光 徹 氏 古河市立歴史博物館前館長 立石 尚之 氏
教育施策連絡協議会	オンライン 配信 (4月24日 ～5月31日)	演題 誰一人取り残さないきめ細かな教育の充実に向けて 講師 上智大学総合人間科学部教育学科教授 酒井 朗 氏

事業名	実施日	内 容
市町村教育委員会教育 長・教育委員研究協議会	令和6年 6月27日 令和7年 2月7日	分科会形式でグループ協議を実施 1 更なる働き方改革、処遇改善、学校の指導・運営体制の充実の一体的な推進について 2 いじめ対策について 3 地域と学校の連携・協働について 4 学校部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行について
東京都市教育長会研修会	7月24日	演題 学校教育を通じた地域の歴史文化による地域の活性化 講師 観光未来プランナー 丁野 朗 氏
東京都市町村教育委員会連合会第1回理事研修会	8月23日	演題 東京都教育ビジョン（第5次）について 講師 東京都教育庁総務部教育政策担当課長 千葉 かおり 氏
東京都市町村教育委員会連合会第1回研修会	10月8日	演題 言葉の力…かける言葉で子どもは変わる ー攻める防犯という考え方ー 講師 東京未来大学副学長兼こども心理学部長 出口 保行 氏
東京都市町村教育委員会連合会第4ブロック研修会	10月23日	演題 小金井市の不登校対策の現状と医療現場から見たコロナ禍後の不登校への対応 講師 昭和大学 リハビリテーション学科作業療法学専攻准教授 副島 賢和 氏 小金井市教育委員会教育長 大熊 雅士 氏
東京都市町村教育委員会連合会第1ブロック研修会	10月30日	演題 ～法律が教育を支える～教育法務相談員が考える教育現場の課題と対策 講師 青梅市教育法務相談員 中澤 さゆり 氏
東京都市町村教育委員会連合会第2回理事研修会	令和7年 1月16日	演題 教育行政の現状と課題 講師 東京都多摩教育事務所所長 小島 貴弘 氏
東京都市町村教育委員会連合会第2回研修会	2月28日	演題 学校に行けなかった僕の気持ちと両親や先生との関わり方～まわりの大人たちにしてほしかったこと～ 講師 漫画家 棚園 正一 氏

Ⅱ 教育委員会の活動

(1) 教育委員会表彰

教育委員会では、市の教育文化の振興発展に貢献し、その功績の顕著な方及び他の模範となる成績又は行為のあった方々に対し、毎年11月3日（文化の日）及び4月第一日曜日に表彰を行っています。

表彰式		表彰対象事由および表彰者数	
第1回	令和6年 11月3日	<児童・生徒等の表彰>	○ 空 手 : 小学生2名 ○ 水 泳 : 中学生2名 ○ サッカー : 中学生1名 ○ 陸 上 : 中学生1名
		<個人・団体の表彰>	○ スノーボード : 1名 ○ 野 球 : 1名 ○ 昭島市野球協会 ○ 昭島市ソフトボール協会 ○ 昭島市ダンススポーツ連盟 ○ 昭島市水泳協会
		<職員の表彰>	○ 前昭島市立学校医 : 1名 ○ 前昭島市学校給食費会計監査役員 : 1名 ○ 前昭島市社会教育委員 : 1名 ○ 前昭島市公民館運営審議会委員 : 1名 ○ 前昭島市青少年委員 : 2名
第2回	令和7年 4月6日	<児童・生徒等の表彰>	○ 読書感想文 : 小学生1名 ○ テ ニ ス : 中学校1団体 ○ フットベースボール : 2団体
		<個人の表彰>	○ 空 手 : 1名 ○ テ ニ ス : 1名 ○ オートバイロードレース : 1名
		<職員の表彰>	○ 昭島市立学校長 : 4名 ○ 前昭島市立学校医 : 1名

(2) 教育・青少年だより「エール」の発行状況

令和3年度まで発行してきた「あきしまの教育」「あきしまの青少年」を統合し、令和4年度より教育広報誌として、「教育・青少年だより エール」を発行しています。「エール」は、子どもたちの様々な挑戦に「エール＝応援」を送りたいという想いと市のシンボル「くじら」の英語「ホエール」から名付けました。

発行部数	42,580部
規格	A4版 8ページ（3回）、4ページ（2回）
発行月	5月、7月、10月、12月、3月
配布先	児童・生徒及び保護者、市公共施設 ほか



上記配布先のほかホームページでも公開しています。

トップページ > 子育て・教育 > 教育委員会>

教育・青少年だより「エール」

<https://www.city.akishima.lg.jp/li/020/020/140/040/index.html>

▲教育・青少年だより「エール 11号」

第3章 主要施策の点検及び評価

第3章 主要施策の点検及び評価では、『昭島市教育振興基本計画（令和4年度～令和8年度）』に掲載している「主な取組」をすべて評価したうえで、評価基準を設け施策ごとの評価を決定しました。そのうち、評価対象年度における重点取組の取組実績を報告書に掲載しています。また、評価対象年度における実績と課題を総括するとともに、分かりやすく記載し、次年度の取組の方向性を示すこととしました。

また、各施策ごとに外部評価員による評価と意見を掲載しました。

評価シートの見方

基本施策Ⅰ 確かな学力の定着

基本施策ⅠーⅠ	担当課	指導課、教育総務課、学務担当
基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着と主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進		

施策の方向性

『昭島市教育振興基本計画（令和4年度～令和8年度）』より、施策の方向性を掲載しています

主な取組【担当課】		取組実績
1	評価対象年度における主な取組を選定しています	評価対象年度の取組実績を記載しています
2		

自己評価		評価理由
	A… 施策の方向性以上の成果がでている	教育委員会にて自己評価を実施し、その理由を記載しています
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C…一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
	E… 施策の成果を全く得られなかった	
主な課題		
評価対象年度の取組に対する主な課題を記載しています		
今後の取組の方向性		
今後の取組の方向性を記載しています		

（参考資料） 各施策・取組の評価や掲載内容に参考となる表や図、写真など資料を掲載しています

第3章 主要施策の点検及び評価

自己評価のまとめと外部評価員の評価と意見

教育委員会の自己評価 まとめ		自己評価	該当頁
1 基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着と主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進	各小項目の自己評価を まとめて記載しています	各小項目の 掲載頁です	
2 理数教育の充実			
3 読書活動の推進と言語能力の育成			
4 個に応じた支援の充実			
政策指標			
授業 児童 (児童	『昭島市教育振興基本計画(令和4年度～令和8年度)』より、策定時の政策指標と 目標値を記載し、評価対象年度の指標値を記載しています		28年度 値 0% 0%

外部評価員の評価と意見		外部	この章の意見をいただいた外部評価員の氏名
外部評価員の総合評価を5段階で評価しています	外部評価員の評価		
	5 … 施策は順調に推進され、ねらい以上の成果がでている。		
	4 … 施策は順調に推進されている。		
	3 … 一部課題があり工夫が必要だが、施策は概ね順調に推進されている。		
	2 … 施策を推進させるのに困難な課題がある。		
		1 … 施策の推進に全く至っていない。	
外部評価員の意見			
外部評価員の意見を記載しています 各章の外部評価員の意見は、第4章で再掲載しています			

学校教育の推進

基本施策Ⅰ 確かな学力の定着

基本施策ⅠーⅠ	担当課	指導課
基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着と主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進		

施策の方向性
これからの変化の激しい時代を生き抜き、生涯にわたり主体的に学び続ける子どもたちを育成するためには、知識・技能の習得に加え、他者と協働しながら課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等及び主体的に学習に取り組む態度を育むことが不可欠です。 子どもたちにこうした資質・能力を育成していくために、全ての教員が「主体的・対話的で深い学び」の実現を図る指導方法の工夫・改善に取り組むとともに、少人数指導等きめ細かな指導の充実を図ります。 また、各学校はカリキュラム・マネジメントを通して、学校全体の取組として、質の高い「深い学び」を引き出していきます。

主な取組【担当課】		取組実績
1	教職員の研修の充実【指導課】	若手教員(初任者・2年次・3年次)を対象に、学習指導や生活指導・進路指導、外部折衝力、組織貢献力の各項目についての研修を行った。特に、学習指導については、若手人材育成担当が授業観察を行い、その振り返りを行うことで授業力向上を図った。年度当初に、職層研修(新任副校長・新任主幹・新任主任)を行い、該当教員の組織貢献力を高め、校長の経営方針具現化を目指した。
2	若手教員の育成【指導課】	年間10回のセンター研修、年間5回の課題別研修、若手人材育成担当による年間3回の授業観察を実施した。東京都が定める学習指導力、生活指導力・進路指導力等の4つの身に付けるべき力の育成を図る研修を実施した。
3	大学との連携による授業改善の推進【指導課】	通常の学級は共成小と多摩辺中、特別支援学級(知的障害特別支援学級)はつつじ丘小、特別支援学級(自閉症・情緒障害特別支援学級)は富士見丘小と田中小、特別支援教室は東小と光華小において、大学教授等の有識者による授業観察を通して、個々の教員の課題を分析し、教員の資質と実践的指導力の向上に取り組んだ。また、2月には、各学校の取組の成果と課題を発表し、全校にオンラインで配信した。
4	土曜日・放課後補習の実施【指導課】	土曜補習教室は、小学校全校で8回、3校の中学校で、5～6回実施、放課後補習教室は、11校の小学校で7回程度、中学校では3校が5回実施し、学力の定着を図った。英検対策については受講希望者が多く、下位学年であっても上位級を目指し、努力する取組となった。
5	教科用図書の採択【指導課】	中学校教科用図書選定資料作成委員会を発足させ、令和7年度から使用する「中学校教科用図書」を円滑に選定し、採択を行った。

自己評価		評価理由
A	A… 施策の方向性以上の成果がでている	職層に応じた研修や、大学教授との有効な連携を行い、若手教員に指導の基本を徹底するとともに、他の教員の授業力向上の一助となったため。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
	E… 施策の成果を全く得られなかった	
主な課題		
児童・生徒一人一人の主体的な学びを充実させるために、ICTの効果的活用を図ることが重要である。また、児童・生徒の多様な学び方に対して、教職員が適切な支援を実施できるよう「個別最適な学び・協働的な学び」を教職員が十分に理解し、その促進を図ることが重要である。		
今後の取組の方向性		
若手教員育成研修に継続して講師を招聘することで、研修の更なる充実を図る。主幹教諭・主任教諭の研修については、各職層に応じた課題を取り上げ、その課題解決の手立てを構築できるような、人材の育成を目指す。		

(参考資料)

▼教職員の研修一覧

研修名	研修内容	人数
新任主幹教諭研修	主幹教諭としての役割	3
新任主任教諭研修	主任教諭としての役割	13
新任副校長研修	副校長としての役割	1
初任者研修	学習指導力、生活指導力等	32
2年次研修	学習指導力、生活指導力等	20
3年次研修	外部との連携・折衝力等	17

▼土曜補習授業の様子



▼教科書採択の経過

日程	検討内容等
5月10日(金)	第1回教科用図書選定資料作成委員会にて、採択事務や調査研究について確認
5月20日(月)	調査研究部会説明会
5月下旬 ～6月下旬	各中学校に教科用図書の巡回展示及び各教科の調査研究部会において教科用図書の調査研究を行い、報告書を作成
5月下旬～6月中旬	市民からの意見公募
7月2日(火)	第2回教科用図書選定資料作成委員会にて、調査研究部会から調査研究の結果報告
7月9日(火)	第3回教科用図書選定資料作成委員会にて、調査研究部会から調査研究の結果報告・市民からの意見を参考に報告書について審議、教科用図書選定資料作成委員会としての報告書を作成
8月9日(金)	第8回教育委員会定例会にて、審議・採択

▼中学校教科用図書の採択結果

教科名	書名	発行社名
国語	国語	光村図書出版株式会社
	書写	光村図書出版株式会社
社会	社会(地理的分野)	株式会社帝国書院
	社会(歴史的分野)	東京書籍株式会社
	社会(公民的分野)	東京書籍株式会社
	地図	株式会社帝国書院
数学	新しい数学	東京書籍株式会社
理科	未来へひろがるサイエンス	株式会社新興出版社啓林館
音楽	音楽(一般)	株式会社教育芸術社
	音楽(器楽合奏)	株式会社教育芸術社
美術	美術	光村図書出版株式会社
保健体育	中学校保健体育	株式会社大修館書店
技術・家庭	技術・家庭(技術分野)	東京書籍株式会社
	技術・家庭(家庭分野)	教育図書株式会社
外国語	英語	東京書籍株式会社
道徳	新しい道徳	東京書籍株式会社

基本施策1-2	担当課	指導課
理数教育の充実		

施策の方向性
急速に技術革新する現代社会において、科学技術の分野で新たな価値を創造できる人材を育成するためには、子どもたちの理科や算数・数学への関心を高めるとともに、理数教育の一層の充実を図ることが必要です。 各学校において、理科、算数科・数学科の授業改善を行うとともに、地域資源を活用した理科、算数科・数学科授業の充実や、理科教育推進担当教員等の活用を図ります。

主な取組【担当課】	取組実績
I 地域資源の活用による授業の充実【指導課】	栽培活動や奉仕活動、がん教育や性教育、企業からの出前事業など、各学校において地域資源を活用した学習を計画的に実施した。特に、中神小学校においては、地域資源を活用した取組について、市研究指定校として発表を行った。

自己評価	評価理由
B A… 施策の方向性以上の成果がでている B… 施策の方向性通りの成果を得られた C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある E… 施策の成果を全く得られなかった	各学校が地域の方々と連携して取り組んだ内容の実践が、児童・生徒の関心を高めることにつながったため。
主な課題 学級園における植物の栽培に地域の人材や地域資源を活用したり、地域企業の専門家を招聘した授業を充実させるなど、理系教育の一層の充実を図り、理系離れが助長されないようにする必要がある。 地域資源を活用した取組について学校間で差があるため、市内の小中学校の好取組事例を生かし、コミュニティスクールの取組と連携を図りながら推進する必要がある。	
今後の取組の方向性 地域人材や企業などの協力を学校が受けた後、その様子を市内の各学校に周知する機会を継続し、市内各校に同様の取組を広げていく。	

（参考資料）

▼〈全国学力・学習状況調査の結果〉

調査対象：全小学校6年生及び全中学校3年生

実施日：令和6年4月18日

	教科別平均正答率			
	小学校		中学校	
教科	国語	算数	国語	数学
国平均	67.7	63.4	58.1	52.5
都平均	70	68	61	57
昭島市	67	61	56	50

※市や都の平均正答率は、平成29年度から整数位での公表

各教科の分析
各教科において、全国や東京都よりも平均正答率が下回っており、小中ともに、自分の考えを書いたり、説明したりすることに課題が見られた。具体的には、小学校国語では、「話すこと・聞くこと」の領域において、資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること、小学校算数では、「図形」の領域において、球の直径の長さや立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式にすること、中学校国語では、「書くこと」の領域において、表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること、中学校数学では、「数と式」の領域において、目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することが課題として明確になった。 今後は具体的に、次のような内容を意識して指導する必要がある。 ○相手や目的を意識しながら、自分の考えが伝わるように表現を工夫する ○音声言語だけでは聞き手が理解しにくかったり、誤解を招きそうだったりする場合に資料を使いながら話す ○聞き手の興味・関心や情報量などを予想し、どのような資料を用意すればよいかを考える場面を設定する ○図形を構成する要素に着目して、捉えた図形の意味や性質を基に、必要な情報を見いだし問題を解決する ○読み手に伝えたいことを明確にし、そのねらいに応じた表現の工夫ができているかを確認する ○事柄が一般的に成り立つ理由を、文字式や言葉を用いて根拠を明らかにして説明する

▼令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果について（令和6年昭島市教育委員会第9回定例会 報告事項2）

<https://www.city.okishima.lg.jp/s111/010/020/030/010/011/1900/20240905104708.html>

基本施策1ー3	担当課	指導課
読書活動の推進と言語能力の育成		

施策の方向性 言語能力は、全ての学習の基盤となる資質・能力です。子どもたちの語彙を豊かにし、言語能力の育成を図るには、各教科等における言語活動の充実とともに読書活動の充実を図ることが大切です。 各学校で読書活動全体計画を作成し、学校図書館担当教員、司書教諭、学校司書及びボランティアなどが連携して、子どもたちの読書活動を一層推進します。 また、学校図書館と市民図書館の利用を促進し、読書活動を通して豊かな感性や情緒を育み、言語能力の育成を図ります。
--

主な取組【担当課】		取組実績
1	学校図書館、市民図書館の利用促進【指導課】	国語科を中心とした学校図書館の活用が、児童生徒が活字に親しみ、教科学習を含めた様々な教育活動の中で、言語能力を高める機会となった。備わった言葉の力を用いて、各教科において様々な形態での話し合い活動や探究型学習を行い、児童生徒が自身の考えを自身の言葉で表現できるような取組を継続して行った。また、図書館の積極的な活用のために、「図書館を使った調べる学習コンクール」への参加を促し、参加者も増加傾向にある。
2	学校図書館の蔵書の充実【教育総務課】	学校図書購入費について、学級数を基準とした文部科学省による学校図書館図書標準を十分満たした上で、予算配当を行い、蔵書の充実が図れるよう、各学校で蔵書を入れ替えた。
3	子どもの主張意見文コンクールの開催【指導課】	小・中学校全校で取り組み、これからの昭島について考えたことを表現した。応募者数は1936編となった。審査委員会を2回開催し、小・中学校から各15点の入選作品を選定した。9月7日(土)に行った発表会では、111名の来場者があった。

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている	各学校で読書活動や言語活動の推進を図ることができたため。また、「図書館を使った調べる学習コンクール」において、市民図書館や学校図書館を活用した学習が推進されたため。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
	E… 施策の成果を全く得られなかった	
主な課題		
学校図書館や市民図書館を利用した読書活動の機会を設け、児童生徒の探究的な学びを深める必要がある。学校図書館を活用した調べ学習の機会を多く設置するために、計画的な授業実践を進める必要がある。また、教科学習を含めたすべての教育活動の際に、言語能力の向上を目指した取組を継続的に実施する必要がある。		
今後の取組の方向性		
学校図書館担当教員、司書教諭、学校司書及びボランティアなどが連携して、子どもたちの主体性を育む読書活動を推進する。調べ学習の更なる取組の推進を図るために、今以上に学校図書館と市民図書館の利用の促進を図る。		

(参考資料)

▼学校図書館図書整備状況、貸出状況

	令和5年度		令和6年度					
	蔵書冊数	1人あたりの貸出冊数	購入冊数	寄贈冊数	除籍冊数	蔵書冊数	1人あたりの貸出冊数	図書標準冊数※
小学校	183,091	41.8	3,906	776	△ 7,066	180,707	43.4	122,440
中学校	84,661	5.6	2,390	65	△ 1,749	85,373	4.4	71,360

※図書標準冊数…文部科学省が定めた公立義務教育諸学校の学校図書館に整備すべき蔵書の標準数

https://www.mext.go.jp/a_menu/sports/dokusyo/hourei/cont_001/016.htm

【第41回子どもの主張意見文コンクール】

(小学校の部)

最優秀賞「個性を尊重し合える心優しい市に」

(中学校の部)

最優秀賞「届け、優しさの工夫」



▲「未来をひらく」子どもの主張意見文コンクール入賞者

◀「第41回子どもの主張意見文コンクール作品集」

「子どもの主張意見文コンクール」の入賞作品は冊子にまとめて、入賞者や学校、関係者に配布しています。昭島市民図書館や市役所の行政資料コーナーで閲覧ができます。

【図書館を使った調べる学習コンクール】

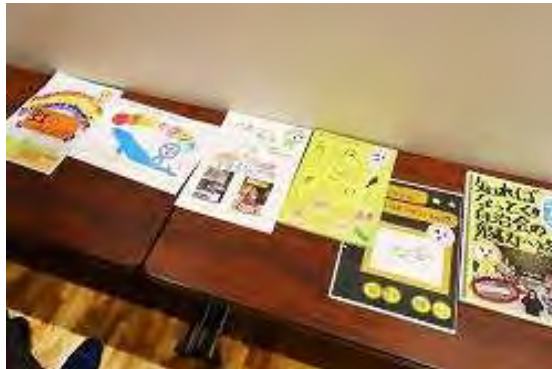
▼図書館を使った調べる学習コンクール(公益財団法人図書館振興財団主催コンクールのホームページ)

<https://concours.toshokan.or.jp/>

▼図書館を使った調べる学習コンクール in アキシマ の結果発表(昭島市民図書館ホームページ)

<https://www.library.akishima.tokyo.jp/event/?id=600>

▼調べる学習に取り組む児童と助言する学校図書館スーパーバイザーの専門家(左) 入賞作品の一部(右)



基本施策1-4	担当課	指導課、学務担当
個に応じた支援の充実		

施策の方向性
子どもたち一人ひとりの教育的ニーズを把握し、もてる力を高め、生活や学習上の困難さを改善又は克服するためには、適切な指導及び必要な支援を行い、基礎的な学力を伸ばしていくことが必要です。 各学校は、インクルーシブ教育の理念に基づき、障害のあるなしに関わらず、子どもたち一人ひとりの自立と社会参加に向けた効果的な指導・支援の充実を図るために、全ての教員の特別支援教育への理解を深め、授業のユニバーサルデザイン化、個別指導など、多様な指導方法の工夫を図ります。 また、経済的な理由により就学困難な子どもたちの保護者に、必要な援助を行い、教育の機会均等の保障に努めます。

主な取組【担当課】		取組実績
1	教員研修の充実【指導課】	共生社会の実現に向けた特別支援教育の理解を深めるため、特別支援教室全体研修として、東京学芸大学名誉教授 上野 一彦氏による「アセスメントから具体的な指導につなげるプロセス」の講演を行った。
2	特別支援教室における指導の充実【指導課】	東小、光華小の特別支援教室において、明星大学客員教授 菅原 真弓氏による特別支援教室巡回指導教員を対象とした研修を各校年7回実施し、児童・生徒の実態把握を基にした授業づくりについて学んだ。
3	特別支援学級における指導の充実【指導課】	つつじが丘小の知的障害特別支援学級及び富士見丘小学校、田中小学校の自閉症・情緒障害特別支援学級において、教職大学院准教授 増田 謙太郎氏による特別支援学級担任を対象とした研修を各校年3回実施し、ファシリテートおよびフレキシションによる授業改善について学んだ。
4	就学援助の実施【学務担当】	小学生755名、中学生406名に対し、1億111万4,309円の援助を行った。（援助率は小学校13.5%、中学校15.7%）また、給付型奨学金は、高等学校等入学予定者7名に合計56万円の入学準備金と、昨年度までに採用した奨学生25名に合計408万2,800円の奨学金を給付した。
5	特別支援教育就学奨励の実施【学務担当】	特別支援学級や通級指導教室に在籍する小学生66名、中学生40名に対し、467万5,948円の就学奨励費の支給を行った。

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている	特別支援教育に関する市民向け講演会を実施し、理解・啓発を推進できたため。また、特別支援教育に係る教員研修を実施し、授業力向上を図ることができたため。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
	E… 施策の成果を全く得られなかった	
主な課題		
特別支援教室及び特別支援学級教員及び支援に携わる職員の専門性及び授業力向上が継続的な課題である。今年度実施した研修の成果を踏まえ、児童生徒に対する関わり方の見直しや授業改善行う必要がある。また、日本語指導を真に必要とする児童・生徒の早期の把握及び対応が重要である。		
今後の取組の方向性		
共生社会の実現に向けて、引き続き市民のニーズに応じた内容の講演会を実施していく。招聘する講師に関しては、継続とならないように配慮し、常に今日的な課題を意識したテーマとする。また、特別支援教室及び特別支援学級の教員を対象とした研修では、大学教授などの専門性の高い講師による講義を引き続き実施し、実践力につながる技術を身に付けていく。		

(参考資料)

▼特別支援教育に関する市民向け講演会参加人数

開催日	講師	事業名	参加人数
12月14日	上智大学総合人間科学部教育学科 教授 酒井 朗氏	不登校の子どもに寄り添った理解	28名
12月21日	早稲田大学人間科学学術院 教授 桂川 泰典氏	関りの難しさをもつ子どもの理解 ー私たちにできることを考えるー	29名

▼日本語指導員による指導を受けている児童・生徒数

言語	小学校	中学校
中国語	4	1
英語	6	
ネパール語	3	
タガログ語		3
ベンガル語	2	

▼就学援助費支給状況

支給項目	小学校			中学校		
	支給児童数	支出額	1人平均額	支給生徒数	支出額	1人平均額
学用品費・通学用品費	699	8,889,435	12,717	363	8,446,480	23,269
新入学学用品費	92	1,897,800	20,628	12	756,000	63,000
新入学準備金	77	4,393,620	57,060	121	7,623,000	63,000
移動教室費／修学旅行費	122	4,392,415	36,003	124	7,689,383	62,011
校外活動費	559	1,421,018	2,542	245	749,581	3,060
宿泊学習費	156	3,319,942	21,282	148	6,175,824	41,729
通学費	4	79,820	19,955	1	46,570	46,570
柔道着購入費				41	182,400	4,449
学校給食費	697	28,233,455	40,507	358	16,795,996	46,916
医療費	19	12,970	683	13	8,600	662
合計支出額	52,640,475			48,473,834		

就学援助制度について(トップページ＞子育て・教育＞学校教育＞就学支援＞令和7年度就学援助制度のお知らせ)

<https://www.city.akishima.lg.jp/s113/020/010/030/010/20170328103145.html>

▼就学奨励費支給状況

支給項目	小学校			中学校		
	支給児童数	支出額	1人平均額	支給生徒数	支出額	1人平均額
学用品費・通学用品費	50	337,285	6,746	33	400,777	12,145
新入学学用品費	9	256,770	28,530	10	315,000	31,500
移動教室費／修学旅行費	2	36,851	18,426	5	131,041	26,208
校外活動費	36	60,128	1,670	40	79,865	1,997
宿泊学習費	26	169,514	6,520	31	130,224	4,201
通学費	11	559,785	50,890	9	319,460	35,496
柔道着購入費				1	2,100	2,100
学校給食費	52	1,088,883	20,940	33	788,265	23,887
合計支出額	2,509,216			2,166,732		

就学奨励費制度について(トップページ＞子育て・教育＞学校教育＞就学支援＞就学奨励費制度)

<https://www.city.akishima.lg.jp/s113/020/010/030/040/20170829170016.html>

基本施策Ⅰ 確かな学力の定着

自己評価のまとめと外部評価員の評価と意見

教育委員会の自己評価 まとめ		自己評価	該当頁
1 基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着と主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進		A	17,18
2 理数教育の充実		B	19
3 読書活動の推進と言語能力の育成		B	20,21
4 個に応じた支援の充実		B	22,23
政策指標			
授業に対して、すすんで取り組んでいると回答した児童・生徒の割合 (児童・生徒アンケート)		令和3年度	令和5年度
		令和6年度	令和8年度 目標値
		令和8年度 目標値	
小学校	90.0%	92.0%	91.0%
中学校	89.0%	89.0%	91.0%
			90.0%

外部評価員の評価と意見		外部評価員	工藤 文三
外部評価員の評価			
4	5 … 施策は順調に推進され、ねらい以上の成果がでている。 4 … 施策は順調に推進されている。 3 … 一部課題があり工夫が必要だが、施策は概ね順調に推進されている。 2 … 施策を推進させるのに困難な課題がある。 1 … 施策の推進に全く至っていない。		
外部評価員の意見			
基本施策Ⅰ-1 教員の資質能力向上に関わる取組、学力調査の結果等を活用した授業改善の取組、学習規律の徹底や習熟度別指導、土曜日・放課後補習の実施など、学力の向上・定着を図るための多角的な取組が実施されている。令和6年度「昭島市立学校の児童・生徒及び保護者アンケート」の結果からも、授業の理解の状況、授業への取組の状況等について肯定的な回答の割合が高くなっていることが分かる。今後、各学校における個に応じた指導の充実や家庭学習の充実などを通して、取組の成果が全国学力・学習状況調査等の結果にも示されていくことを期待したい。 基本施策Ⅰ-3 学校図書館の活用が、教科学習における話し合い学習や探究的な学習に生かされ、言語能力の向上や児童・生徒一人ひとりの表現力の向上につながったことが推測される。「図書館を使った調べる学習コンクール」や「子どもの主張意見文コンクール」への参加・応募も含め、読書活動を通じて探究する楽しさを味わい、知識・技能を深め、思考力・表現力を豊かなものにしていくことを期待したい。 基本施策Ⅰ-4 特別支援教育については、教育内容、教員研修、学習指導の充実、交流・共同学習など多角的な取組が進められている。また、就学援助及び特別支援教育就学奨励についても着実に実施されている。教職員の専門性、授業力の一層の向上を図り、個に応じた支援の充実につながることを期待したい。			

基本施策2 豊かな心の醸成

基本施策2-1	担当課	指導課
人権教育の推進		

施策の方向性 全ての人々の人権が尊重され、相互に共存し得る平和で豊かな社会を実現するためには、一人ひとりの子どもたちに人権尊重の精神を育むことが不可欠です。 各学校では、あらゆる偏見や差別をなくすために、「人権教育プログラム」の活用や、人権尊重教育推進校の研究結果等を基に、教育活動全体を通して子どもたちに人権尊重の精神の育成を図る人権教育を推進します。
--

主な取組【担当課】		取組実績
1	人権教育の推進【指導課】	9月に、各小・中学校の人権教育推進担当教諭、昭島市人権教育推進委員、中堅教諭等資質向上研修対象者を対象に、大学教授を講師とした人権教育研修を開催した。また、各学校1名の人権教育担当教員が、板橋区立第八小学校及び国立市立第二中学校の人権教育推進校研究発表会に参加し、人権教育の理解促進に努めた。
2	人権パネル展・人権標語の取組【指導課】	12月に市役所1階ロビーにおいて、人権パネル及び人権標語の展示を行い、各小・中学校が、教科の学習活動はもとより、特別教科 道徳や総合的な学習の時間において取り組んだ人権教育に係る活動について紹介した。

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている	人権教育推進委員会や、人権パネル展、人権標語の作成など、学校全体の人権感覚向上に資する取組を実施し、人権尊重の精神を育み、自他ともに大切にする意識を啓発することができたため。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
	E… 施策の成果を全く得られなかった	
主な課題		
従前より取り組んできた人権課題だけでなく、新たな人権課題についても解決に向けた知識の拡充や態度の育成を図り、継続的に人権感覚を向上させる必要がある。		
今後の取組の方向性		
人権感覚を向上させるため、人権教育に関する研修内容の充実を図るとともに、人権教育推進委員会を通して各学校での取組を共有するなど、小・中学校全校で連携した取組を継続して行う。		

＊新たな人権課題・・・「個人情報の流出やプライバシーの侵害」
「感染症に関連する偏見や差別意識の解消に向けて」

(参考資料)

▼人権パネル展の様子



基本施策2-2	担当課	指導課
道徳教育の充実		

施策の方向性 子どもたちが、自他の生命の尊重、規律ある生活等、将来、社会において生きていく上で求められる道徳的価値や人間としての生き方に関する意識を深めるために、「道徳授業地区公開講座」等を工夫しながら、学校・家庭・地域、関係機関との連携の下、道徳教育の充実、改善を図ります。 「特別の教科 道徳」（以下「道徳科」という。）においては、発達段階に応じて、答えが一つではない道徳的な課題を、一人ひとりの子どもたちが自分自身の問題と捉え、向き合う「考え・議論する道徳」への転換を図ります。 各学校における道徳科を道徳教育の要の時間と位置付け、道徳教育推進教師を中心に、各教科等における道徳教育との密接な関連を図りながら、計画的、発展的に道徳的価値や人間としての生き方について自覚を深めさせ、道徳性を高めます。
--

主な取組【担当課】		取組実績
1	道徳授業の充実【指導課】	各小・中学校において、全教育活動の中で、道徳教育を推進するとともに、道徳科の授業を年間指導計画に沿って定められた時間数行うことで、道徳性を高める指導を行うことができた。
2	道徳授業地区公開講座の充実【指導課】	道徳授業地区公開講座の実施形態を工夫しながら、保護者や地域の方と児童・生徒の道徳性の育成について議論することができた。また、各学校の道徳教育に係る取組を発信することができた。

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている	各学校で工夫を重ねながら、道徳教育の充実を図ることができたため。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
	E… 施策の成果を全く得られなかった	
主な課題		
道徳教育において重点項目を設定し、道徳科の授業では、教科書等を用いて学習を進めているが、児童・生徒が、自分自身の問題と捉え、向き合う「考え・議論する道徳」への転換については、継続した工夫を重ねていく必要がある。		
今後の取組の方向性		
年間指導計画を活用した系統的な指導、教科等横断的な視点での授業改善、ICTの効果的な活用等により、道徳科の授業の質的向上を図る。		

（参考資料）

▼道徳の授業の様子



▼道徳授業地区公開講座



基本施策2-3	担当課	指導課
体験活動の充実		

施策の方向性
子どもたちを地域の自然や歴史、文化等に直接触れる郷土学習や、福祉の心を育てるボランティア活動等に参加させるとともに、小学校での移動教室、中学校での職場体験や修学旅行などを通し、子どもたちの発達段階に応じた体験活動の充実を図ります。

主な取組【担当課】		取組実績
1	小学校における移動教室の実施【指導課】	各小学校が、第5学年においては、1泊2日のハヶ岳移動教室、第6学年においては、2泊3日の日光移動教室を実施した。
2	中学校移動教室・修学旅行の実施【指導課】	各中学校が、第1学年においては、新潟・長野方面に2泊3日のスキー移動教室、第3学年においては、京都・奈良方面に2泊3日の修学旅行を実施した。

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている	全校、移動教室や修学旅行を実施することができたため。また、地域人材を活用して、学級農園や近隣の田畑を活用した取組の充実を図ったため。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
	E… 施策の成果を全く得られなかった	
主な課題		
移動教室、修学旅行、生産体験などの体験活動の充実を図り、よりよい人間関係を築く体験を積み重ねることが必要である。なお、体験活動の充実にあたっては、学校の特色に応じるとともに、児童・生徒の発達段階に応じるようにしていくことが重要になる。		
今後の取組の方向性		
移動教室、修学旅行は、各小・中学校において実施していく。また、実地踏査において十分な情報収集を行い、安全かつ充実した活動ができるよう、各小・中学校が実施計画を立てる。		

(参考資料)

▼生産体験の様子



田植えの様子(6月)



代掻きの様子(6月)



稲刈りの様子①(10月)



稲刈りの様子②(10月)

▼福祉体験の様子



▼地域芸能体験(東中神睦囃子)



▼移動教室実施日

第5学年（ハヶ岳方面）

東小学校	6月6日～6月7日
共成小学校	5月31日～6月1日
富士見丘小学校	5月16日～5月17日
武蔵野小学校	5月29日～5月30日
玉川小学校	6月13日～6月14日
中神小学校	5月24日～5月25日
つつじが丘小学校	6月24日～6月25日
光華小学校	6月6日～6月7日
成隣小学校	6月20日～6月21日
田中小学校	6月27日～6月28日
拝島第一小学校	6月14日～6月15日
拝島第二小学校	5月28日～5月29日
拝島第三小学校	6月17日～6月18日



第6学年（日光方面）

東小学校	5月19日～5月21日
共成小学校	5月16日～5月18日
富士見丘小学校	5月29日～5月31日
武蔵野小学校	5月19日～5月21日
玉川小学校	6月2日～6月4日
中神小学校	6月9日～6月11日
つつじが丘小学校	7月11日～7月13日
光華小学校	5月26日～5月28日
成隣小学校	5月23日～5月25日
田中小学校	5月16日～5月18日
拝島第一小学校	5月26日～5月28日
拝島第二小学校	5月21日～5月23日
拝島第三小学校	6月9日～6月11日



中学校 第1学年スキー教室（新潟・長野方面）

昭和中学校	2月2日～2月4日
福島中学校	2月2日～2月4日
瑞雲中学校	2月5日～2月7日
清泉中学校	1月19日～1月21日
拝島中学校	1月12日～1月14日
多摩辺中学校	1月30日～2月1日



中学校 第3学年 修学旅行（京都・奈良方面）

昭和中学校	10月11日～10月13日
福島中学校	9月4日～9月6日
瑞雲中学校	10月13日～10月15日
清泉中学校	10月3日～10月5日
拝島中学校	9月12日～9月14日
多摩辺中学校	9月4日～9月6日



基本施策2-4	担当課	指導課
健全育成の推進		

施策の方向性 学校は、全ての子どもたちが安心して学び、楽しく学校生活を送ることができる場であることが最も大切です。そのため、教育活動全体を通して、いじめは絶対に許されない行為であることを、子どもたち一人ひとりに徹底して指導し、いじめを生まない、許さない学校・学級づくりを推進するために、いじめの未然防止、早期発見・早期対応等の対策を強化します。また、いじめ問題対策委員会、いじめ問題防止会議において、いじめ問題について協議し、いじめ対策に生かしていきます。 不登校及び不登校傾向にある子どもたちに対し、教育支援室（たまがわ教室、もくせい教室）において、社会的自立に向けた支援を行います。また、不登校等の悩みを抱える子どもたちと保護者への支援に向けて、心理士やスクール・ソーシャル・ワーカー（SSW）の連携を強化し、教育相談体制の充実を図ります。
--

主な取組【担当課】		取組実績
1	いじめ問題対策委員会の開催【指導課】	昭島市いじめ防止対策推進基本方針に基づき、8月と2月に委員会を開催した。大学教授、心理士、警察、弁護士から、教育委員会事務局の計画や方針について意見・助言をいただき、昭島市のいじめ未然防止及び対策のためにガイドライン作成に向けた取組を実施した。
2	いじめ問題防止会議の開催【指導課】	昭島市いじめ防止対策推進基本方針に基づき5月、12月、3月に開催し、いじめ防止に係る協議を行った。小・中学校長会長や人権擁護委員、PTA関係者、民生児童委員、自治会関係者に参加を依頼し、各担当からの視点で意見をいただき、いじめ問題防止会議だよりの作成を行った。いじめ問題防止会議だよりは学校、地域、保護者に周知し、いじめ防止に関する取組の推進を図った。
3	いじめに関する学校における取組の実施【指導課】	各小・中学校において、「学校いじめ対策委員会」を定期的に開催するとともに、必要に応じて臨時開催することで、いじめの早期発見や早期対応に努めた。また、年3回以上の「いじめに関する研修」、「いじめに関する授業」、「いじめ防止アンケート」を実施し、中学校生徒による「いじめ防止ポスター」の作成では、各学校への配布、自治会掲示板への掲示、ホームページや教育・青少年だより「エール」への掲載などの取組を行った。
4	「SOSの出し方に関する教育」の確実な実施【指導課】	「SOSの出し方に関する教育を推進するための指導資料」（平成30年2月東京都教育委員会）等を活用した「SOSの出し方に関する教育」の授業を、各小・中学校いずれかの学年で実施し、子どもが悩みを抱えたときに助けを求めること等の指導を行った。
5	教育支援室の指導体制と指導内容の充実【指導課】	教育支援室には、小学生18名、中学生20名が通室した。通室児童・生徒に対して、個別指導や小集団指導を継続的に行い、学校復帰及び上級学校への進学、社会的自立を目指した。
6	スクール・ソーシャル・ワーカー（SSW）の派遣【指導課】	スクール・ソーシャル・ワーカー4名を教育福祉総合センターに配置し、子どもや保護者など家庭にかかわるトラブルに、円滑に対応できる体制を構築した。関係機関とのケース会議に、要請に応じて出席し、支援を行った。
7	教育相談体制の充実【指導課】	心理士を教育福祉総合センターに配置し、学校を巡回する中で、学校に対して、丁寧な相談業務を行うことができた。また、地域の方々からの相談に関しては、来所だけでなく、電話やメールでも対応することで、相談者の希望に応じた相談方法で対応することができた。

自己評価		評価理由
A	A… 施策の方向性以上の成果がでている	教育委員会事務局のいじめ防止対策に関する計画や昭島市いじめ防止対策推進基本方針についての意見、助言を受け、ガイドライン作成の一助にすることができたため。また、いじめ問題防止会議では、地域や保護者の意見を取り入れたいじめ問題防止だよりの作成することで、取組を推進できたため。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
	E… 施策の成果を全く得られなかった	

主な課題
各学校でのいじめの未然防止のために、保護者や地域との連携推進を図り、現在の相談体制をより充実したものとし、児童・生徒が安心して学校生活を送ることができるようにする。 また、発達支持的生徒指導による各教科の生活指導を充実させ、児童・生徒の教育活動を実りあるものとする。
今後の取組の方向性
いじめ、不登校の対応について、家庭を含む関係機関と、より一層の連携を図り、取組を推進していく。校内別室指導や教育支援室が不登校児童・生徒にとって安心できる居場所となり、学校復帰や自立のきっかけとなるよう随時環境や指導内容を継続して見直していく。

＊発達支持的生徒指導

全ての児童・生徒を対象に、学校の教育目標の実現に向けて、教育課程内外の全ての教育活動において進められる生徒指導。児童・生徒への挨拶、声かけ、励まし、称賛、対話、授業や行事等を等を通した個と集団への働きかけなど。

(参考資料)

▼教育支援室児童・生徒在籍状況(令和6年2月末)

区分	小学校	中学校	合計
人数	18	20	38

▼いじめ防止ポスター(教育・青少年だより「エール」15号より)

令和6年度いじめ防止ポスターの取組について

各中学校の生徒会において「いじめ防止ポスター」を作成し、生徒の主体的な活動を通して、いじめの未然防止に向けた取組を行います。
☆詳しくは、指導課へ



←昭島市ホームページにも掲載しています。



昭和中学校



福島中学校



瑞雲中学校



清泉中学校



拝島中学校



多摩辺中学校

▼教育支援室のご案内(一部抜粋)



昭島市教育委員会

教育支援室入室までの流れ

```

graph TD
    A[相談  
(各学校・教育支援室・指導課特別支援教育係)] --> B[面談(入室相談)・見学]
    B --> C[体験入室]
    C --> D[入室申請書提出 ※学校にご提出ください]
    D --> E[入室協議 ※指導課内で協議し入室を決定。  
教育支援室が今後の対応を決定。]
    E --> F[入室のお知らせ ※教育委員会から入室許可を保護者に通知します]
    F --> G[通室開始]
          
```

詳細は、各学校、教育支援室または指導課特別支援教育係にお問い合わせください。

昭島市教育相談室		☎ 519-2290
教育支援室		
・たまがわ教室	つつじが丘	☎ 543-1935
・もくせい教室	3-3-15	☎ 544-2917
指導課		
特別支援教育係		☎ 519-2290

Q 教育支援室とは、どのような教室ですか？

市内に在学している小・中学生で、学校に行けずに悩んでいる児童・生徒の登校や社会的自立を支援する教室です。

Q 教育支援室は、どこにあるのですか？

小学生を対象とする「たまがわ教室」及び中学生を対象とする「もくせい教室」は教育福祉総合センター(アキシマエッセンス)校舎棟2階にあります。

基本施策2 豊かな心の醸成

自己評価のまとめと外部評価員の評価と意見

教育委員会の自己評価 まとめ		自己評価	該当頁
1 人権教育の推進		B	25
2 道徳教育の充実		B	26
3 体験活動の充実		B	27,28
4 健全育成の推進		A	29,30
政策指標			
困ったことがあったら、相談してみようと思う大人がいる と回答した児童・生徒の割合 (昭島市立学校の児童・生徒アンケート)		令和3年度	令和5年度
	小学校	86.0%	89.0%
	中学校	79.0%	85.0%

外部評価員の評価と意見		外部評価員	工藤 文三
外部評価員の評価			
4	5 … 施策は順調に推進され、ねらい以上の成果がでている。		
	4 … 施策は順調に推進されている。		
	3 … 一部課題があり工夫が必要だが、施策は概ね順調に推進されている。		
	2 … 施策を推進させるのに困難な課題がある。		
	1 … 施策の推進に全く至っていない。		
外部評価員の意見			
基本施策2-1 人権教育に関わる研修の開催、人権教育の理解促進を図る取組、人権パネル展・人権標語等の取組が、児童・生徒の人権尊重の意義の理解を深め、人権尊重の精神のかん養に寄与していることがうかがわれる。今後は「主な課題」にも記されている「新たな人権課題」についても、教育実践への具体化に向けた取組を期待したい。 基本施策2-2 「主な課題」にも記されているように、児童・生徒が道徳的価値に関わる課題について、多面的・多角的に考察し、自分との関わりで考え、議論しながら主体的に判断していくような学習の在り方について検討し、授業改善につなげていくことを期待したい。 基本施策2-3 間接体験や疑似体験の機会が増大している今日、小・中学校を通じて豊かな体験活動を積み重ねていくことは、児童・生徒の感性を豊かにし、事象への興味・関心を引き出し、社会性や協調性、規範意識の醸成にもつながることが期待される。引き続き豊かな体験活動の継続を期待したい。 基本施策2-4 いじめの防止、早期発見、早期対応が徹底して行われるよう、多くの取組が実施されている。不登校及び不登校傾向にある児童・生徒に対する教育支援、保護者との連携等も進められている。いじめの防止については、児童・生徒の学校生活の基盤である学級において、いじめを生まない、いじめを許さない学級づくりに向けた取組の継続を期待したい。			

基本施策3 健やかな体の育成

基本施策3-1 担当課 指導課、教育総務課

体力向上の推進

施策の方向性

子どもたち一人ひとりが健やかな体をつくり、健康で安全な生活を送ることができるよう、学校・家庭・地域が連携した体力向上策を推進します。

各学校では、東京都の「アクティブプランto2020（総合的な子どもの基礎体力向上方策（第3次推進計画）」に基づき、体力向上に関わる目標や、具体的な取組内容を定めた体育・健康に関する全体計画を策定し、計画的に体力の向上を図ります。

また、体育・健康に関する指導を、学校の教育活動全体を通じて適切に行うことにより、健康で安全な生活と豊かなスポーツライフの実現を目指した教育の充実に努めます。

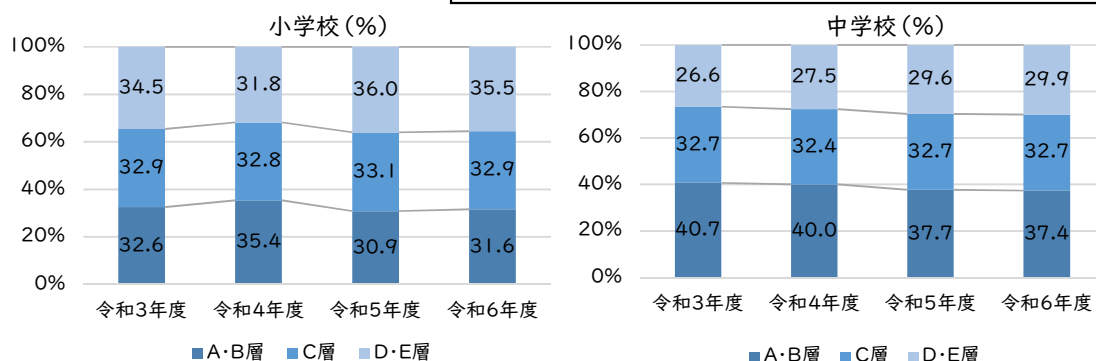
主な取組【担当課】		取組実績
1	グッドモーニング60分の取組【指導課】	各学校で、長期休業日明けにグッドモーニング60分の内容を踏まえた指導を行い、生活リズムを整える指導を行った。
2	部活動指導員、部活動指導補助員の充実【指導課】	部活動指導員、部活動補助指導員の配置により、生徒の部活動への意欲と技術力の向上を図った。また、指導員の配置が、教員の業務負担の軽減と働き方改革の推進につながった。

自己評価		評価理由
A	A… 施策の方向性以上の成果がでている	各学校の体力向上の取組や、中学校部活動の取組により、児童・生徒の体力向上に対する意識を高めることができたため。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
	E… 施策の成果を全く得られなかった	
主な課題		
市の体力調査の結果は、小学校・中学校全国平均、都平均よりも低い結果であった。「元気アップガイドブック」を活用した授業の実施や、コーディネーショントレーニングを取り入れた指導等を行い、児童・生徒の体力向上を図る。「運動やスポーツをすることが好き」という中学生の割合が学年が上がると低下する傾向が見られる。また、学校と地域との連携・協働により、部活動の改革に取り組み、生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しめるよう環境を整備する。		
今後の取組の方向性		
体力調査の結果を踏まえ、体力向上を図る取組を計画的に実施するとともに、引き続き「運動やスポーツをすることが好き」という児童・生徒を増やす。各学校で中学校部活動については、「昭島市立中学校に係る運動部活動の方針」に基づき、適切に運営していく。また、部活動指導員を活用して、指導の充実を図るとともに、教員の長時間勤務の解消を図るために、部活動の地域連携・地域移行を推進していく。		

（参考資料）

体力総合評価（段階別）の経年変化

※下記のグラフは、各種目の個人の記録に応じて1～10点で評価し、合計得点の総合評価を、年齢に応じた一定の得点で5段階に分類したA層（合計得点が高い）からE層（合計得点が高い）の人数の割合を比較したもの。



▼東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査の結果について(体力調査)

調査対象:小学校全学年及び中学校全学年

実施日:令和6年5月

体格及び体力・運動能力調査結果平均値(昭島市)

性別	学年	学年②	人数	身長(cm)	体重(kg)	握力(kg)	上体起こし(回)	長座体前屈(cm)	反復横とび(回)	持久走(秒)	シャトルラン(回)	50M走(秒)	立ち幅とび(cm)	ボール投げ(m)	体力合計点	児童・生徒の増加量(市)	総合評価基準の増加量(都)
小学校	男子	1	442	116.6	21.4	8.9	10.9	29.0	24.6	-	14.4	11.8	110.7	7.7	28.8		
		1(R5)	448	116.6	21.2	8.8	10.3	25.9	25.0	-	13.8	11.7	111.1	7.3	27.9	±6.9	+7.0
		2(R6)	447	122.6	24.4	10.5	13.8	28.7	28.5	-	22.7	11.0	118.5	10.3	34.8		
		2(R5)	469	122.6	23.6	10.4	13.5	28.4	28.2	-	24.2	10.6	119.1	10.4	35.4	+5.6	+5.0
		3(R6)	460	128.1	27.4	12.3	15.9	30.0	31.4	-	31.8	10.3	129.1	13.5	41.0		
		3(R5)	452	128.3	26.8	12.3	16.6	30.1	31.9	-	32.7	10.1	129.7	13.8	41.9	+5.2	+6.0
	女子	4(R6)	457	133.5	30.9	14.0	18.1	32.3	36.0	-	38.4	9.8	140.3	16.8	47.1		
		4(R5)	487	133.8	30.0	14.1	17.9	33.0	35.2	-	39.1	9.6	139.9	17.2	47.7	+4.8	+5.0
		5(R6)	494	139.3	34.7	16.4	19.7	36.2	38.7	-	44.3	9.4	148.7	20.5	52.5		
		5(R5)	477	139.5	34.1	16.3	19.2	35.7	39.8	-	44.5	9.3	147.2	19.7	52.9	+5.3	+5.0
		6(R6)	472	146.2	40.1	18.9	21.3	38.9	42.5	-	52.1	9.1	161.0	23.0	58.2		
		6(R5)	471	145.8	39.8	18.3	20.1	38.3	42.1	-	51.5	9.0	160.5	22.8	57.8	+7.3	+7.0
中学校	男子	2(R6)	480	121.8	23.5	9.9	13.2	32.6	27.2	-	17.9	11.2	110.5	6.8	35.4		
		2(R5)	470	122.1	23.4	10.1	12.2	32.3	26.7	-	17.8	11.0	111.3	6.8	35.4	+6.1	+5.0
		3(R6)	467	127.9	27.4	11.8	15.3	34.5	28.9	-	22.9	10.6	121.9	8.5	41.5		
		3(R5)	483	127.7	26.1	11.7	15.4	34.0	29.7	-	23.2	10.4	123.4	8.8	42.2	+6.0	+6.0
		4(R6)	488	134.1	30.1	13.4	17.2	37.3	34.2	-	27.9	10.1	133.2	10.8	48.2		
		4(R5)	440	134.2	30.0	13.7	17.5	37.0	33.6	-	29.4	10.0	131.9	10.4	48.5	+5.1	+5.0
	女子	5(R6)	445	141.1	35.0	16.1	19.0	41.5	37.1	-	33.0	9.8	141.6	12.2	53.6		
		5(R5)	482	141.3	34.5	16.3	19.1	41.1	37.7	-	34.3	9.5	142.7	13.1	55.1	+4.6	+5.0
		6(R6)	483	147.9	39.9	18.8	20.7	44.8	40.5	-	38.5	9.3	151.4	14.3	59.7		
		6(R5)	483	147.9	39.9	18.8	20.7	44.8	40.5	-	38.5	9.3	151.4	14.3	59.7		
		1	386	156.9	46.4	23.8	22.8	40.2	47.2	479.4	59.2	8.7	173.2	17.4	32.2		
		1(R5)	418	154.1	43.9	23.5	23.0	41.6	48.6	435.0	63.7	8.5	182.0	17.0	32.7	+8.2	+5.0
中学校	男子	2(R6)	407	160.0	50.5	28.8	25.6	44.7	51.5	413.8	77.8	8.2	197.1	20.9	40.9		
		2(R5)	426	161.3	49.4	28.6	25.7	43.7	51.4	397.8	75.4	7.8	191.8	19.1	39.4	+7.0	+4.0
		3(R6)	408	165.4	56.3	32.8	27.6	45.7	54.5	404.1	84.8	7.8	210.3	23.9	46.4		
		3(R5)	407	152.7	44.5	21.4	20.1	44.3	44.5	342.3	42.6	9.3	157.5	11.0	40.9		
		1	407	152.7	44.5	21.4	20.1	44.3	44.5	342.3	42.6	9.3	157.5	11.0	40.9		
		1(R5)	407	152.7	43.5	21.4	20.1	46.4	45.0	320.2	39.0	9.1	160.3	11.3	42.4	+2.6	+5.0
	女子	2(R6)	390	153.6	47.5	23.4	21.2	45.0	45.1	316.5	44.5	9.2	163.0	12.3	45.0		
		2(R5)	404	155.1	47.4	22.8	21.6	44.2	45.4	304.8	46.8	8.8	164.8	11.7	45.6	+1.6	+4.0
		3(R6)	389	156.5	49.8	23.7	22.1	45.8	44.9	319.7	47.3	8.9	164.8	13.8	47.2		
		3(R5)	389	156.5	49.8	23.7	22.1	45.8	44.9	319.7	47.3	8.9	164.8	13.8	47.2		
		1	386	156.9	46.4	23.8	22.8	40.2	47.2	479.4	59.2	8.7	173.2	17.4	32.2		
		1(R5)	418	154.1	43.9	23.5	23.0	41.6	48.6	435.0	63.7	8.5	182.0	17.0	32.7	+8.2	+5.0

※児童・生徒の増加量(市)は、今年度の学年の体力合計点の数値と前年度の学年の体力合計点の数値を比較して算出した数値。

※総合評価基準の増加量(都)は、総合評価基準表(東京都)C段階(平均的な体力水準)の体力合計点の最低値の数値の差を比較して算出した数値。

※網掛けは、総合評価基準表(東京都)C段階(平均的な体力水準)の最低値の増加量を上回る数値。

「新体力テスト9種目の内容」と「体力合計点」について

種目	内容
握力(kg)	左右各2回ずつ握力計で計測する。
上体起こし(回)	30秒間の腹筋運動によって上半身を起こした数を計測する。
長座体前屈(cm)	壁面に背中をつけて長座の姿勢をとり、高さ24cmの計測物を両親指の腹で押し出し、計測物の移動距離を計測する。
反復横とび(回)	1m幅に引いた3本の線を20秒間でまたぎ越す回数を数える。
持久走(秒)	中学生が対象。20mシャトルランと選択できる。男子1500m、女子1000mで計測する。
シャトルラン(回)	20m幅に引いたラインを往復した回数を記録する。(中学生は持久走との選択ができる。)
50M走(秒)	50m直線セパレートコースを全力疾走する。
立ち幅とび(cm)	両足をそろえて前方に跳躍する。
ボール投げ(m)	2mの円内から前方30度の範囲内にソフトボール1号球(小学生)、ハンドボール2号(中学生)を投げる。
体力合計点	項目別得点表により、記録を採点し、合計したもの。

総合評価基準表(東京都)

	小学生						中学生		
段階	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳
A	39以上	47以上	53以上	59以上	65以上	71以上	51以上	57以上	60以上
B	33~38	41~46	46~52	52~58	58~64	63~70	41~50	47~56	51~59
C	27~32	34~40	39~45	45~51	50~57	55~62	32~40	37~46	41~51
D	22~26	27~33	32~38	38~44	42~49	46~54	22~31	27~36	31~40
E	21以下	26以下	31以下	37以下	41以下	45以下	21以下	26以下	30以下

基本施策3-2	担当課	学校給食課、指導課
学校給食・食育の充実		

施策の方向性
子どもの健全な発育のため、地元農家の協力を得て、地場野菜を積極的に活用し、安全・安心な学校給食の提供を行います。 また、学校、家庭及び地域等と連携し、食育を推進します。そして、各学校では、「食に関する全体計画」に基づき、食育リーダーを中心とした指導体制を一層充実するとともに、望ましい食習慣など健康的な生活習慣の形成を促進します。

主な取組【担当課】		取組実績
1	学校給食運営基本計画に基づく学校給食の実施 【学校給食課】	令和6年4月より新たな調理場が供用開始となり、安全・安心な給食の提供に努めた。 また、旧調理場の解体及び外構工事を実施した。令和6年4月から学校給食費を一般会計へ組み込み、学校給食費管理の透明性向上や、安定的な給食の提供に資するため、体制を整備した。
2	学校給食を通じた食育の推進 【学校給食課、指導課】	学校給食の献立を通じて、旬の野菜や野菜摂取の重要性を伝えるとともに伝統的な食文化の継承のため、郷土料理や和食を積極的に取り入れた。食育リーダー会議の年2回の開催や教員との情報交換、学校との連携を図るため、センター校、親子調理方式の学校については、月に1回、食育推進会議（給食主任会）を開催した。 また、食育シンポジウム、小学生を対象としたLet's食育クッキング教室では、朝食の定着化に向けた取組を図り、給食日より、市公式インスタグラムを通じた情報発信を行った。
3	地産地消の推進 【学校給食課】	市立小・中学校の児童・生徒が自分が住む地域の理解を深め、愛着が育めるよう、学校給食において地場産食材を積極的に活用するなかで、地場農家と連携し食に関わる指導を実施した。

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている	新調理場供用開始後も安全・安心な給食の提供を実施しながら、学校給食を「生きた教材」として活用し、食育に関する指導については、一定程度の推進が図れた。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
	E… 施策の成果を全く得られなかった	
主な課題		
(ア)安全・安心な学校給食の提供について 学校給食の安全性と衛生を確保するため、学校給食衛生管理基準に基づき、さらなる衛生管理体制の確立を徹底するとともに食材選定や調理過程における衛生点検を徹底していく必要がある。 (イ)食育推進のための連携について 食育を推進するうえで、家庭、学校、地域、生産者との連携をさらに強化する必要がある。		

今後の取組の方向性

(ア) 安全・安心な学校給食の提供について

衛生管理に対する意識向上を図り、異物混入や食中毒を防いでいく。食品の選定、納品に係る検収は、より細かく確認することにより、食中毒の防止や安全な食材の調達に努める。

アレルギー対応給食については、献立の工夫と共に、学校とも緊密な連携を図り、調理中、配膳等において万全な確認体制を構築する。

(イ) 食育推進のための連携について

学校給食を通じた食育を推進するため、家庭・学校・地域が一体となって取り組める体制を整える。また、家庭での食育を推進するため、Let's食育クッキング教室の開催やお弁当の日の取組を家庭に周知し、理解を深めていくとともに、児童・生徒がお弁当づくりを通して、食への関心や食事の大切さなどについて、家庭で考えるきっかけを創出する。

また、地場農産物の生産者と連携し、食に関する概念的な理解が深まるようにする。

令和6年4月に開設した新調理場に整備した「Let's食育研修室」を活用して、様々な取組を企画し、市民に向けた食育の情報発信の拠点とする。

(参考資料)

▼給食時間における朝食に関する食育の様子(小学校)

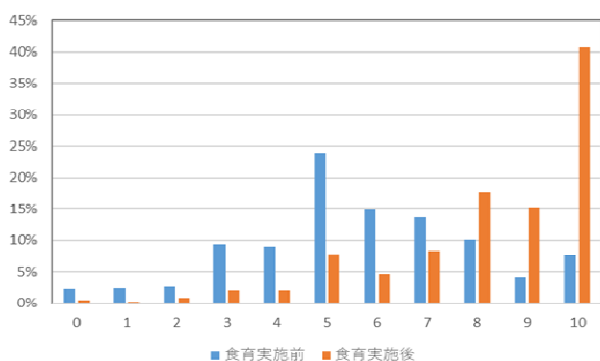


▼給食時間における朝食に関する食育の様子(中学校)



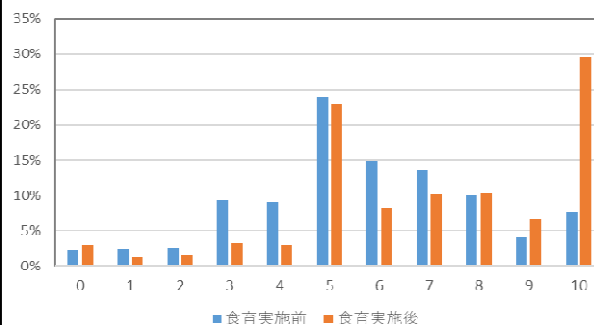
▼朝食に関する食育前と食育後を比較したアンケート

毎日朝食を食べることと、学校の成績とは、どのくらい関係があると思いますか？
(0を「まったく関係はない」10を「とても関係がある」として、自分が思うレベルの数字で選んでください。)



栄養のバランスが良い朝食の内容について、自分はどのくらい理解していると思いますか？

(0を「全く理解していない」10を「とても理解している」として、自分が思うレベルの数字で選んでください。)



基本施策3-3	担当課	指導課、学務担当、学校給食課
学校保健安全の推進		

施策の方向性
子どもたちの安全・安心の確保や心と身体の健康管理のため、アレルギー疾患対応マニュアルに基づいた対応や、各種健康診断を実施します。 また、子どもたちが自分で自分の身を守るようにするため、各学校の安全教育全体計画に基づき、家庭や地域と連携して、生活安全、災害安全及び交通安全の3領域について計画的な指導を行います。 また、新型コロナウイルス感染症への対応を教訓として、感染症に対する正しい理解と予防対策を身に付け、感染症のまん延防止に努めます。

主な取組【担当課】		取組実績
1	アレルギー疾患対応マニュアルに基づいた対応の充実【学校給食課、指導課、学務担当】	小・中学校の全教職員を対象として、動画配信によるアレルギー対応研修会を実施した。 令和6年度4月にアレルギー疾患対応マニュアルの改定に基づき、新共同調理場に整備したアレルギー対応給食専用調理室から全小・中学校への提供を開始した。また、アレルギー対応給食の提供方法について、実態に即しマニュアルの一部改正を実施するとともにパワーポイントの資料を作成し、学校に向けて周知を行った。
2	薬物乱用防止教室の実施【指導課】	小・中学校全校で、学校薬剤師等を活用した薬物乱用防止教室を実施した。薬物乱用の危害に対する正しい知識の普及・啓発を推進し、薬物の正しい活用の仕方について指導した。
3	がん教育の取組の推進【指導課】	中学校全校で、外部講師を活用したがん教育を実施した。福島中と瑞雲中、清泉中、拝島中では、外部講師を招聘して実施し、残りの2校については、外部講師の講義ビデオを活用して実施した。※瑞雲中は、都事業 清泉中は、健康課事業
4	セーフティ教室の実施【指導課】	小・中学校全校でセーフティ教室を実施し、各学年の児童・生徒の実態に応じて、交通安全、不審者対応、SNSの安全な使い方などについて、外部講師と連携した取組を実施した。

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている	児童・生徒の実態に応じ、各学校で関係機関と連携した取組を推進することができたため。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
	E… 施策の成果を全く得られなかった	
主な課題		
外部講師を招いて活動を行うなどの工夫が図られているが、児童・生徒が課題解決のために主体的に考えたり話し合ったりする時間の設定について、更に工夫していく必要がある。		
今後の取組の方向性		
外部講師との打ち合わせ等を密に行い、学習活動の充実を図り、学習内容について適切な知識を身に付けることができるようにする。		

(参考資料)

▼健康課によるがん教育(清泉中)



▼交通安全教室(福島中)



基本施策3 健やかな体の育成

自己評価のまとめと外部評価員の評価と意見

教育委員会の自己評価 まとめ		自己評価	該当頁
1 体力向上の推進		A	32,33
2 学校給食・食育の充実		B	34,35
3 学校保健安全の推進		B	36
政策指標			
運動やスポーツをすることが好きであると回答した児童・生徒の割合 (東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣調査)		令和3年度	令和5年度
		令和6年度	令和8年度 目標値
小学校		90.5%	91.2%
中学校		81.8%	74.6%
		83.4%	83.0%

外部評価員の評価と意見		外部評価員	工藤 文三
外部評価員の評価			
4	5 … 施策は順調に推進され、ねらい以上の成果がでている。		
	4 … 施策は順調に推進されている。		
	3 … 一部課題があり工夫が必要だが、施策は概ね順調に推進されている。		
	2 … 施策を推進させるのに困難な課題がある。		
	1 … 施策の推進に全く至っていない。		
外部評価員の意見			
基本施策3-1 令和6年度「昭島市立学校の児童・生徒及び保護者アンケート」からも「グッドモーニング60分」の取組の成果がうかがえる。令和6年度「東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査」の結果から、小学校・中学校の学年ごと、男女別に増加量に違いがあることなどを踏まえ、体育の授業における指導の工夫改善等を進めるとともに、体を動かしたり運動したりすることが好きな児童・生徒を増やすことに努めていただきたい。スマートフォンやタブレットの長時間の使用は、視力の低下だけでなく体を動かす機会の減少につながることにについても注意を喚起したい。 基本施策3-2 安全・安心な学校給食の推進に向けた取組、学校給食を通じた食育の推進が着実に進められている。引き続きそれぞれの取組について、充実したものとなることを期待したい。 基本施策3-3 学校保健安全については、学校として求められる基礎的な取組と同時に、具体的な課題に対応した取組が実施されている。アレルギー疾患対応、薬物乱用防止、がん教育、セーフティ教室ともに、着実に取組が進められた。			

基本施策4 輝く未来に向かって

基本施策4-1	担当課	指導課
幼・保・小・中が連携した教育の充実		

施策の方向性
幼児教育と小学校教育との円滑な接続を行うために、各学校では「昭島市スタートカリキュラム スタートブック」に基づく取組を実施します。幼保小連携推進協議会では、幼稚園、保育所等や小学校の教職員が集まり、相互に連携し、子どもたちが円滑な小学校生活をスタートできるよう情報共有を行います。 また、義務教育9年間を通して、子どもたちに系統的、継続的な指導を行うため、中学校の学区ごとに小中連携教育を推進します。各中学校区では、年3回小・中連携の日を設定し、生活指導の各学校の状況について情報共有を行った。児童会と生徒会が交流を行ったりすることで、取組内容の統一化を図っていきます。

主な取組【担当課】		取組実績
1	「昭島市スタートカリキュラム スタートブック」に基づく取組の実施【指導課】	各小学校でスタートカリキュラムの実践を継続し、第1学年の入学当初に児童が円滑にスタートできる学習を計画的に実施することができた。
2	幼保小連携推進協議会の開催【指導課】	年3回の幼保小連携推進協議会において、幼稚園、保育所、認定こども園、小学校で相互の施設見学等の交流及び市内全体で情報共有をする「情報交換会」を、教育委員会と子ども育成支援課で共催で実施し、関係教職員の交流を図り、連携推進を図った。
3	小中連携教育の推進【指導課】	6つの中学校区ごとに、年3回以上小中連携日を設定し、教員同士や児童・生徒同士の交流を行い、小学校と中学校の連携を推進した。清泉中学校区においては、児童会・生徒会が連携し、夏季休業期間中に交流会を行った。

自己評価		評価理由
A	A… 施策の方向性以上の成果がでている	各学校でスタートカリキュラムによる計画的な指導が実施できたため。また、幼保小の施設を実際に見学するなど、具体的に交流し連携も進んだため。小中の連携についても継続して実施できたため。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
	E… 施策の成果を全く得られなかった	

主な課題
4～6月の入学時期で双方の状況を見合い、話し合う機会が設けられているが、グループごとの実施となっているため、全体での共有が不十分である。また、幼保小の連携に留まることなく、幼保小中まで拡充した取組となるよう充実させる必要がある。
今後の取組の方向性
「アプローチカリキュラム」を策定し、アプローチカリキュラムとスタートカリキュラムを基に、円滑な就学と指導を行う。また、適切な時期に相互の施設見学を継続するとともに、情報交換の機会を増やし、更なる指導の充実を図る。幼稚園・保育所等と小学校のグループ分けを行い、グループごとに参観や交流の機会を設ける。小中連携教育の推進では、中学校区の特徴を生かした授業体験、部活動体験などを充実させ、小学校と中学校の連携を更に推進していく。

*スタートカリキュラム… 小学校へ入学した子どもが、幼稚園や保育園などの遊びや生活を通した学びと育ちを基礎として、主体的に自己を発揮し、新しい学校生活を作り出していくための教育課程。

*アプローチカリキュラム… 就学前の子どもが、小学校での生活を知ること、入学前の不安解消につなげたり、入学後の円滑な小学校生活への意向を目指した、幼稚園、保育所の教育指針。

(参考資料)

▼昭島市スタートカリキュラムスタートブック(一部抜粋)

昭島市スタートカリキュラム スタートブック

～昭島っ子の「学びの芽生え」から「自覚的な学び」をつなぐ～

昭島市教育委員会では、「第2次昭島市教育振興基本計画」に基づき、一人一人の発達や学びを切れ目のないようにつなげ、学びの成果を受け止め、次の段階で一層発展できるように、「昭島市スタートカリキュラム スタートブック」を発行し、小学校段階において円滑にスタートできることを目指した教育を進めています。

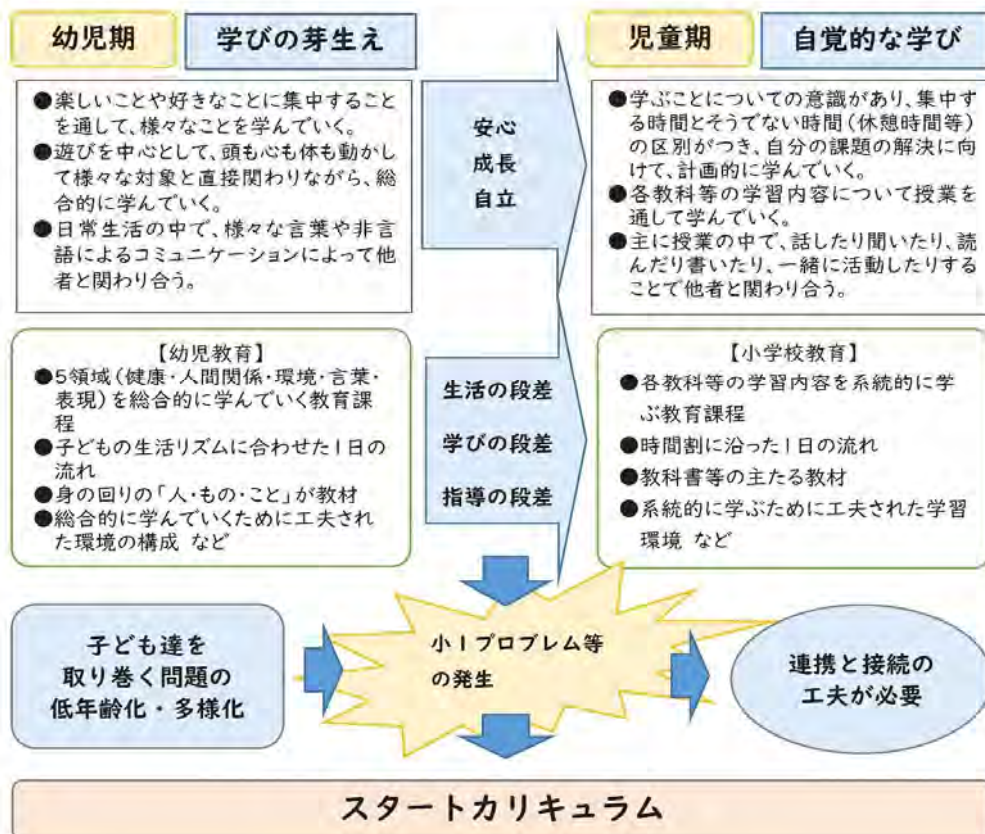
1 スタートカリキュラムとは

「スタートカリキュラム」とは？

小学校に入学した児童がスムーズに学校生活へ適応していけるように編成した第1学年入学当初のカリキュラムのことです。

入学したばかりの児童に「明日も学校に来たい。」という学校生活に対する意欲と安心感をもたせ、幼児期の教育から小学校教育への円滑な接続をもたらすように、スタートカリキュラムを工夫することが大切です。

入学当初は、「学びの芽生え」から「自覚的な学び」へと連続させることが重要となります。生活科を核として楽しいことや好きなことに没頭する中で生じた驚きや発見を大切に、学ぶ意欲が高まるように活動を構成することが有効です。



▼幼保小連携推進協議会について

○参加者		
担当幼稚園長	昭島台幼稚園 理事長	常木 浩史
担当幼稚園長	昭島幼稚園 園長	石川 勇
担当保育園長	昭和保育園 園長	松野 紀代美
担当校長	東小学校長	鈴木 正樹
(事務局)		
子ども育成支援課長、保育所幼稚園係長		
統括指導主事、指導主事		
○議題		
第1回 幼保小の見学について・アプローチカリキュラムについて		
第2回 幼保小情報交換会の開催について・アプローチカリキュラム素案		
第3回 今年度のまとめ及び次年度の取組について・アプローチカリキュラム実施に向けて		

基本施策4-2	担当課	指導課
日本の伝統・文化に関する教育の充実		

施策の方向性 国際社会で活躍する日本人の育成を図るため、子どもたちの発達段階を踏まえ、各教科等を通じて、日本の伝統・文化、東京都や昭島市の歴史と風土について学ぶ機会の充実を図り、我が国や郷土を愛し、伝統や文化を継承、発展させようとするとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を育む教育を推進します。 小学校においては、連合音楽会や連合展覧会を開催し、中学校においては、合唱コンクールを開催し、子どもの豊かな情操を育成します。
--

主な取組【担当課】		取組実績
1	小学校連合音楽会の開催【指導課】	13校の小学校第6学年を7校と6校に分け、午前・午後に分けてFOSTERホールで開催した。児童930名が学年合唱・合奏発表を行った。児童保護者、地域など、1374名が来場した。
2	小学校展覧会の開催【指導課】	令和6年度は昭島市公民館小ホールにて、各小学校の平面作品、立体作品を展示した。保護者、地域の方等2319人が来場した。
3	中学校合唱コンクールの実施【指導課】	中学校全校がFOSTERホールで実施した。

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている	伝統・文化に関する教育や、市主催の各種行事により、児童・生徒の豊かな情操を育むことができたため。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
	E… 施策の成果を全く得られなかった	
主な課題		
日本の伝統・文化を体験する機会や世界の文化を知る機会を設け、多様性の重要性を知る機会とする必要がある。また、地域人材の活用や体験活動の機会を増やし、充実した活動を継続して実施する必要がある。		
今後の取組の方向性		
小学校音楽会・展覧会においては、芸術を通して地域に広く周知できる機会を継続して設けていく。日本の伝統・文化に関わる体験活動や世界の文化を知る機会を設け、東京都や昭島市などの地域の歴史と文化について、比較検討しながら学ぶ機会を確保できるよう、各学校が小学校6年間、または中学校3年間を見通して、系統的な指導計画を作成するよう引き続き指導・助言する。また、地域と連携した取組を継続して実施する。		

(参考資料)



▲小学校展覧会の様子



▲合唱コンクール(瑞雲中)

基本施策4-3	担当課	指導課
学校・家庭・地域・社会との連携・協働		

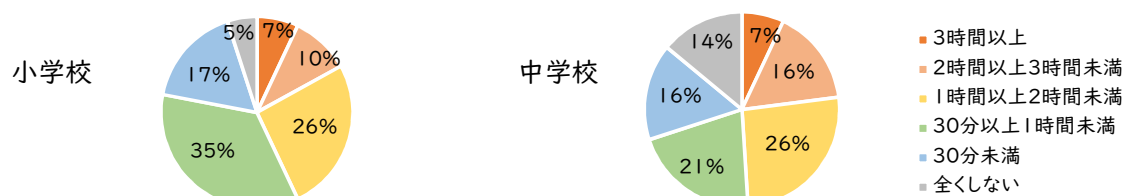
施策の方向性 社会がますます複雑化、多様化し、子どもたちを取り巻く環境も大きく変化する中、これからの教育は、これまで以上に家庭・地域・社会と学校との連携・協力の下で進めていくことが不可欠です。 学力の向上には、学校での学習指導とともに、家庭においても基本的な学習習慣、生活習慣を身に付けさせることが重要です。 そのために、学習ドリルや家庭学習のしおりを活用して、家庭での学習習慣の定着を図るとともに、起床から登校までの時間を60分間確保することにより、1日の生活リズムを整える取組を各学校で行い、生活習慣の改善を図ります。

主な取組【担当課】		取組実績
1	家庭学習の定着【指導課】	児童・生徒の個別最適な学びに応じて、家庭での学習習慣の定着を図るよう、1人一台タブレット端末を活用した取組を行った。
2	グッドモーニング60分の取組【指導課】	各学校で、長期休業日明けにグッドモーニング60分の内容を踏まえた指導を行い、生活リズムを整える指導を行った。
3	地域の教育力の活用【指導課】	市民図書館や地域の企業を活用するなど、地域の人的・物的資源を活用した教育活動を実践した。また、学校運営協議会設置校については、協議会委員の協力を得た教育活動を展開することができた。

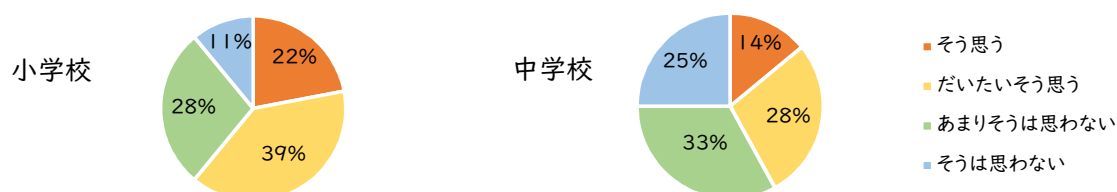
自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている	家庭と連携した取組や、地域資源を活用した教育活動により、児童・生徒の資質・能力の向上を図ることができたため。また、長期休業日前の保護者会において、学校での学習の振り返りと、家庭での学習のポイントを伝え、次の学期に生かすことができていたため。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
	E… 施策の成果を全く得られなかった	
主な課題		
家庭学習の定着を促進させるため、児童・生徒の個々に応じた家庭学習(個別最適な学び)の定着の方策について継続して検討する必要がある。		
今後の取組の方向性		
家庭学習に意欲的に取り組むことができるよう、1人一台タブレット端末を有効活用した取組や、学習形態の工夫により、より良い学習習慣を身に付けることができるように、授業などの教育活動を通して家庭学習の取組を推進する。		

(参考資料)

児童・生徒アンケートの結果 ○1日平均何時間勉強していますか。(授業時間はのぞく)



保護者アンケートの結果 ○お子様は、家庭学習の習慣が身に付いていると思いますか。



基本施策4-4	担当課	指導課
学校の教育力の向上		

施策の方向性
よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を学校と社会で共有し、子どもたちが、社会や世界と関わり合い、たくましく人生を切り拓いていくための資質・能力を育むため、保護者や地域の方々の学校参画を促し、社会に開かれた教育課程を通して学校の教育力の向上を図ります。 教育課程の実施に当たっては、地域資源の活用や社会教育との連携を図り、学校教育その他の学校運営の状況について、自己評価、学校関係者評価を行い、その結果を学校の教育力の向上に生かします。

主な取組【担当課】		取組実績
1	教育推進計画(HDSプラン)の着実な実施【指導課】	児童・生徒、保護者アンケートを参考に実施した外部評価を基に、学校が作成した学校経営重点計画(教育推進計画)年度末評価【総括表】に対して評価し、改善に生かしている。2月の教育課程届出相談時において成果と課題を確認し、その内容を踏まえて次年度の教育課程を作成した。
2	職層に応じた研修や校内研修の実施【指導課】	職層に応じた研修(4月に新任主幹教諭、新任主任教諭、5月に新任副校長研修)を実施した。また、初任者から3年次教諭を対象に集合研修や授業観察訪問及び指導助言を実施し、授業力の向上等を図った。11年目を超えた教諭を対象に、中堅教諭等資質向上研修を実施し、服務や法規、生活指導など、ミドルリーダーとして必要な資質能力を育成した。
3	持続可能な学校運営の推進【指導課】	「学校の働き方改革実施プラン」に基づき、学校閉庁日(5日間)や定時退勤時刻の設定、夜間自動応答メッセージ(留守番電話)の活用など、ワーク・ライフ・バランスの実現に努めた。また、副校長補佐、エデュケーションアシスタント、部活動指導員、部活動指導補助員、スクール・サポート・スタッフ等の配置により、教職員の負担軽減を図った。

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている	学校が講じた手立てが、児童・生徒の育成成果として現れている。これは、教員の指導力が一定量向上したと捉えることができ、学校経営重点計画や学力調査の意識調査、児童・生徒、保護者アンケートにより確認することができたため。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
	E… 施策の成果を全く得られなかった	
主な課題		
教育課程を実施する中で探究的な活動に当たっては、特に地域資源の活用や社会教育との連携が重要であり、地域全体で学校の教育力を向上していく必要がある。 働き方改革については、外部人材の活用をはじめ、教員の負担軽減を継続して着実に図っていく必要がある。		
今後の取組の方向性		
地域人材を有効に活用するためには、学校運営協議会(コミュニティ・スクール)委員との連携が欠かせないことから、令和6年度の成果と反省を踏まえ、令和7年度からのコミュニティ・スクール全校実施を円滑に進める。 中学校部活動についても、部活動指導員や部活動支援員などの人材を育成しながら、部活動地域連携・地域移行について、本市にとって望ましい形を検討していく。		

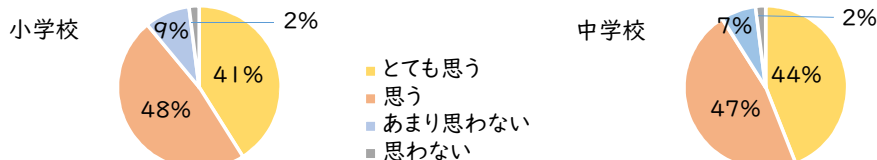
(参考資料)

▼令和6年度「昭島市立学校の児童・生徒及び保護者アンケート」の調査結果

(令和7年昭島市教育委員会第2回定例会 報告事項)

<https://www.city.akishima.lg.jp/s111/010/020/030/010/012/1200/0702houkoku2.pdf>

児童・生徒アンケートの結果 ○これまでの自分の生活を振り返り、よりよくしたいと思いますか



⇒キャリア・パスポート(P.51参照)の活用等を通して学期初めや学期末に各自が目標を立て、学習面や生活面の振り返りを丁寧にし、それに対して教員が具体的な賞賛や改善に向けた助言を継続的に行ってきたことが、成果として表れている。

▼教育推進計画(HDSプラン)(例)

令和○年度 昭島市立○○学校 学校経営重点計画(教育推進計画)年度末評価【総括表】

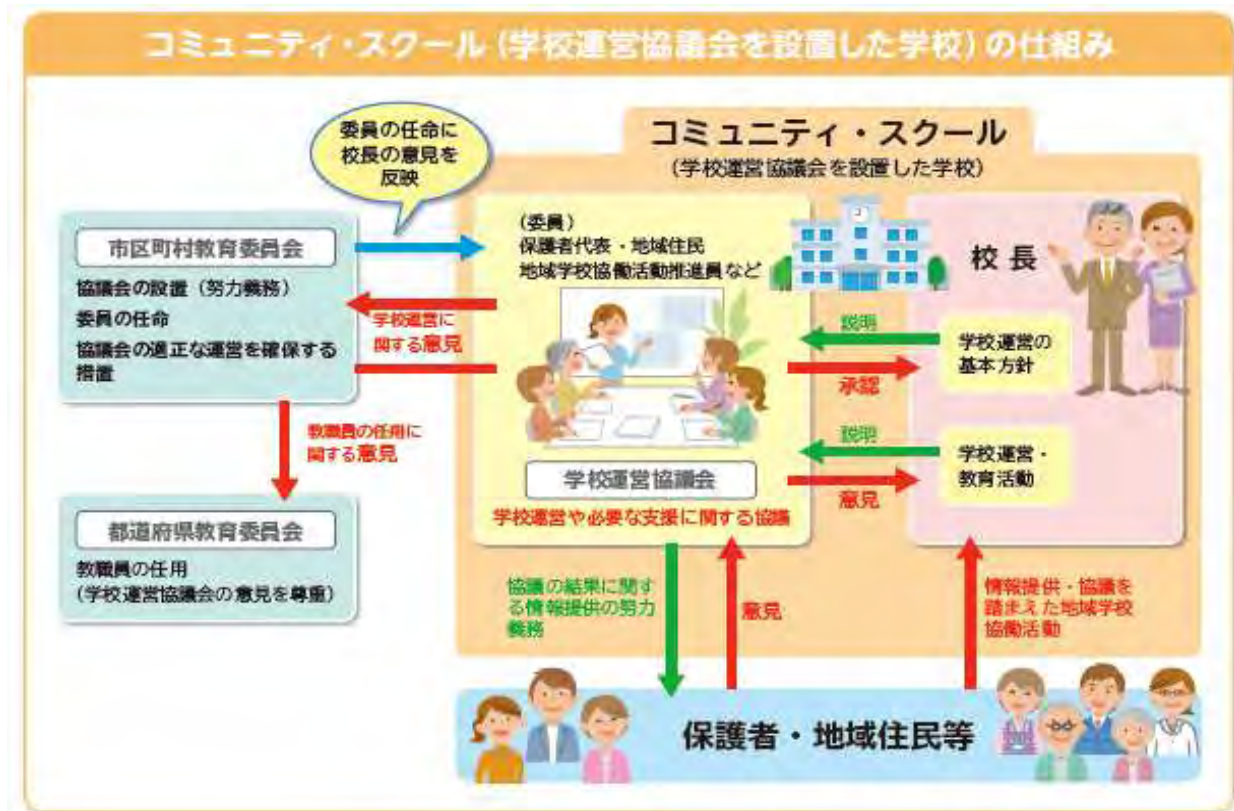
学校教育目標			◎よく考え やりぬく子 ◎思いやりのある 心豊かな子 ◎進んで体をきたえ 健康な子	【目指す学校像】 【目指す児童・生徒像】 【目指す教師像】	○子供の可能性を引き ○自ら考え、主体的に ○人権感覚を磨き子供を	正しく自己評価できていることになるため、望ましい状態。					
領域	中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価	自己評価結果の分析	学校関係者評価	評価	次年度への改善策
確かな学力	基礎的・基本的な学習内容の	授業改善推進プランに基づき、 基礎に固い授業を充実させる。	授業改善推進プランに基づき、 この指導計画に位置付けられた 児童・生徒の学習目標を達成する ための指導計画に位置付ける。	4. 全教員が、この指導計画に位置付けられた、 児童・生徒の学習目標を達成するための指導計画に位置付ける。	3	3. 学力調査の結果、この指導計画に位置付けられた、 児童・生徒の学習目標を達成するための指導計画に位置付ける。	2			C	
取組指標は、経営目標及び具体的方策に基づき学校（教職員）が取り組むことについて記載。 指標は「2」を現状として4段階の数値による評価基準を3学期に設定する。				成果指標は、経営目標及び具体的方策によって期待される成果について記載。 学力調査の結果や児童・生徒、保護者アンケートの結果等による指標で、具体的な数値目標。 指標は「2」を現状として4段階の数値による評価基準を3学期に設定する。							

▼令和6年度昭島市立学校学校経営重点計画(教育推進計画)年度末評価の結果について (令和7年昭島市教育委員会第5回定例会 報告事項)

<https://www.city.akishima.lg.jp/s111/010/020/030/010/012/1500/0705houkoku3.pdf>

▼コミュニティ・スクール

コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)は、保護者や地域住民等が参画する学校運営協議会を設置し、地域と連携・協働しながら学校運営に取り組む学校です。学校運営協議会は、地域と学校が目標や課題を共有し、「地域とともにある学校づくり」を進めるための仕組みです。



基本施策4-5	担当課	指導課、教育総務課
教育環境の整備		

施策の方向性
子どもたちが安全で快適に学校生活を送り、効果的な学習活動ができるように施設や設備、教材の維持・整備を計画的に行います。 また、国のGIGAスクール構想の実現のため、学校におけるICT機器の整備や情報通信ネットワーク環境のさらなる充実に努めます。

主な取組【担当課】		取組実績
1	学校施設の大規模改修工事の計画的実施 【教育総務課】	共成小及び多摩辺中での便所洋式化改修、玉川小、成隣小の便所の全面改修、昭和中での空調更新などの工事を実施した。
2	学校施設・設備の維持及び整備 【教育総務課】	冷暖房機、プール浄化装置、消防用設備などの保守点検や、快適な学習環境の確立に向けた修繕を実施した。
3	学校ICTの整備 【教育総務課】	校内ネットワークを更新し、通信速度を1Gbpsから10Gbpsへ向上させるとともに、原則各教室に1台の無線アクセスポイントを設置した。また、50インチの大型ディスプレイについては、特別教室等への新設及び既設の42インチのものからの更新を実施した。（リースにより203台設置。）
4	水泳指導の民間企業の活用 【指導課、教育総務課】	武蔵野小、つつじが丘小、光華小、拝島第三小の4校について、民間屋内プール施設及び施設所属の専門指導員を活用した水泳授業を試行実施した。

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている	一部事業については入札不調により事業の延期をせざるを得ない状況等課題があったが、適宜計画を見直し、施設や設備の維持・整備、ICT機器の整備を行えたため。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
	E… 施策の成果を全く得られなかった	

主な課題
(ア) 学校施設の大規模改修工事の計画的実施 多くの学校施設が建築後60年を迎えることから、大規模改修工事にとどまらず校舎等の建て替えの具体的な計画策定が必要。 (イ) 学校ICTの整備 学校ICT機器の活用が促進されていること、また、GIGAスクール構想第2期を見据え、安定したネットワーク環境を維持・向上するため、校内ネットワーク環境の更新・増強が必要となる。また、大型ディスプレイについては、特別教室など未設置の教室へ配備していく必要があるほか、42インチのディスプレイが設置されている教室における、画面の見やすさの改善を図る必要がある。 (ウ) 水泳指導の民間企業の活用 学校における水泳授業は、天候不順や熱中症予防などにより、計画的な実施が困難となっているため、武蔵野小、つつじが丘小、光華小、拝島第三小で試行実施した本事業を継続して評価・検証していく。
今後の取組の方向性
(ア) 学校施設の大規模改修工事の計画的実施 令和5・6年度で実施した建物耐力度調査の結果を踏まえ、校舎等の更新時期の順番等、具体的な計画を策定する。 (イ) 学校ICTの整備 安定したネットワーク環境を維持するため、校内ネットワークの運用保守を行う。また、一人1台端末の更新を行い、今ある環境を最大限に生かした一人1台端末の活用を推進していく。 (ウ) 水泳指導の民間企業の活用 令和7年度も、武蔵野小、つつじが丘小、光華小、拝島第三小で本事業を継続して実施する。

＊GIGAスクール構想第2期・・・

第1期で導入した端末の更新に加え、第1期で発覚した問題点の対応や高速大容量の通信ネットワークの整備をさらに発展させるフェーズのこと

(参考資料)

▼玉川小便所全面改修工事(トイレブース)



▼玉川小便所全面改修工事(水飲み場)



▼昭和中空調工事(屋外)



▼昭和中空調工事(屋内)



▼50インチの大型ディスプレイの設置



▼各教室への無線アクセスポイントの設置



▼水泳指導の民間企業の活用の様子



基本施策4-6	担当課	指導課、教育総務課
情報教育の推進		

施策の方向性 スマートフォンなどの情報通信技術の向上によるSNSの普及や、人工知能（AI）の急速な技術革新により、人々のライフスタイルや価値観の大きな変化に対応した教育や学習機会を提供することが必要です。 また、平成29（2017）年に告示された学習指導要領においては、初めて「情報活用能力」を学習の基盤となる資質・能力として位置付け、教科等横断的にその育成を図り、必要なICT環境を整え、適切に活用した学習活動の充実を図ることが示されました。 これらを踏まえ、各学校では、GIGAスクール構想による一人1台のタブレット端末の活用により、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化された学びの実現を目指します。 また、タブレット端末や図書館を利用した学習を通して、子どもたちの情報活用能力や情報モラルについての指導を推進します。

主な取組【担当課】		取組実績
1	タブレット端末の活用の推進【指導課】	ICT担当者連絡会にて、各学校におけるタブレット端末を活用した実践の取組を共有した。また、昨年度に作成した「ICT実践事例集」を基に、各学校でOJT研修等においてタブレット端末の授業での活用に関する研修を行った。
2	教員研修の充実【指導課】	ICT担当者連絡会にて、放送大学教授を招聘し、タブレット端末の効果的な活用や情報モラルについて学んだ。
3	情報モラル教育の推進【指導課】	ICT担当者連絡会にて「情報モラル事例集」を作成し、指導の充実を図った。また、小・中学校全校で「GIGAワークブックとうきょう」を活用し、タブレット端末によるオンラインの資料により情報モラル教育の指導を行った。

自己評価		評価理由
A	A… 施策の方向性以上の成果がでている	ICT担当者を中心に、小・中学校全校でタブレット端末の活用を推進したため。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
	E… 施策の成果を全く得られなかった	
主な課題		
授業におけるタブレット端末の活用について、苦手意識をもつ教員もいる。どの学校のどの授業でも、ICT機器を効果的に活用できるように、ICT担当教員を中心に、継続的に推進していくことが課題である。		
今後の取組の方向性		
タブレット端末を効果的に活用し、児童・生徒が主体的に考え、話し合い、実践につなげていけるよう指導の改善を図る。また、WEBQUなど、学習eポータルを活用した取組の推進を図る。		

* WEBQU [\(https://manabipocket.ed-cl.com/feature/webqu/\)](https://manabipocket.ed-cl.com/feature/webqu/)

教員が児童生徒の状態を多角的に知ることができるアンケートツールのこと。構成は、いじめ、不登校、やる気、ソーシャルスキル、部活動、アクティブラーニング、学習意欲の項目で、個人とクラスの状態をアクティブに可視化して表示される。アンケートはweb上で行われる。

(参考資料)

▼GIGAワークブックとうきょう(東京都教育委員会発行のデジタル教材)

<https://infoedu.metro.tokyo.lg.jp/snsnote.html>

▼「GIGAワークブックとうきょう」教材例



とうきょう

はじめに

ネットがせかい中に広がって、うきうきには、ケータイ等のモバイル端末を持つようになりまし。後、人たちははじきくをく直しながら正しい使い方を覚え、しつぱいもたくさんしています。みなさんが生きていくこれらの時代は、全く想像がつかない時代です。

みなさんにも学習の道具として1人1台の端末が配付されています。端末を上手に活用するために、学校やあうでのやくそくやたんまつの使い方について「GIGAワークブック」を通して学んでいきましょう。

また、教師の使用によるし方のてい下等、けんこう上のかん念からも、たんまつを使用する前にやくそくを求めて、ごちからけんこうちエックをするこが大切で、これらの状況でもみなさんが学んだことを上手に活用してください。

かいいい



スキルのポイント

足だちの写真をとるときに、相手にとつてもよいのでしょうか？
たとは、かき等のはだかにきい写真は、相手にとつてはいけません。
また、足だちの写真をとるときに、イヤがつているのにとつてはいけません。
足だちの写真をとるときは、相手にきよを取るようにならう。

▼学校でのタブレット端末活用の取組例の紹介(教育・青少年だより「エール」13号より)

GIGAスクール通信

本校では、「かがくのじゅうす」「やまがひとつ」を合言葉に、「授業」「学級会」「クラブ」等の多くの場面でタブレット端末を活用しています。授業では、子供たちに活用方法を伝えて、調べたり、まとめたり、伝えたりする際に、タブレット端末を活用します。係活動や学級会、クラブ活動などでは、話し合いの手助けツールとして活用しています。



【5年生 国語】

GoogleドキュメントやGoogleスライドで自分の考えをまとめます。相手に伝わりやすいまとめ方を学ぶことができました。



【クラブ活動】

キーボードを使わず、ブロックの順番を並び替えるだけで動作の結果が変わるのでその様子を見ながら試行錯誤してプログラムを組み立てています。

学校でのタブレット端末を活用した取組をご紹介します

★つつじが丘小学校タブレット端末活用の取組★

つじこのためのタブレット合言葉

おうちでは...「かがくのじゅうす」 学校では...「やまがひとつ」

① きこむ ときは、よく かんがえます。

② いしやうのたのみに使おう。

③ じまがた、使わない。

④ べりり止しのがスワード。

⑤ せんを動かすだけ。

⑥ だれかにはやうだん。

⑦ すみ時間を使う時間をまらう。

⑧ なーまもつ。コメントしよう。

⑨ けいさのたのみに使おう。

⑩ じにかきない。

⑪ じて、といわれたらすぐにとじる。

⑫ ぐえのまんなかで使おう。

【4年生 学級会】

本校では「子供同士」を大切に話し合いをおこなっています。Googleスプレッドシートに、学級会前に自分の意見を書きます。タブレット端末から先生に提出し、友達の考えもすぐに共有できます。

47

基本施策4-7	担当課	指導課、教育総務課
環境教育の推進		

施策の方向性
自然に親しみ、自然を大切にする心を育成するとともに、地球環境の保全について考え、行動できる教育を推進します。 また、学校・家庭・地域の連携・支援体制を確立し、環境教育のより一層の充実を図ります。

主な取組【担当課】		取組実績
1	持続可能な社会づくりに向けた教育の推進【指導課】	各教科や総合的な学習の時間など、教育活動全体を通してSDGsの視点を考慮した取組を継続して実践した。
2	太陽光発電設備の設置【教育総務課】	発電量の掲示による再生可能エネルギーや創電といった環境行動の意識付けとして、令和8年度に光華小学校に太陽光発電設備を設置するための準備を実施した。

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている	全ての教育活動において、昭島市の自然を生かした環境教育の実践を図ることができたため。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
	E… 施策の成果を全く得られなかった	
主な課題		
グローバルな視点にたった環境教育を実施する中で、地元の自然環境を知り、児童・生徒が自分自身で取り組むことができることを試行錯誤し、持続可能な取組の実践につなげる必要がある。		
今後の取組の方向性		
教科や総合的な学習の時間等を活用し、児童・生徒が自らの問題として捉えることができるような指導の工夫を行う。さらに、カーボンニュートラル社会の実現に向けて、地域と一体となって実践できる取組を検討していく。		

(参考資料)

▼ナッジ理論を活用した省エネ教育プログラムを実施

<https://www.city.akishima.lg.jp/s068/020/010/010/040/320/20230825131916.html>

【授業風景】



▲児童が作成した新聞

基本施策4-8	担当課	指導課、教育総務課
国際理解教育の推進		

施策の方向性
グローバル化が進展する中で、子どもたちが広い視野をもち、外国の言語や文化について理解を深め、世界の人々と協調しながら生きていく態度を身に付けることを目指し、国際理解教育を推進します。 また、国際社会において、相手の立場を尊重しつつ、自分の考えや意思を表現できる基礎的な力を育てるために、小・中学校において外国語によるコミュニケーション能力の育成を図ります。

主な取組【担当課】		取組実績
1	実用英語技能検定の受検機会の確保【指導課】	中学校第3学年を対象として、各中学校で実用英語技能検定を実施した。事後に生徒を対象としたアンケートを行い、課題や今後の方向性を明確にした。
2	英語村を活用した実践的活動の充実【指導課】	小学校第6学年及び中学校第2学年を対象として、英語村(TGG)の施設を活用した体験活動を実施した。また、実施後、児童・生徒対象のアンケートを行い、成果と課題を分析した。
3	中学生海外交流事業の実施【教育総務課、指導課】	西オーストラリア州パースにあるパース・モダン・スクールの18名の生徒を福島中で受け入れ、学校生活、ホームステイ、交流イベントを通して、国際理解の促進につなげた。
4	平和教育の充実【指導課】	社会科において、社会の平和の在り方を考えることで、世界各国を知る機会を設けた。2学期に「原爆と人間展」を市内中学校に巡回し、生徒が閲覧できるようにパネルを展示した。広島市長の平和宣言についても、日本語版と英語版を全生徒に配布した。

自己評価		評価理由
A	A… 施策の方向性以上の成果がでている	英語村の活用により、英語によるコミュニケーションへの意欲の向上を図ることができたため。また、実用英語技能検定を通して、英語学習に対する意欲を高めることができたため。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
	E… 施策の成果を全く得られなかった	
主な課題		
英語村、実用英語技能検定や体験活動等実施後の児童・生徒の学習意欲を、持続させ学習に結び付けるために、各学校が授業改善等により工夫した取組を行う必要がある。		
今後の取組の方向性		
英語村での体験活動や実用英語技能検定を、継続して実施する。中学生海外交流事業は、令和7年度はオンライン交流を実施し、今後の事業の在り方について検討する。 また、平和教育については、教科等の学習を中心に、「原爆と人間展」の実施や外部講師を招いた講演等を今後も活用し推進する。		

(参考資料)

▼公費負担により実用英語技能検定を受験した人数

級	1級	準1級	2級	準2級	3級	4級	5級	合計
令和6年度	2	3	32	123	387	154	134	835
令和5年度		4	33	134	432	140	92	835
令和4年度		3	37	120	364	142	107	773

▼ 立川英語村における体験活動の様子



▼ 中学生海外交流事業交流の様子

中学生海外交流事業を実施しました

国際理解教育を図ることを目的として、平成22年度からオーストラリア西オーストラリア州パースの「パース・モダン・スクール」と交流関係を結び、相互に学生を派遣する事業を行ってきました。新型コロナウイルス感染症の影響でしばらくこの事業を実施できずにおりましたが、今年度、受入事業のみ実施することとなり、9月20日（金）から9月26日（木）までの日程で、パース・モダン・スクール生徒18名が福島中学校で学校生活を送り、生徒宅にホームステイをしました。

留学生は、通常授業への参加のほか特別授業として書道・茶道・華道などの日本文化を学んだり、放課後は部活動の体験も行ったりと充実した学校生活を送りました。

9月21日（土）は、アキシマエンスにおいて交流イベントを開催しました。留学生とホストスチューデントが和太鼓の演奏や浴衣の着付け体験、郷土資料室で昭島の歴史などを学ぶなど、一緒に楽しい時間を過ごしました。

一週間と限られた期間でしたが、互いに他文化との交流に刺激を受け、国際理解の促進につながる貴重な経験となりました。



基本施策4-9	担当課	指導課、各課
キャリア教育の推進		

施策の方向性 社会環境がめまぐるしく変化する中で、子どもたちが希望をもって自立的に自分の未来を切り拓いていくためには、社会の変化に対応していく力や態度、望ましい勤労観・職業観を育てていくことが重要です。 各学校では、「キャリア教育 全体計画」に基づき、計画的にキャリア教育を推進し、子どもたちが将来への夢をもてるようにするとともに、望ましい勤労観・職業観を育成します。 中学校では職場体験を引き続き実施し、子どもに働くことの意義について理解を深めさせます。
--

主な取組【担当課】		取組実績
1	職場体験の充実【指導課】	中学校全校が多様な事業所を確保し、3日間の職場体験を実施した。
2	キャリア・パスポートの活用【指導課】	各小・中学校において、学年初めや学期末、学校行事後に、学習や生活の見通しを立て、学んだことを振り返ることで、新たな学習や生活への意欲につなげるために、キャリア・パスポートを活用した。また、小学校から中学校、中学校から高等学校へ引継ぎを行った。

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている	職場体験の中学校全校実施や職業講話の実施により、勤労観・職業観を育成することができたため。また、キャリア・パスポートの小中の連携した活用により、学習や生活への意欲を持続させることができたため。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
	E… 施策の成果を全く得られなかった	
主な課題		
職場体験の受入事業所については、各学校が開拓を行っており、学校規模により必要な受入事業所数が異なる。そのため、全ての生徒が希望する事業所で体験できるよう、引き続き確保・拡大を行っていく必要がある。		
今後の取組の方向性		
地元の企業や市役所の各課に働きかけたり、学校運営協議会委員の協力を得ることで、事業所の確保・拡大を行う。また、進路指導主任会等で情報交換を行い、各学校からの情報を元に事業所の拡大を行う。		

(参考資料)



▲職場体験の様子(瑞雲中)

6学年 学年始め

今の自分

名前

☆今の自分を書いてみよう！

将来の夢	☆こんな6年生になりたい！	
自分の長所	こんな自分になりたい	そのためにやること
好きなこと	学習	
苦手なこと	生活	
	委員会、クラブ活動、係	
	習い事、地域の活動	

◀▼キャリア・パスポート

基本施策4 輝く未来に向かって

自己評価のまとめと外部評価員の評価と意見

教育委員会の自己評価 まとめ		自己評価	該当頁
1 幼・保・小・中が連携した教育の充実		A	38,39
2 日本の伝統・文化に関する教育の充実		B	40
3 学校、家庭、地域・社会との連携・協働		B	41
4 学校の教育力の向上		B	42,43
5 教育環境の整備		B	44,45
6 情報教育の推進		A	46,47
7 環境教育の推進		B	48
8 国際理解教育の推進		A	49,50
9 キャリア教育の推進		B	51
政策指標			
自分には、よいところがあると思うと回答した 児童・生徒の割合（全国学力・学習状況調査）		令和3年度	令和5年度
		令和6年度	令和8年度 目標値
小学校		75.3%	84.1%
中学校		79.2%	82.5%
		83.4%	80.0%

外部評価員の評価と意見		外部評価員	工藤 文三
外部評価員の評価			
4	5 … 施策は順調に推進され、ねらい以上の成果がでている。		
	4 … 施策は順調に推進されている。		
	3 … 一部課題があり工夫が必要だが、施策は概ね順調に推進されている。		
	2 … 施策を推進させるのに困難な課題がある。		
	1 … 施策の推進に全く至っていない。		
外部評価員の意見			
基本施策4-1 学校間連携の取組の基本は、幼児・児童・生徒の相互交流、学校種を越えた教員による幼児・児童・生徒理解、教育内容・方法等の理解にあると考える。また、円滑な接続を促すカリキュラムと学習指導の工夫、連携を促す組織体制も重要である。この点で、連携教育に向けた取組が着実に実施されており、引き続き更なる取組の充実を期待したい。 基本施策4-3 ここであげる取組は、基本施策1の「確かな学力の定着」を支える取組の一つであり、引き続き取組の充実を期待したい。 基本施策4-4 学校経営については、目標-計画-実施-評価-改善のサイクルが確立しており、また、授業力等の向上を目指す教員研修も計画的に実施されている。地域資源の活用や地域と連携した学校の教育力の向上については、その具体的な方策についてさらに深めていくことを期待したい。 基本施策4-6 授業におけるICTの活用については、授業改善に欠かせない契機として位置づけ、教科等の特性や学年段階、指導内容等に応じた効果的な活用方法が共有されていくことを期待したい。 基本施策4-8 外国の言語に関する教育の機会の提供や体験活動、海外交流事業等の取組が着実に実施されている。各学校の教育課程の編成・実施とも連動させながら、継続した取組を期待したい。			

生涯学習の推進

基本施策Ⅰ 文化芸術活動の促進

施策の方向性

文化芸術は、人々に感動や喜び、精神的安らぎをもたらし、創造性を育むとともに、心豊かな潤いのある生活や、豊かで個性ある地域社会の形成に寄与するものです。それゆえ文化芸術に対する市民の関心と理解を深める必要があります。

そこで、誰もが芸術作品を身近に鑑賞できる機会の充実を図り、文化芸術に係る市民の自主的な活動への支援を行うとともに、文化活動の成果を発表する機会の提供に努めます。

また、昭島市文化芸術推進基本計画に基づき、観光、まちづくり、国際交流、教育、産業、福祉など幅広い分野との連携を図りながら、文化芸術を通して多様な交流を推進します。

基本施策ⅠーⅠ

担当課

市民会館・公民館

文化芸術活動への支援

主な取組【担当課】		取組実績
Ⅰ	市民文化祭の実施 【市民会館・公民館】	10月5日から11月3日にかけ演奏、演芸、展示など27部門に分かれ実施した。延べ来場者数：11,124人。

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている	来場者、参加団体とも前年度より増加している。また市制施行70周年事業の一つとして行い、文化祭を盛り上げた。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
	E… 施策の成果を全く得られなかった	

主な課題

(ア) 来場者について

令和6年度は市民文化祭のチラシを市内に全戸配布し、事業のPRに務めた。今後も集客を増やし、市民が行う文化芸術活動に関心と理解を深めるためにも、様々に工夫をこらした取組を行いたい。

(イ) 参加団体数について

参加団体のメンバーが高齢化し、出展・出場者がコロナ禍以前の水準まで達していない。参加団体が継続して参加しやすい配慮を含め、新たな参加団体をどのように取り込んでいくか検討する必要がある。

今後の取組の方向性

(ア) 来場者について

広報あきしま、公民館だより、X(旧ツイッター)、ホームページ等によりPRをしているが、チラシの全戸配布を継続することで、来場者の更なる増加を図る。

(イ) 参加団体数について

公民館の他に市内の他施設で活動している団体にも積極的に参加を促すとともに、SNSなども利用して参加団体の増加を図る。

(参考資料)



◀@akishima_komin

(昭島市民会館・公民館公式X(旧ツイッター)アカウント)

70 昭島市 市制施行 70周年 ANNIVERSARY AKISHIMA

令和6年度 昭島市民文化祭

開催期間
10月5日(土)～11月3日(祝)

●休館日
 10月8日、15日、22日、29日

会 場
FOSTERホール(昭島市民会館)
昭島市公民館

開 会 式
10月5日(土) 午後1時から
FOSTERホール(昭島市民会館)

	10月								11月		
	5日(土)	6日(日)	12日(土)	13日(日)	19日(土)	20日(日)	26日(土)	27日(日)	1日(金)	2日(土)	3日(祝)
FOSTERホール	歌謡祭			芸能祭	民謡のつどい	フラダンス ティパル	邦楽の しらべ	音楽祭		合唱祭	ショー タイム
小ホール	将棋大会	囲碁大会		器楽祭		朗読の つどい	平和展	人形劇 の集い			落語
展示室 会議室		人形劇 の集い	← 手工芸展 →		← 俳句展 →		← 平和展 →		← 美術展 →		
					← 科学展 →		← 山野草展 →		← 写真展 →		
					← 陶芸展 →		← 盆栽展 →		← 書道展 →		
							← 絵歌展 →				
							← 草書展 →				
							茶会				

主催：昭島市・昭島市教育委員会 後 援：昭島市文化協会
 主管：昭島市民文化祭運営委員会 問合せ：☎042-544-1407 (昭島市公民館事業係)

▲昭島市民文化祭チラシ



▲昭島市民文化祭(手工芸展)



▲昭島市民文化祭(手工芸展)



▲昭島市民文化祭(芸能祭)



▲昭島市民文化祭(芸能祭)

基本施策1-2	担当課	市民会館・公民館
文化芸術に接する機会の充実		

主な取組【担当課】		取組実績
1	文化芸術に関する講座・講演会の実施 【市民会館・公民館】	市民が気軽に音楽に親しむ機会として、ふれあいコンサート実施した。 ①「AUTUMN CONCERT ～金管五重奏の調べ～」 参加者数:79人 ②「のぶのぶカルテット!わくわくコンサート♪ ～14時だよ全員集合～」 参加者数:121人
2	市民会館自主文化事業の充実 【市民会館・公民館】	音楽や劇などの文化事業を通じ、地域文化の向上と市民の交流を図るため、大ホール事業等13、小ホール事業1の計14事業を実施した。(延べ入場者数10,269人) ※下記参考資料参照

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている	ふれあいコンサートは毎年2回実施し、事業として浸透している。 自主文化事業においては、親子で楽しめるコンサートやクラシック、ミュージカル等幅広い分野で実施し、また市制施行70周年事業を実施したこともあり、入場者数は前年度より大幅に増加した。(事業数も前年度より増加。)
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
	E… 施策の成果を全く得られなかった	
主な課題		
(ア)文化芸術に関する講座・講演会の実施について 参加者の年齢層が高く、若年層が少ないため、若年層が来館しやすい周知を図る等PR方法の工夫が必要である。 (イ)市民会館自主文化事業の充実について 市制施行70周年事業等による入場者増があったものの、事業によっては入場者数が当初の想定をかなり下回る事業も散見されたため、実施事業の分析を行い、今後も市民のニーズにあった事業を計画・実施していくことが必要である。		
今後の取組の方向性		
(ア)文化芸術に関する講座・講演会の実施について ふれあいコンサートは、定員を150名に設定したが、申込みが数日で定員に達することもあり、関心の高さがうかがえる。今後も気軽に音楽に触れ合う機会の提供を行う。また市内で活動している音楽団体等の発表の場として交流ロビーを会場にした申込不要の公民館ロビーコンサートを行った。おおむね好評だったため継続していく。 (イ)市民会館自主文化事業の充実について 令和7年度は大ホールの改修工事による休館を計画しているため、実施事業数の減少と共に入場者数の減少が見込まれるが、市民が必要としている事業を模索し、より良い事業を企画・実施していく。		

▼市民会館自主文化事業(延べ入場者数10,269人)

…市制施行70周年記念事業

▼子ども国際交流音楽祭「昭島交流コンサート」

2024年度 多摩・島しょ広域連携活動助成事業・子ども体験塾
市制施行70周年記念事業

子ども国際交流音楽祭 昭島交流コンサート

**ウィーンの音楽家による演奏と
昭島市の児童・生徒を中心に編成された合唱による交流演奏**

入場無料
(当日は直接会場へ)



ヴァイオリン オーストリア国立音楽院 音楽家 パヴェル・クジミエフ	ヴァイオリン ロシア・モスクワ国立音楽院 ソリスト シウラ・アプシュタイン	フルート ウィーン国立音楽院 音楽家 マティアス・シェルフ	クラリネット ウィーン国立音楽院 ソリスト クリスタフ・フィムバー	ヴィオラ ウィーン国立音楽院 ウィーンフィルハーモニー管弦楽団 グンター・グレンツェル	チェロ ウィーン国立音楽院 ウィーンフィルハーモニー管弦楽団 ヴォルフガング・ヘルツル
--	--	--	--	--	--



司会者 関部 武彦 (指揮・奏者・演出責任者)

現職の指揮、国内の音楽大学専攻科卒業後、ウィーン国立音楽大学専攻科を修了として帰国。ウィーン音楽家の指導でメンテン・バリエーション、前奏曲集等の独奏の機会、ヨーロッパ各地で演奏される。2008年12月に札幌、徳島県立ベトナム文化センターで大規模なコンサート、ウィーン、アジア各国にて定期的に招待される機会に、同コンクールで最高演奏賞。

多くの音楽家を結成し、近年は海外の移動劇、世界音楽祭等での客演アーティストの他、ウィーン国立音楽院、ウィーン国立音楽院、及びウィーン・フィルハーモニー管弦楽団とのコンサートを行っている。

これらウィーン訪問期間中文化振興委員長、ウィーン国際文化協会第一副会長（ウィーン）、やまなし大使、2022年にはオーストリア国駐日名誉総領事官就任を依頼、務め大使館特命幹事、山梨県に大学教員として勤務。

令和7年 **2月8日(土)** 午後2:00開演
(午後1:30開演)
FOSTERホール (昭島市民会館)

(お問合せ) FOSTERホール (昭島市民会館) 042-546-1711 (火曜定休日)
〒196-2027 東京都昭島市つじが丘3-2-1 JAF青森県昭島事務所より徒歩5分
(本) 子ども国際交流音楽祭実行委員会、昭島市民文化芸術振興会・昭島市
(後) オーストリア大使館・オーストリア文化庁東京支店



FOSTERホール

基本施策1ー3	担当課	企画政策課、社会教育課、アキシマエシス管理課、市民会館・公民館
多様な主体と連携した文化芸術活動の促進		

主な取組【担当課】		取組実績
1	文化芸術を通じた多様な交流の推進 【企画政策課、社会教育課、アキシマエシス管理課、市民会館・公民館、各課】	行政・企業・芸術家の協力により設置した「昭島・昭和の森 武藤順九彫刻園」について、引き続き運営支援を行うことにより、文化芸術を中心とした地域の活性化に努めた。 市民文化の啓発や、芸術祭の開催などを実施している昭島市文化協会に対し、補助金を交付した。 地域で暮らす外国の方から自国の文化や料理を学び交流を図る事業として「ワクワクドキドキ異文化の扉をあけよう!!」を実施した。様々な国の文化を体験したり、一緒に料理作りを行い、交流を図った。
2	文化芸術活動団体への支援 【企画政策課、市民会館・公民館】	昭和の森芸術文化振興会との共催で、第17回あきしま市内芸術家公募展及び芸術家の卵展を開催した。(来場者数等は参考資料のとおり) 文化芸術活動を行っている公民館登録団体に対し、公民館使用料(会議室及び付属設備)を免除することによって団体がより積極的に活動できるよう支援した。

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている	彫刻園や芸術家公募展・芸術家の卵展により、企業や芸術家等との連携した文化芸術活動の促進という成果を得ることができた。 文化芸術活動団体に対して会議室や付属設備を免除することによって、利用者からは一定の評価をいただいている。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
	E… 施策の成果を全く得られなかった	
主な課題		
講座の運営に際しては、外国の方も関わって実施している。市内で暮らす外国の方に向けて講座を周知するため就労先やサロンなどを訪問して呼びかけを行うことで、参加者は増加した。外国の方の参加をさらに促進するため、より参加しやすくなるよう工夫や検討を行う必要がある。		
今後の取組の方向性		
(ア) 多様な交流の推進について 引き続き、彫刻園の運営支援や芸術家公募展・芸術家の卵展の共催を行い、より多くの人に芸術作品を身近に鑑賞できる機会の充実を図るとともに、多様な主体と連携した文化芸術活動の促進に努める。		
(イ) 多文化交流講座について 今後も、講座の企画から運営まで様々な市民の方にも加わっていただき、多様な国の文化や芸術に触れ、交流を深めることができる機会として継続する。また実施にあたっては外国の方が集まるサークルなどに伺って直接チラシを配るなどして周知を図る。		

(参考資料)

「昭島・昭和の森 武藤順九彫刻園」パンフレット ▶

令和6年度来場者数: 12,797人

<https://www.june9-showa-no-mori-akishima.jp/>



▼ワクワク ドキドキ 異文化の扉をあけよう!!

No.	事業名	開催日時	参加者数	場所
1	ミャンマー料理(ラッパトゥ)と文化の紹介	2月22日	24	公民館実習室
2	ベトナム料理(フォーボー)と文化の紹介	3月1日	23	公民館実習室
3	茶中世界~日本と中国の茶文化を旅する2時間~	3月8日	20	市立武蔵野会館
4	クイズで交流&ワークショップ	3月15日	19	市立武蔵野会館

▼文化芸術活動団体への支援

事業名	展示数	開催日時	来場者数	場所
芸術家公募展	37作品	2月17日~2月21日	1,079	市民ロビー
		2月22日~2月28日	5,266	モリタウン
芸術家の卵展	小学生81作品 中学生184作品	3月1日~3月7日	5,040	モリタウン

▼「ワクワク ドキドキ 異文化の扉をあけよう!!」チラシ

あきしま市公民館主催 令和6年度地域課題調査

ワクワク ドキドキ 異文化の扉をあけよう!!

Feel the excitement! Step into the world of diverse cultures!!

外国人と共に暮らせる地域を目指し、地域で生活している外国人の方と料理などをしながら異文化を学びます。

2月22日(土)

ミャンマー料理と文化の紹介
ミャンマー料理ラッパトゥ(葉の巻のサラダ)を作ります。

時間: 午後5時~8時
会場: 昭島市立公民館 実習室
参加費: 200円
持ち物: エプロン、マスク
案内: かんざね(昭島市・パンダなど)
講師: 松原 テム・ニニさん

3月1日(土)

ベトナム料理と文化の紹介
ベトナム料理フォーボーを作ります。

時間: 午後5時~8時
会場: 昭島市立公民館 実習室
参加費: 200円
持ち物: エプロン、マスク
案内: かんざね(昭島市・パンダなど)
講師: ドー ハーさん、スズキ カンさん、グエン ハイさん

3月8日(土)

茶中世界~日本と中国の茶文化を旅する2時間~は異文化チャレンジ! 漢字でパズル

時間: 午後5時~8時
会場: 昭島市立公民館 第2・3集客室
参加費: 200円
講師: 金澤 敦子

3月15日(土)

クイズで交流&ワークショップ
知って得る異文化。異文化を学ぶクイズワークショップ

時間: 午後5時~8時
会場: 昭島市立公民館 第2・3集客室
参加費: 200円
講師: 金澤 敦子

対象: 市内在住、在勤、在学の方(外国人の方にも参加できます)※申込は基本的に全員の参加となります。
※市立武蔵野会館は駐車スペースが少ないためお車での来場はお控え下さい。
定員: 25人(多人数募集)
申込み: 令和7年1月8日(水) 午前9時~1月29日(水) までに公民館で受付
(☎042-544-1407/火曜日休館)

▼「芸術家公募展」「芸術家の卵展」チラシ

第17回 あきしま市内

芸術家公募展

昨年度 昭島市 市長賞 昨年度 昭島の森 芸術文化振興会 会長賞

令和7年
2/17月 ▶ 21金
会場: 昭島市市民1階ロビー
時間: 9:30~17:15

2/22土 ▶ 28金
会場: モリタウン 第1F
時間: 10:00~21:00 (最終日は20時まで)

市内の
小・中学生の
作品

芸術家の卵展

3月1日土~7日金
会場: モリタウン 第1F
時間: 10:00~21:00 (最終日は20時まで)

主催: 昭島市 / 昭島の森 芸術文化振興会
協賛: 昭島市文化芸術振興会、昭島の森 芸術文化振興会、昭島の森 芸術文化振興会、昭島の森 芸術文化振興会
協力: 昭島市文化芸術振興会、昭島の森 芸術文化振興会、昭島の森 芸術文化振興会、昭島の森 芸術文化振興会
お問い合わせ: 昭島の森 芸術文化振興会事務局 ☎042-546-1105
(〒350-0101 昭島市 昭島の森 昭島の森 昭島の森)
http://www.shima-no-mori-organization.jp
●昭島の森 芸術文化振興会HP
詳しくは ▶ 昭島の森 昭島の森 昭島の森

基本施策Ⅰ 文化芸術活動の促進

自己評価のまとめと外部評価員の評価と意見

教育委員会の自己評価 まとめ			自己評価	該当頁
1 文化芸術活動への支援			B	53,54
2 文化芸術に接する機会の充実			B	55,56
3 多様な主体と連携した文化芸術活動の促進			B	57,58
政策指標				
この1年間に、音楽・演劇・美術などを外出して鑑賞 したことがある市民の割合（昭島市 市民意識調査）	令和元年度	令和5年度	令和6年度	令和8年度 目標値
	52.7%	41.9%	実施なし	60.0%
市民文化祭の参加者数	12,625人	10,695人	11,124人	15,000人

外部評価員の評価と意見		外部評価員	倉持 伸江
外部評価員の評価			
4	5 … 施策は順調に推進され、ねらい以上の成果がでている。		
	4 … 施策は順調に推進されている。		
	3 … 一部課題があり工夫が必要だが、施策は概ね順調に推進されている。		
	2 … 施策を推進させるのに困難な課題がある。		
	1 … 施策の推進に全く至っていない。		
外部評価員の意見			
文化芸術に対する市民の関心と理解を深めるために、誰もが芸術作品を身近に鑑賞できる機会の充実を図ること、文化芸術に係る市民の自主的な活動への支援を行うこと、文化活動の成果を発表する機会を提供すること、昭島市文化芸術推進基本計画に基づき幅広い分野との連携を図りながら文化芸術を通して多様な交流を推進することが、本施策の方向性として示されています。 「基本施策Ⅰ－1文化芸術活動への支援」では、市民文化祭のチラシを全戸配布するなど事業のPRと集客の工夫が感じられる。一方で、参加する文化芸術団体数や出場者数が高齢化等の理由により、コロナ禍以前の水準まで達していないとの課題がある。長期にわたって活動を継続してきた団体への支援とともに、新しく立ち上がった団体への参加を働きかけることや、他の生涯学習事業と連携し団体設立そのものをバックアップするなど、幅広い取り組みが求められます。 「基本施策Ⅰ－2文化芸術に接する機会の充実」における「ふれあいコンサート」について、申し込みが数日で定員に達するなど市民ニーズに応じた機会の提供となっていますが、一方で申し込み数に対する当日の参加者数の割合がやや低いことが気になります。より多くの市民が文化芸術に接する機会を実現するために、さらなる工夫を期待します。 「基本施策Ⅰ－3多様な主体と連携した文化芸術活動の促進」では、企画や運営に市民や当事者が参加・参画し、連携・協働が積極的に図られたユニークな事業が展開されていることは、高く評価できます。今後ぜひ継続してください。			

基本施策2 文化財の保護・調査・活用

施策の方向性

地域の暮らしの中で守られ継承された文化財は、先人の知と技を伝え、個性あふれる地域文化を育み、昭島の歴史や文化の理解に必要不可欠なものです。また、「ふるさと昭島」づくりにとって重要な資産であるため、次世代に確実に継承していくことが求められます。

そこで、これらの文化遺産を後世に伝え、地域の文化遺産としての活用を図るため、その調査と研究に努め、関連する文化財の総合的な把握と長期的な視野に立った計画的な保護・保存と活用を図ります。

また、埋蔵文化財や古文書、民具等の収集を図り調査・整理・記録・保存に努め、適切な管理とデジタルアーカイブズ化を促進し、学校教育や社会教育などの場においても効果的な活用を図ります。

文化財ボランティアや郷土資料室での展示、デジタルアーカイブズ等を有効に活用し、地域の歴史や文化への理解を促進します。

基本施策2-1 担当課 アキシマエシス管理課

文化財の保護・保存・調査・研究の推進

主な取組【担当課】		取組実績
1	郷土資料室・郷土資料展示室の展示 【アキシマエシス管理課】	青梅鉄道130周年記念の写真展や、新市指定文化財「指田十次家文書」を取り上げた古文書の展示など4つのテーマの企画展を実施した。また、昭島の歴史や文化の理解が深まるICTを活用したコンテンツを上映した。
2	埋蔵文化財の発掘調査 【アキシマエシス管理課】	埋蔵文化財の散逸を防ぐため、宅地開発等に伴う遺跡範囲の立会調査を23件実施した。

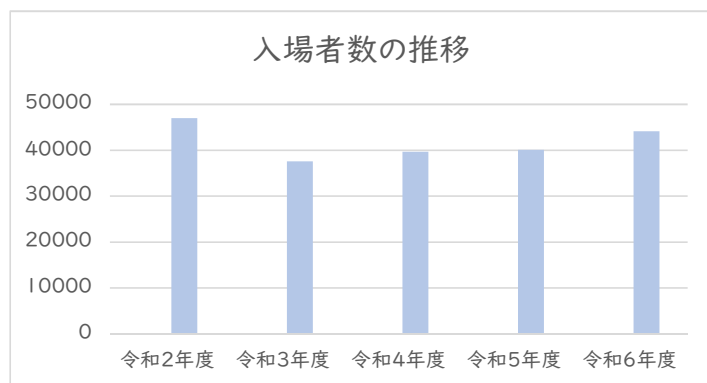
自己評価		評価理由
C	A… 施策の方向性以上の成果がでている	郷土資料室・郷土資料展示室の入場者数に課題はあるが、分野ごとに特化したテーマの企画展を開催し、ICTを活用したコンテンツを体験することで、昭島の歴史文化について知識を広げる場を提供できたため。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
	E… 施策の成果を全く得られなかった	
主な課題		
郷土資料室・郷土資料展示室への入場者数が依然目標値に届かない状況であるため、企画展の更なる充実に加え、市民向けに広く周知していく必要がある。		
今後の取組の方向性		
これまで収集してきた貴重な歴史資料や民具、民俗祭礼等を現在のみならず次世代にも正しく継承していくため、郷土資料室・郷土資料展示室において、様々な分野の魅力ある企画展を継続して実施する。 また、埋蔵文化財発掘調査等で出土した遺物や、寄贈を受けた民具など多種多様な文化財を、施設見学者が見て、直接触れられるようにするなど、文化財をより身近なものにし、市の郷土文化に対する市民の愛着や理解を深めていく。 更に、貴重な文化財を保存し、次世代に確実に継承していくための方策として、登録文化財制度の創設を検討する。		

(参考資料)

1 郷土資料室・郷土資料展示室の展示

▼郷土資料室・郷土資料展示室入場者数

年度	入場者数
令和2年度	47,028
令和3年度	37,619
令和4年度	39,675
令和5年度	40,103
令和6年度	44,150
令和8年度目標値	50,000



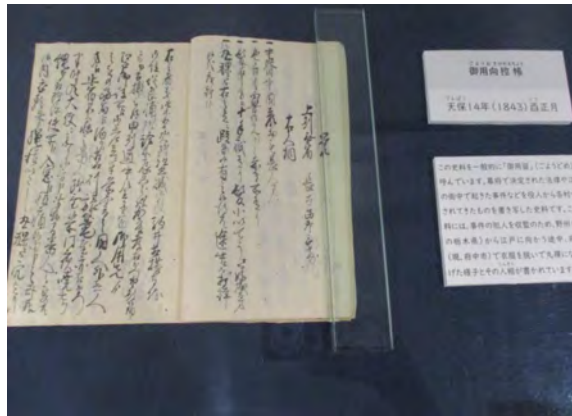
▼郷土資料室企画展

事業名	展示期間	入場者数
アキシマクジラのお弁当!?ペントス化石展	4月2日～6月30日	7,997
古文書にみる旧上川原村の生活	7月2日～9月29日	13,062
写真展 青梅線130年in昭島	10月1日～1月26日	14,562
上川原町日枝神社祭礼展示	2月4日～3月31日	7,025

▼くじらホールにおける化石レプリカ見学の様子



▼企画展「古文書にみる旧上川原村の生活」



▼企画展「写真展 青梅線130年in昭島」



▼企画展「上川原町日枝神社祭礼展示」



2 埋蔵文化財の発掘調査の様子



基本施策2-2	担当課	アキシマエシス管理課
文化財の活用と継承の支援		

主な取組【担当課】		取組実績
1	市史・文化財資料図書の発刊・頒布 【アキシマエシス管理課】	昭島近代史調査報告書の12冊目、「昭島 多摩川渡し物語」を刊行した。多摩川に橋が架かっていなかった時代に、舟などで昭島と八王子を結んだ4つの「渡し」の歴史を史料や写真で分かりやすく解説した。
2	デジタルアーカイブズの充実 【アキシマエシス管理課】	デジタルアーカイブズの新たなコンテンツとして、小学生向け学習ページの「子どものページ」、民具や土器、化石などの郷土資料を分かりやすくまとめた「デジタルライブラリ」を作成し、公開した。

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている	昭島近代史調査報告書の発刊やデジタルアーカイブズの新コンテンツの公開等を通じて、文化財保護の啓発・理解の促進に努めることができたため。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
	E… 施策の成果を全く得られなかった	
主な課題		
昭島近代史調査報告書の発刊継続及びデジタルアーカイブズの新コンテンツ提供を通して昭島の歴史や文化財に親しむ機会を提供することで、文化財保護に対する啓発を広く市民に周知し、継続的に推進していくことが重要である。		
今後の取組の方向性		
文化財等をより身近なものに感じることができるよう、昭島近代史調査報告書の刊行を継続する。 また、貴重な文化財資料のデジタルアーカイブズ化も継続していくことで、郷土資料における魅力あるコンテンツを市民に提供し、地域の歴史や文化財への理解を促進し、次世代に継承していく。		

(参考資料)



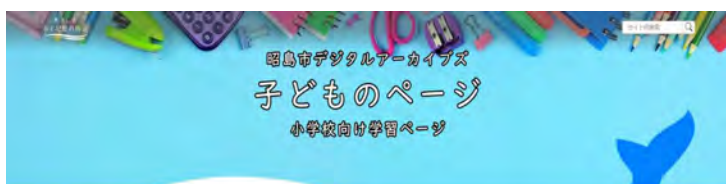
◀ 1 市史・文化財資料図書の発刊・頒布

昭島近代史調査報告書XII「昭島 多摩川渡し物語」

発刊数:700部

頒布数:358部

料金:600円



◀▲ 2 デジタルアーカイブズの充実

「子どものページ」「デジタルライブラリ」イメージ画像

基本施策2 文化財の保護・調査・活用

自己評価のまとめと外部評価員の評価と意見

教育委員会の自己評価 まとめ		自己評価	該当頁
1 文化財の保護・保存・調査・研究の推進		C	60,61
2 文化財の活用と継承の支援		B	62
政策指標			
郷土資料室・郷土資料展示室の入場者数	令和2年度	令和5年度	令和6年度
	令和8年度 目標値		
	47,028人	40,103人	44,150人
			50,000人

外部評価員の評価と意見		外部評価員	倉持 伸江
外部評価員の評価			
4	5 … 施策は順調に推進され、ねらい以上の成果がでている。		
	4 … 施策は順調に推進されている。		
	3 … 一部課題があり工夫が必要だが、施策は概ね順調に推進されている。		
	2 … 施策を推進させるのに困難な課題がある。		
	1 … 施策の推進に全く至っていない。		
外部評価員の意見			
地域の暮らしの中で守られ継承されてきた文化財を次世代に確実に継承するため、文化遺産を調査・研究し計画的な保護・保存と活用を図ること、教育の場で効果的な活用を図ること、地域の歴史や文化への理解を促進することが、本施策の方向性として示されています。 「基本施策2-1文化財の保護・保存・調査・研究の推進」では、郷土資料室・郷土資料展示室の入場者数が目標値には届いていないものの、開館年度を除き着実に増加してきており、企画展の工夫など、取り組みの成果を一定程度認めることができます。今後も市民の関心を引き出す魅力的な展示に努めてほしいと思います。 「基本施策2-2文化財の活用と継承の支援」では、市史・文化財資料図書の発刊やデジタルアーカイブズの充実など、昭島の歴史と文化財への理解を促す取り組みが充実していました。			

基本施策3 スポーツ・レクリエーションの振興

施策の方向性

スポーツやレクリエーションに親しむことは、体力の向上や精神的なストレスの発散、生活習慣病の予防など、心身の両面にわたる健康の保持増進につながります。生活が便利になり体を動かす機会が減少した現代社会においては、極めて大きな意義があり特に高齢者においては、外出機会が増えるとともに、仲間づくりなどの一助にもなっています。昨今では、健康志向の高まりにより、生涯にわたるスポーツに親しみ、個々のライフステージに応じたスポーツの楽しみ方が求められ、スポーツ・レクリエーションの種目も多様化しています。

こうした中で、市民が健やかでより豊かな生活を実現するため、「いつでも どこでも いつまでも」スポーツ・レクリエーションを親しむ地域スポーツ社会と市民の多様なニーズに応じた活動・普及促進に努め、その環境整備に取り組みます。また、東京2020オリンピック・パラリンピック大会のレガシーとしてスポーツ習慣の定着に取り組みます。

基本施策3-1

担当課

スポーツ振興課

スポーツ・レクリエーション活動の普及・促進

主な取組【担当課】		取組実績
1	スポーツ推進計画の推進 【スポーツ振興課】	スポーツ推進計画に掲げる数値目標達成に向け、様々なスポーツ・レクリエーション活動を開催した。
2	スポーツ推進委員によるスポーツの推進 【スポーツ振興課】	第142回、第143回市民健康づくり歩け歩け運動、ボッチャ昭島カップ開催に向けたボッチャ体験会、インクルーシブスポーツの体験会としてモルック体験会を開催した。

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている	施設の改修工事により開催回数が増加したが、参加人数としては昨年度より増加しており、施策の効果が得られていると評価できるため。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
	E… 施策の成果を全く得られなかった	
主な課題		
参加人数は昨年度より増加しており、継続して事業を実施する。昨年同様屋外での事業については天候等の影響を受け実施回数が減少しているがこちらについても継続実施を予定している。		
今後の取組の方向性		
屋外のイベントは天候の影響を受け実施が出来なくなることもあるが、今後についてもスポーツ推進委員等と協力しながら、スポーツ推進計画に掲げる数値目標達成に向け事業を展開していく。障害の有無に関わらず誰でも参加することのできるボッチャやモルックなどインクルーシブスポーツの更なる普及に向け事業を展開していく。		

(参考資料)

▼主な取組1、2 参加人数等

事業名	開催数	参加人数	チーム数
スポーツ教室	42教室	11,169人	-
市民健康づくり歩け歩け運動	2回	77人	-
ボッチャ体験会	3回	56人	-
ボッチャ昭島カップ	1回	52人	16チーム
モルック体験会	1回	22人	-

▼ボッチャ昭島カップの様子



基本施策3-2	担当課	スポーツ振興課
スポーツ・レクリエーション環境の整備		

主な取組【担当課】		取組実績
I	運動施設の整備 【スポーツ振興課】	総合スポーツセンターA棟屋上防水改修工事、みほり体育館空調機設置工事（令和5年度から継続）、市民球場内壁等修繕を実施し利用者の利便性向上に寄与し、スポーツ・レクリエーション環境の整備に務めた。

自己評価		評価理由
A	A… 施策の方向性以上の成果がでている	要望の多かったみほり体育館への空調機器設置を実施できた。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
	E… 施策の成果を全く得られなかった	
主な課題		
施設の老朽化が進行しているが、老朽化以外にも夏季期間における熱中症対策としての空調機設置や屋外運動施設の利用時間の延長なども検討していく必要がある。		
今後の取組の方向性		
公共施設等総合管理計画に基づき、施設の長寿命化に向けた事業を実施していくとともに、計画に掲載されていない運動施設の整備等についても検討していく。		

（参考資料）

▼令和7年度実施予定の主な施設整備等事業

施設名	整備内容
総合スポーツセンター	A棟外壁改修工事
総合スポーツセンター	空調機設置工事
市民球場	夜間照明LED化

▼市民球場内壁等修繕



基本施策3-3	担当課	スポーツ振興課
人材の育成・地域交流の促進		

主な取組【担当課】		取組実績
1	市民体育大会の実施 【スポーツ振興課】	第71回昭島市民体育大会を実施。
2	新春駅伝競走大会の実施 【スポーツ振興課】	もくせいの杜周回コースにて、第70回新春駅伝競走大会を開催。

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている	新春駅伝競走大会においては市外チームの参加を再開し、市民体育大会の自治会ブロック別大会についても再開をしたため。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
	E… 施策の成果を全く得られなかった	
主な課題		
(ア) 市民体育大会 自治会ブロック別大会は開催のための役員の担い手がいない等を原因とし開催を見送るブロックもあった。 (イ) 新春駅伝競走大会 残堀川調節池での実施も定着しつつあると考えられるが、周知方法等についても検討し参加者増を目指す。		
今後の取組の方向性		
(ア) 市民体育大会 ブロック別大会は昨年から引き続きブロックによっては、実施困難な場合があることから開催方法も含めての検討も必要であると考えられる。 (イ) 新春駅伝競走大会 現在のコースではコースの延伸等が難しく、周辺商業施設も賑わっていることから時間延長も困難であるが、新規のチームが参加をしたくなるような取組等についても検討する。		

(参考資料)

▼第71回昭島市民体育大会【種目別大会】競技種目、参加人数

種目名	参加人数	種目名	参加人数
陸上競技大会	130	ソフトボール大会	210
軟式野球大会	1,060	テニス大会	86
卓球大会	216	インディアカ大会	99
ソフトテニス大会	145	ダンススポーツの集い	61
弓道大会	69	ビーチボール大会	139
パレーボール大会	160	ゴルフ大会	208
バスケットボール大会	383	グラウンド・ゴルフ大会	0
剣道大会	205	ターゲット・バードゴルフ大会	29
空手道大会	94	武術太極拳大会	76
クレー射撃大会	16	水泳大会	74
バドミントン大会	284	YOSOAKOI大会	133
サッカー大会	1,114	フットベースボール大会	340
		計	5,331

▼第71回昭島市民体育大会【ブロック別大会】競技種目、参加人数

ブロック名	会場	参加人数	ブロック名	会場	参加人数
1	共成小学校	650	10	拝島第一小学校	505
2	共成小学校	313	11	拝島第三小学校	285
3	東小学校	146	12・13・18	拝島第二小学校	475
4・21	富士見丘小学校	422	14	開催なし	—
5・6	中止	—	15	武蔵野小学校	171
7	成隣小学校	133	16	田中小学校	100
8・9	光華小学校	490	17・19・20	つつじが丘小学校	600
				計	4,290

▼第70回新春駅伝競走大会 部門、参加チーム数、参加人数

部門名	参加チーム数	(内オープン参加数)
地域の部	69	1
地域女子の部	8	—
壮年の部	11	1
一般の部	34	4
中学生男子の部	26	3
中学生女子の部	20	5

▼第70回新春駅伝競走大会の様子



基本施策3 スポーツ・レクリエーションの振興

自己評価のまとめと外部評価員の評価と意見

教育委員会の自己評価 まとめ		自己評価	該当頁
1 スポーツ・レクリエーション活動の普及・促進		B	64
2 スポーツ・レクリエーション環境の整備		A	65
3 人材の育成・地域交流の促進		B	66,67
政策指標			
週1回以上スポーツ・レクリエーションを行っている 市民の割合（スポーツ推進計画 アンケート調査）	令和3年度	令和5年度	令和6年度
	53.2%	55.0%	未実施
			令和8年度 目標値 60.0%

外部評価員の評価と意見		外部評価員	倉持 伸江
外部評価員の評価			
5	5 … 施策は順調に推進され、ねらい以上の成果がでている。 4 … 施策は順調に推進されている。 3 … 一部課題があり工夫が必要だが、施策は概ね順調に推進されている。 2 … 施策を推進させるのに困難な課題がある。 1 … 施策の推進に全く至っていない。		
外部評価員の意見			
市民が健やかでより豊かな生活を実現するため、「いつでも どこでも いつまでも」スポーツ・レクリエーションに親しむ地域スポーツ社会を実現すること、市民のニーズに応じた活動・普及促進と環境整備に取り組むこと、東京2020オリンピック・パラリンピック大会のレガシーとしてスポーツ習慣の定着に取り組むことが本施策の方向性として示されています。 「基本施策3-1スポーツ・レクリエーション活動の普及・促進」では、スポーツ教室や体験会など様々な機会を提供することができています。ただ、スポーツ推進計画に掲げる数値目標には達していないため、今後こうした活動に新規で参加する人を増やす取り組みを積極的に行うことが期待されます。また、施策の方向性に「個々のライフステージに応じた」とあるように、多様な世代の参加者のニーズに応える工夫も求められます。 「基本施策3-2スポーツ・レクリエーション環境の整備」では、市民の要望に応える施設整備が行われており、高く評価できます。 「基本施策3-3人材の育成・地域交流の促進」では、コロナ禍をきっかけに、市民体育大会の運営が難しくなっている地域が見受けられ、活発に行っている地域との間で差が生じてきています。生活状況やライフスタイルの変化などもある中で、今の時代に合った運営・支援の在り方を検討してください。			

基本施策4 図書館活動の充実

施策の方向性

昭島市民図書館基本方針・基本計画に基づき、学び成長を応援し、仕事や暮らしに役立つ、また、誰にでも利用しやすい図書館を目指し、地域や学校との連携を図りながら、図書館サービスの充実に努めます。

また、令和7(2025)年度に開設予定の(仮称)市民総合交流拠点施設内に図書館分館を設置し、東部地区における図書館機能の充実に努めます。

基本施策4-1 担当課 アキシマエシス管理課

多様な情報・資料の提供

主な取組【担当課】		取組実績
1	蔵書の充実 【アキシマエシス管理課】	・市民の身近な課題解決を支援したり、ブックスタートに適した図書を中心に蔵書の充実に努めた。 ・利用者のリクエストや社会ニーズを考慮した資料の整備に努めた。
2	電子書籍の充実 【アキシマエシス管理課】	・電子書籍所蔵数 16,293点 ・利用者数 5,347人 ・貸出数 10,923点

自己評価		評価理由
C	A… 施策の方向性以上の成果がでている	電子書籍の蔵書数や利用者数に課題があるものの、指定管理者からの提案を踏まえ、施策の方向性に沿った資料の収集を行うことができたため。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
	E… 施策の成果を全く得られなかった	
主な課題		
アキシマエシス開館以来、登録者も順調に増え、市民の登録率も都内の上位となっている中で、様々な情報要求に応え、課題解決に資することができるレファレンススキルのさらなる向上及び電子書籍も含めた蔵書の充実に課題と捉えている。		
今後の取組の方向性		
市民の様々な情報要求及び様々な言語に対応できるよう、電子書籍を含めた図書館資料の充実に努める。		

(参考資料)

▼主な取組1 蔵書冊数

令和5年度	令和6年度			
蔵書冊数	購入冊数	寄贈冊数	除籍冊数	蔵書冊数
444,262	15,446	104	7,186	452,626

▼主な取組1 リクエストサービス

リクエスト 件数	対応内容(件)		
	自館所蔵	購入	借用
154,057	146,275	1,720	6,062

▼主な取組1 レファレンス受付件数

受付 件数	内訳			
	窓口受付	電話照会	文書照会	簡易
11,526	129	13	2	11,382



▲書架の様子①



▲書架の様子②

▼昭島市民図書館電子書籍サービス

<https://web.d-library.jp/akishima/g0101/top/>

基本施策4-2	担当課	アキシマエシス管理課
図書館利用の促進		

主な取組【担当課】		取組実績
1	子ども読書活動推進計画の推進 【アキシマエシス管理課】	・公益財団法人図書館振興財団主催「図書館を使った調べる学習コンクール」の地域予選にあたる「図書館を使った調べる学習コンクール in アキシマ」を引き続き開催し、夏休み期間に子ども向け調べもの相談コーナーを開設する等参加を促す取組を実施した。 ・小学校1年生を対象に、市立小学校と連携し希望者に貸出券と貸出中の資料を印字できる「読書の記録」を交付・配布した。 ・「読書の記録」を市内在住・在学の中学生以下の利用者に配布した。 ・おはなし会やものがたりライブ等読書習慣の定着を促す事業を実施した。 ・子ども家庭支援系の依頼で育児講座の講師として、読み聞かせや絵本の紹介等を実施した。
2	学校図書館との連携 【アキシマエシス管理課】	・市立小中学校の児童・生徒に配布されたタブレット端末から、電子書籍サービス、蔵書検索、予約システムにアクセスできる機能を引き続き設定した。 ・小学校へ職員を派遣し、ブックトークを実施した。 ・小学校及び中学校の司書教諭等を対象とした司書教諭等研修会を実施した。 ・児童・生徒による図書館見学 941人
3	中学高校生の読書フォーラム 【アキシマエシス管理課】	・アキシマエシス体育館において、第1部 中学生によるビブリオバトル、第2部 実行委員によるプレゼンテーション、第3部 記念講演（講師：似鳥鶏氏）を実施した。 ・会場で市内の中学生が作成したPOP（宣伝と内容紹介が目的の札）を展示した。 ・市内の高校生で構成する実行委員会を立ち上げて実施した。 ・参加人数 68人

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている	図書館利用のきっかけとなるような様々な取組を企画、実施できたため。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
	E… 施策の成果を全く得られなかった	
主な課題		
<u>(ア) 子ども読書活動推進計画の推進について</u> 目標達成に向け、効果的な事業を実施する必要がある。		
<u>(イ) 学校図書館との連携について</u> 司書教諭等研修、ブックトーク等の学校訪問、団体貸出等の学校図書館支援を充実させる必要がある。		
今後の取組の方向性		
<u>(ア) 子ども読書活動推進計画の推進について</u> 計画に基づき様々な事業に取り組むとともに、調べる学習コンクールへの積極的な参加を促す取組を実施していく。		
<u>(イ) 学校図書館との連携について</u> 司書教諭等研修、ブックトーク等の学校訪問、団体貸出等の学校図書館支援を実施していく。		
<u>(ウ) 中学高校生の読書フォーラムについて</u> 実行委員会と連携し、引き続き実施していく。		

(参考資料)

▼図書館を使った調べる学習コンクールinアキシマの結果発表

小・中学校から377作品の応募があり、審査の結果、次の方が入賞しました。＜敬称略＞

◇市長賞

「おんだん化からサッカーをすくえ!」 林 令惟(※優良賞入選)

「虹のはじまり」 前田 梨佐(※奨励賞入選)

「知ればなっとく!!自治会の魅力～これでもあなたは入らない?～」 平澤 慧(※佳作入選)

◇教育長賞

小島 希美(※佳作入選)

吉本 優芽(※佳作入選)

栗原 恭悟(※佳作入選)

◇図書館長賞

徳吉 雛美

國廣 結彩

前島 柚希

◇優秀賞

小花和卯月 萩野 瑛心 石川 愛結

石川 実弥 木内 一道 田嶋 一樹

西岡 菜瑚 坂口 奏実

※印は全国コンクールに推薦され入選された方々です。



昭島市民図書館ホームページ(結果発表ページ) <https://www.library.akishima.tokyo.jp/event/?id=600>

▼読書の記録



▼中学高校生の読書フォーラム(左:ビブリオバトルの様子 右:似鳥鶏氏による記念講演)



基本施策4-3	担当課	アキシマエシス管理課
図書館を拠点とした活動の支援		

主な取組【担当課】		取組実績
1	図書館ボランティアとの協働 【アキシマエシス管理課】	・音訳ボランティア（有償）を募集し、音訳者講習会を実施した。 ・読み聞かせ等の活動を引き続き協働して実施した。
2	地域資料の保存 【アキシマエシス管理課】	地域への関心を高め、地域の良さを知ることを通して愛着を育むことができるよう、地域資料の収集・保存に努めた。

自己評価		評価理由
C	A… 施策の方向性以上の成果がでている	図書館ボランティアの活躍の場の広がりに課題があるものの、音訳ボランティアの募集を実施できたため。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
	E… 施策の成果を全く得られなかった	
主な課題		
図書館ボランティアの活動が、従前の排架や読み聞かせにとどまっていることから、今後は、書架案内や読書相談及びイベントへの参画などの新たな活動の場を広げることを課題と捉えている。		
今後の取組の方向性		
<u>(ア) 図書館ボランティアとの協働について</u> ・広くボランティアを募り、ボランティア講習会等を実施しスキルアップを図る。 ・図書館ボランティアと協働し、利用者教育を推進する。		
<u>(イ) 地域資料の保存について</u> 郷土の歴史・民俗や行政に関するもの等多様な資料を収集し、適切に保存及び提供する。		

（参考資料）

▼主な取組1 図書館ボランティア活動実績

排架		読み聞かせ	
登録数	実施延人数	登録数	実施延人数
10	240	23	184

▼主な取組2 地域資料の所蔵点数

令和5年度		令和6年度	
所蔵数	受入数	除籍数	所蔵数
56,054	531	26	56,559

▼音訳者講習会の様子



▼地域資料コーナー



基本施策4-4	担当課	アキシマエンス管理課
誰一人取り残さない環境の整備		

主な取組【担当課】		取組実績
1	多言語・多文化資料の充実 【アキシマエンス管理課】	・多言語・多文化資料の充実を図るため、英語、スペイン語、タガログ語、ドイツ語、ネパール語、ハングル、フランス語、ベトナム語、中国語で記された図書等を購入した。
2	移動図書館の実施 【アキシマエンス管理課】	・サービスステーション13か所及び東中神駅南口駅前ロータリーステーション（夜間）において、延べ291回実施した。

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている	様々な状況でサービスを利用できる よう環境整備を進めるための取組を 実施できたため。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
	E… 施策の成果を全く得られなかった	
主な課題		
現在、移動図書館の実施においては主に「もくせい2号」を使用している。車体の老朽化が進んでおりイベント開催時 等の使用が主となっている「もくせい1号」を活用できる方法を検討する必要がある。		
今後の取組の方向性		
移動図書館の運行により、図書館に来館することが困難な方にもサービスを提供し、利便性の向上を図る。		

（参考資料）



▲多文化コーナーの様子①



▲多文化コーナーの様子②



▲もくせい2号

基本施策4 図書館活動の充実

自己評価のまとめと外部評価員の評価と意見

教育委員会の自己評価 まとめ		自己評価	該当頁
1 多様な情報・資料の提供		C	69,70
2 図書館利用の促進		B	71,72
3 図書館を拠点とした活動の支援		C	73
4 誰一人取り残さない環境の整備		B	74
政策指標			
市民一人あたりの貸出冊数(年間)	令和2年度	令和5年度	令和6年度
	令和8年度 目標値		
	5.6冊	6.5冊	6.2冊
			8.0冊

外部評価員の評価と意見		外部評価員	倉持 伸江
外部評価員の評価			
3	5 … 施策は順調に推進され、ねらい以上の成果がでている。		
	4 … 施策は順調に推進されている。		
	3 … 一部課題があり工夫が必要だが、施策は概ね順調に推進されている。		
	2 … 施策を推進させるのに困難な課題がある。		
	1 … 施策の推進に全く至っていない。		
外部評価員の意見			
昭島市民図書館基本方針・基本計画に基づき、学び成長を応援すること、仕事や暮らしに役立つこと、誰にでも利用しやすいこと、地域や学校との連携を図ることなどを通して、図書館サービスの充実に努めることが本施策の方向性として示されています。 「基本施策4-1 多様な情報・資料の提供」では、電子書籍の蔵書数や利用者数に課題があるため自己評価がCとなっているが、市民の様々な要望に応じたサービスの提供について前向きに取り組んでいることがうかがえます。 「基本施策4-2 図書館利用の促進」について、子ども読書活動推進計画の推進、学校図書館との連携、中学高校生の読書フォーラムなど、子どもを対象とした図書館利用や読書の推進について、多角的かつ活発に行われています。 「基本施策4-3 図書館を拠点とした活動の支援」について、図書館ボランティアとの協働に課題があり残念ながら昨年度に引き続き自己評価がCでした。図書館ボランティア活動を魅力的なものとし、活躍の場を広げることは、図書館活動の充実に図るとともに、学習と活動の循環を促し、地域の生涯学習そのものを活性化するために重要なことです。現在の課題を分析し、さまざまな市民に積極的に呼びかけていってください。			

基本施策5 生涯を通じた学習活動の推進

施策の方向性

様々な対象や課題の講座を多様な方法で開催し、「だれもが、いつでも、どこでも」自由に学ぶことができる環境を整えるとともに、公共施設の多目的な活用を進め、多様な学習活動を支援します。

市民に分かりやすい生涯学習情報の提供に努めるとともに、生涯学習サポーターの養成などを促進し、地域で活動する人や団体とのつながりを広げ、市民それぞれのニーズに応じた生涯学習活動への参加を支援します。

また、学習の成果を個人の生活や地域の活動等に生かすことで、学びの意欲が向上されるよう、市民相互と地域のつながりを育てる生涯学習を推進します。

基本施策5-1

担当課

市民会館・公民館、社会教育課

学習機会の提供

主な取組【担当課】		取組実績
1	公民館事業の充実 【市民会館・公民館】	子育てセミナー、教育文化セミナー、社会文化セミナー、歴史文化セミナー、男女共同参画セミナー、シニア講座、自主市民講座、地域課題講座、デジタルデバインド講座等を実施した。
2	パソコン教室等の開催 【社会教育課、市民会館・公民館】	デジタルデバインド対策として、中高年のためのパソコン教室や、60歳以上の初心者を対象にしたスマホ講座等を複数回、市内全域で開催した。

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている	小学生や親子などの他、シニア世代まで対象にした講座や、デジタルデバインド対策等様々な課題の講座を実施することができた。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
	E… 施策の成果を全く得られなかった	
主な課題		
<u>(ア) 公民館事業の充実について</u> 公民館事業では幅広い年齢層の講座参加者を想定しているが、高齢層の参加が多く、働き盛り世代や若年層世代の参加者が少ない。		
<u>(イ) パソコン教室等の開催について</u> パソコン教室等の開催にあたり、参加者個々のレベルに応じた取組みが課題となっている。		
今後の取組の方向性		
<u>(ア) 公民館事業の充実について</u> 市民ニーズを的確に判断するための情報収集を行うことと、平日の来館が難しい世代や若年層も参加ができるようにICTを活用した講座や、子育て中の保護者向けに保育室を活用する事業を行い、利用者層の増加を図る。		
<u>(イ) パソコン教室等の開催について</u> パソコン教室等では、参加者の要望を鑑み内容を検討し、参加者に満足していただける教室にしていける。		

(参考資料)

【パソコン教室等の開催 参加者数】

事業名	内容	回数	人数
中高年のためのパソコン教室(全3回)	ワードの基本操作	1	5
ゼロから始めるスマホ教室(全2回)	基本操作、カメラ、LINEの使い方	11	82

【公民館事業の充実】

種別	事 業		時 期	回数	人数	会場	
障害のある青年の交流講座			年間	21	30	公民館ほか	
市民講座	家庭教育セミナー		子育てセミナー「コスパ・タイパ・育児!」(全8回)	4/18～6/13	1	8	公民館
			教育文化セミナー「ファミリーで楽しむお子さんの初めての音楽体験」	2/16、3/16	2	158	公民館
	男女共同参画セミナー		ジェンダーとキャリアの基礎知識～働く人々の未来を描こう～(全2回)	3/22、29	1	4	公民館
	社会文化セミナー		初めてのボイストレーニング～声を出して心身を健康にしよう～(全4回)	1/12～2/23	1	19	公民館
	歴史文化セミナー		土地々に根付いた歴史と文化～東海道編～(全4回)	9/4～25	1	30	公民館
	シニア講座		シニアのための脳を元気にする健康体操(全3回)	7/3～17	1	27	公民館
	デジタルデバйд対策講座		スマートフォン体験会ー基本操作から申請・決済までー(全4回)	11/6～12/4	1	19	公民館
	子ども対象事業	夏休みわくわく体験教室	生け花体験	7/25	1	22	公民館
			一年中家族で楽しめる★ライティング✳️立体フレームを創ろう!	7/27	1	14	公民館
			ストームグラスを知って学ぼう	7/28	1	28	公民館
			紙ねんどアイスを作ろう!	8/9、10	3	13	公民館
		コズミックカレッジ宇宙教室		7/31	1	29	公民館
		とうきょうこどもクリエイティブラボ「くりらばIN昭島」		12/8	1	22	公民館
		冬休み親子工作教室「スピーカー作り」		12/14	1	28	公民館
春休み親子教室「小学生新聞でニュースの読み方を学ぼう!」		3/23	1	16	公民館		
市民大学	第11期市民大学・2年次課程(全21回)		5/18～3/15	1	28	公民館ほか	
	市民大学フォーラム公開講座	昭島市市制施行70年の歩みとこれから(全4回)	11/13～12/11	1	38	公民館	
地域公民館事業	夏休み親子映画会		ドクター・ドリトル	7/20、8/1	2	154	公民館ほか
	地域課題講座		ワクワク ドキドキ 異文化の扉をあけよう!(全4回)	2/22～3/15	1	32	武蔵野会館ほか
	趣味教養講座		バードカービング「木彫りのカモを彫る」(全6回)	9/11～10/16	1	9	朝日会館
	時局講演会		ひとり社会のゆくえを考える～東京ミドル期シングルの衝撃とは～	11/2	1	20	玉川会館
自主企画事業	自主市民講座		薫りで読み解く歴史 香司の調査を学ぶ(全5回)	4/12～8/9	1	29	公民館
			昭島の植物を知ろう(全5回)	5/18～6/15	1	30	公民館
			子育て中のお母さんに楽しんで欲しい!7日間の息抜きワークショップ(全7回)	12/2～3/10	1	21	公民館
	講師派遣事業		日本の美術史における～明治維新～	6/19	1	29	公民館
利用者懇談事業	共催事業		公民館まつり・シニアグループ合同発表会	5/11・12	1	参加団体21	公民館
			公民館まつりパネルディスカッション「公民館の可能性～未来につなぐ公民館活動～」	5/12	1	60	公民館
			公民館まつり保育室でおはなし会	5/12	1	27	公民館
	保育室運営		保育者連絡会(全10回)	4/11～3/13	1	9	公民館
			保育者研修会	1/16	1	5	公民館
			公民館保育室で遊ぼう	9/19、2/22	2	52	公民館
	各室運営		小ホール・集会室・音楽室利用団体懇談会	3/22	1	26団体	公民館
			美術工芸室・和室利用団体懇談会	3/22	1	12団体	公民館
			会議室等利用団体懇談会	3/29	1	17団体	公民館
			実習室利用団体懇談会	3/29	1	6団体	公民館
			ボックス抽選会	3/8	1	86団体	公民館

基本施策5-2	担当課	社会教育課、市民会館・公民館
学習活動の支援		

主な取組【担当課】		取組実績
1	生涯学習の機会の提供 及び支援 【社会教育課】	市や社会福祉協議会、観光まちづくり協会が実施する講座や教室、相談窓口の情報をまとめた「あきしま学びガイド」を発行し、市内公共施設等での配布やホームページでの公開を実施した。
2	社会教育関係団体の育成 【社会教育課】	社会教育委員と行政が市民の声を聴き、社会教育活動を行うものが互いに情報を共有し繋がりを作る場として、市内のいろいろな活動をする人が取り組みを発表し、振り返り、昭島全体をよくしていくためにどうすればいいか、何が必要かを話し合うことを目的に、あきしま会議を開催した。40人が参加し、その内14人が日頃の活動を発表した。
3	市立会館管理運営事業 【社会教育課】	市民の活動拠点や地域の情報交換の場として市民が快適に利用できるよう、福島会館エレベーター改修工事を実施するとともに、再生可能エネルギーの導入及び災害時のレジリエンス機能強化のため、大神会館太陽光発電設備等設置工事を実施した。11会館の令和6年度の利用者は28,463団体、256,047人であった。
4	障害のある青年の交流 講座の実施 【市民会館・公民館】	障害のある青年達が集団活動を展開するなかで交流を深め、たくましく生きていく力を身に付けることを目的に、開講のつどい、よさこいソーラン、合宿や遠足、料理づくりやレクリエーション、クリスマスのつどいなど年間を通して21回実施した。

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている	ソフト、ハード面で生涯学習活動の機会及び情報の提供を行い、市民相互と地域のつながりを育てる生涯学習の推進が図られた。 障害のある青年の交流講座では、青少年フェスティバルのステージやくじら祭のパレードで、よさこいソーランを披露した。またコロナ禍により延期となっていた合宿を6年ぶりに実施した。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C…一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
	E… 施策の成果を全く得られなかった	
主な課題		
(ア)生涯学習の機会の提供について 市民団体の活動内容、会員募集などの情報発信について検討が必要である。また、老朽化した施設の改修や備品等の入替が必要である。 (イ)障害のある青年の交流講座について 障害のある青年の交流講座では職員とボランティア数人で事業を行っている。令和6年度には合宿を実施することができ、事業の充実が図られたが、参加者に対しボランティアの人数が少なく、安全に活動をするうえでボランティアの存在は大きいため、継続して増員を図る必要がある。		
今後の取組の方向性		
(ア)生涯学習の機会の提供について 「だれもが、いつでも、どこでも」自由に学ぶことができる環境を整備し、快適に利用できる施設の維持・管理に努める。また、市民のニーズを捉えた情報提供について研究を行う。 (イ)障害のある青年の交流講座の実施について 障害のある青年の交流講座においては、ホームページや公民館だより、SNSを活用して引き続きボランティアを募り、また大学等の教育機関と連携してボランティアの増員を図る。		

*あきしま学びガイド…昭島市等の事業として行われる講座や教室などの情報を掲載した生涯学習情報誌
昭島市HP>文化・スポーツ>生涯学習>あきしま学びガイド
<https://www.city.akishima.lg.jp/s122/040/020/080/010/20140912131648.html>

令和6年度版 あきしま学びガイド



令和6年4月1日現在の情報で、市民の方が参加できる情報を簡単に掲載しています。
事業によっては、費用負担があります。
詳しくは、各担当へお問い合わせいただくか、「広報あきしま」をご覧ください。
問い合わせ先に電話番号の記載のないものは、昭島市役所 電話 042-544-5111 (担当・係へ)

目次	掲載内容	ページ
子どものための講座・教室、交流事業	各種講座・教室(スポーツを除く)、公民館・市民図書館・児童センター「ばれっと」の事業、学習の発表など	2
おとなのための講座・教室	各種講座・教室(スポーツを除く)、公民館・市民図書館の事業など	7
乳幼児、子どもの健康・出産・育児	フレッシュママ・パパ学級、離乳食講座、初めての歯磨き教室、歯の保健衛生講習会など	11
健康・介護・保健衛生	各種講座・教室、ゲートキーパー研修、男性介護者学習会・交流会など	12
地域活動、防災・減災、交通安全	市民のニーズを活かす・つなげる あきしま会議、防災研修会、空家対策セミナーなど	14
ボランティア・福祉	ボランティア養成講座、手話講習会、手話通訳者派遣、ファミリー・サポート・センター協力会員養成講習会、知的障害者(児)ガイドヘルパー養成研修など	15
環境、農業、リサイクル	ごみ減量啓発講座、森林教室、環境学習講座、農ウオーク、フリーマーケットなど	16
スポーツ・レクリエーション	子ども向け、おとな向け、スポーツの大会・イベント、野外活動支援など	17
各種相談	法律、教育、子育て、健康など、様々な相談窓口一覧	21
展示	アキシマクジラ化石などの展示、拝島駅自由通路での展示、郷土資料室、郷土資料展示室など	23
昭島生涯学習サポーターの会 まなぶん		24
子どもたちの学習支援&居場所づくり		25
認知症カフェ		26
生涯学習援助協力者 登録・紹介		27

▼市民のニーズを活かす・つなげるあきしま会議

(昭島市HP>文化・スポーツ>生涯学習>社会教育委員>市民のニーズを活かす・つなげるあきしま会議)

<https://www.city.akishima.lg.jp/s122/040/020/030/20211215142032.html>



▼障害のある青年の交流講座(健康体操)



▼障害のある青年の交流講座(開講のつどい)

羽村市チューリップまつり見学



基本施策5-3	担当課	社会教育課、市民会館・公民館
学習成果の活用		

主な取組【担当課】		取組実績
1	生涯学習サポーターの養成と活用【社会教育課】	10回目となる生涯学習サポーター養成講座を開催した。また、受講生が結成した「昭島生涯学習サポーターの会まなぶん」との共催で、数楽で脳トレ、絵本の読み聞かせ講座、音訳入門講座などを開催した。
2	市民大学の実施【市民会館・公民館】	市民としての自治能力を培い、学びの成果を地域で活かせるように、総合的な学びの場として第11期市民大学第2年次課程を実施した。

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている	昭島生涯学習サポーターの会まなぶンは積極的に事業を企画し、養成講座における学習成果の活用が図られている。 市民大学では、様々な課題を学習することで知識を深め自己実現を図り、地域社会に参加するきっかけとなっており、一定の成果を得られている。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
	E… 施策の成果を全く得られなかった	
主な課題		
<u>(ア)生涯学習サポーターの養成と活用について</u> 生涯学習サポーター養成講座の参加者募集については、広報あきしまのほか、ホームページ、LINE等も活用しているが、参加人数の大幅な増加には至っていない。		
<u>(イ)市民大学の実施について</u> 2年次には、3つのコースに分かれグループごとに学習し、チューターの助言のもとに各自で学習を深め、小論文を作成することができた。ただし一部途中で断念した方や、3年次の公開講座を開催することが難しくなるグループもあり、参加者同士がグループ化して学習活動を継続できる体制のサポートなどが、今後の課題として残された。		
今後の取組の方向性		
<u>(ア)生涯学習サポーターの養成と活用について</u> 生涯学習サポーター養成講座の参加者募集については、既存の周知方法に加え、他の講座開催時にチラシを配布するなどして、幅広い周知に努める。		
<u>(イ)市民大学の実施について</u> 市民大学各期の卒業生で組織されている市民大学フォーラムとの連携を強化し、卒業後もフォーラムに加入し、継続した学習活動や地域活動を行えるようにサポートする体制の充実を図っていく。		

(参考資料)

生涯学習サポーター養成講座とまなぶん共催事業の参加者数等

事業名	内容	回数	人数
生涯学習サポーター養成講座(全4回)	市民の声を聞き届けることのできる人材育成と、生涯学習サポーターの活動事例から市民相互をつなげる生涯学習を学ぶ	1	6
<まなぶん共催事業>			
数楽で脳トレ(全2回)	爆発する大きな数など	2	37
(全3回)		2	25
絵本の読み聞かせ講座(全5回)	音読、朗読を学んでみたい方のための講座	1	14
音訳入門講座(全5回)	音訳を学んでみたい方のための講座	1	12
小学生リコーダー教室	夏休み〜リコーダーをもってあつまれ!リコーダーでバッハのメヌエットを吹こう!	1	11
はじめての染色	藍染	2	24
生花で花育講座	アレンジ用のグッズ等を使用し、個性を表現することを楽しむ	2	19

142

【11期市民大学2年次コース別日程】

チューター（指導：助言者）

*「福祉コース」大島 隆代 先生（文教大学准教授）

*「環境コース」中岡 章 先生（エコット政策研究センター代表）

*「歴史コース」三村 章 先生（昭島市教育委員会近代史調査員）

	福祉 (第2会議室)	環境 (第3会議室)	歴史 (学習会議室)	備考
1	5月18日 午前10時～正午 共通学習「地域学習の意義」 岩松 真紀先生 明治大学講師			
2	6月1日「オリエンテーション・調べ学習を学ぶ」 講師：中村伸子さん（図書館振興財団）			
3	6月15日「学習をスムーズに進めるために」 講師：市民大学各コースOB・OG			
4	6月29日	6月22日	6月22日	福祉、環境、歴史コースに分かれて14～15回程度の学習を通して地域課題などについて学び、小論文を作成する。 ◇小論文の作成 ①序論：論文全体の紹介。なぜそのテーマを取り上げたのかなどを書く。 ②本論：調べた資料や調査結果などから分かったことを書く。 ③結論：自分の感じた最終的な結論を書く。 講師：各コースチューター ◇冊子の印刷・製本 各コースごと的小論文の原稿を1冊にまとめ、印刷から製本までを行う。
5	7月20日	7月6日	7月6日	
6	7月27日 ※オンライン	7月27日	7月20日	
7	8月24日	8月24日	8月24日	
8	9月7日	9月7日	9月7日	
9	9月28日	9月28日	9月28日	
10	10月5日	10月5日	10月5日	
11	10月19日	10月19日	10月19日	
12	11月2日	11月16日	11月16日	
13	11月9日	11月30日	11月30日	
14	12月7日	12月7日	12月7日	
15	12月21日	12月14日	12月14日	
16	1月11日	1月18日	1月18日	
17	1月25日	1月25日	1月25日	
18	2月8日 「学んだ成果を地域に活かそう～身近な活動から学ぶ～」			講師：社会協議協議会職員
19	2月22日 3コース合同での発表会			講師：各コースチューター
20	3月1日 2年間の振り返りと今後についての話し合い			
21	3月15日 修了式			講師：各コースチューター

※10月の会場については、アキシマエンス校舎棟202～204会議室で実施。

※1月29日環境コースフィールドワーク「栗田工業見学会」を実施。

※3月8日歴史コースフィールドワーク「昭和天皇記念館見学」を実施。

基本施策5 生涯を通じた学習活動の推進

自己評価のまとめと外部評価員の評価と意見

教育委員会の自己評価 まとめ				自己評価	該当頁
1 学習機会の提供				B	76,77
2 学習活動の支援				B	78,79
3 学習成果の活用				B	80,81
政策指標					
生涯学習講座などの参加者数	令和元年度	令和5年度	令和6年度	令和8年度 目標値	
	2,266人	2,670人	2,714人	2,600人	
公民館年間延べ利用者数	119,387人	92,475人	75,299人	130,000人	

外部評価員の評価と意見		外部評価員	倉持 伸江
外部評価員の評価			
4	5 … 施策は順調に推進され、ねらい以上の成果がでている。		
	4 … 施策は順調に推進されている。		
	3 … 一部課題があり工夫が必要だが、施策は概ね順調に推進されている。		
	2 … 施策を推進させるのに困難な課題がある。		
	1 … 施策の推進に全く至っていない。		
外部評価員の意見			
「だれもが、いつでも、どこでも」自由に学ぶことができる環境を整えたような学習活動を支援するために、市民にわかりやすい生涯学習情報を提供すること、生涯学習サポーターの養成など地域で活動する人材や団体のつながりを広げること、市民のニーズに応じた生涯学習活動への参加を支援すること、学習の成果を生かして市民相互と地域のつながりを育てる生涯学習を推進することが本施策の方向性として示されています。 「基本施策5-1学習機会の提供」では、多種多様な公民館事業や、デジタルデバインド解消のための教室が実施されました。講座によっては、参加者数が定員に達していないものも見受けられます。必ずしも人数だけが講座を評価する指標ではありませんが、テーマや内容、方法、講師などを工夫して、市民の関心や参加意欲を引き出すよう努めてください。 「基本施策5-2学習活動の支援」について、さまざまな市民の関心やニーズに応じた生涯学習の機会の提供や支援、団体の育成に取り組まれています。障害者の生涯学習について、全国的な推進課題となっていますので、障害のある青年の交流講座以外にも、障害のある市民が参加できる学習機会を充実してください。			

第4章 点検及び評価に関する外部評価員の評価と意見

【工藤 文三】（学校教育分野）

プロフィール

・浦和大学 こども学部 特任教授 / 国立教育政策研究所 名誉所員

川崎市総合教育センター専門員

<主な経歴>

国立教育政策研究所初等中等教育研究部長 / 大阪体育大学教育学部教授・学部長

日本カリキュラム学会 理事 / 東京都教育委員会 東京都学力向上施策検討委員会委員

総評

昭島市教育振興基本計画（令和4年度～令和8年度）の学校教育の推進については、学校教育の目標とそれを実現するための基本方針に基づき、4つの基本施策が設定され、それぞれの基本施策はさらに具体的な施策、主な取組として具体化されている。本年度対象とされた「主な取組」については、いずれも着実に実施され、「施策は順調に推進されている」と評価できる。多くの取組が相乗的に働き、児童・生徒の豊かな成長につながっていることがうかがわれる。

各施策に基づく取組については、その成果として児童・生徒の育ちや成長として現れるものもあれば、防止や予防を目的とする取組もある。いずれにしても、取組の成果がデータとしても示されるものについては、成果と課題の分析と整理を行い、その後どのような取組と改善につながっていったのかを、さらに示すことができるとよいのではないかと期待したい。

令和6年度は教育振興基本計画の中間点であり、令和7年度・令和8年度の取組については、これまでの取組と実績の評価を踏まえ、学校教育の“不易”の取組は確実なものとしながら、今後の学校教育を取り巻く環境変化や学校教育への要請課題等を把握・整理し、次期教育振興計画への移行を視野に入れたものとなることを期待したい。

基本施策1 確かな学力の定着

（24頁 再掲載）

評価：4 施策は順調に推進されている。

基本施策1-1 教員の資質能力向上に関わる取組、学力調査の結果等を活用した授業改善の取組、学習規律の徹底や習熟度別指導、土曜日・放課後補習の実施など、学力の向上・定着を図るための多角的な取組が実施されている。令和6年度「昭島市立学校の児童・生徒及び保護者アンケート」の結果からも、授業の理解の状況、授業への取組の状況等について肯定的な回答の割合が高くなっていることが分かる。今後、各学校における個に応じた指導の充実や家庭学習の充実などを通して、取組の成果が全国学力・学習状況調査等の結果にも示されていくことを期待したい。

基本施策1-3 学校図書館の活用が、教科学習における話し合い学習や探究的な学習に生かされ、言語能力の向上や児童・生徒一人ひとりの表現力の向上につながったことが推測される。「図書館を使った調べる学習コンクール」や「子どもの主張意見文コンクール」への参加・応募も含め、読書活動を通じて探究する楽しさを味わい、知識・技能を深め、思考力・表現力を豊かなものにしていくことを期待したい。

基本施策１－４ 特別支援教育については、教育内容、教員研修、学習指導の充実、交流・共同学習など多角的な取組が進められている。また、就学援助及び特別支援教育就学奨励についても着実に実施されている。教職員の専門性、授業力の一層の向上を図り、個に応じた支援の充実につながることを期待したい。

基本施策２ 豊かな心の醸成

(31 頁 再掲載)

評価：４ 施策は順調に推進されている。

基本施策２－１ 人権教育に関わる研修の開催、人権教育の理解促進を図る取組、人権パネル展・人権標語等の取組が、児童・生徒の人権尊重の意義の理解を深め、人権尊重の精神のかん養に寄与していることがうかがわれる。今後は「主な課題」にも記されている「新たな人権課題」についても、教育実践への具体化に向けた取組を期待したい。

基本施策２－２ 「主な課題」にも記されているように、児童・生徒が道徳的価値に関わる課題について、多面的・多角的に考察し、自分との関わりで考え、議論しながら主体的に判断していくような学習の在り方について検討し、授業改善につなげていくことを期待したい。

基本施策２－３ 間接体験や疑似体験の機会が増大している今日、小・中学校を通じて豊かな体験活動を積み重ねていくことは、児童・生徒の感性を豊かにし、事象への興味・関心を引き出し、社会性や協調性、規範意識の醸成にもつながることが期待される。引き続き豊かな体験活動の継続を期待したい。

基本施策２－４ いじめの防止、早期発見、早期対応が徹底して行われるよう、多くの取組が実施されている。不登校及び不登校傾向にある児童・生徒に対する教育支援、保護者との連携等も進められている。いじめの防止については、児童・生徒の学校生活の基盤である学級において、いじめを生まない、いじめを許さない学級づくりに向けた取組の継続を期待したい。

基本施策３ 健やかな体の育成

(37 頁 再掲載)

評価：４ 施策は順調に推進されている。

基本施策３－１ 令和６年度「昭島市立学校の児童・生徒及び保護者アンケート」からも「グッドモーニング 60 分」の取組の成果がうかがえる。令和６年度「東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査」の結果から、小学校・中学校の学年ごと、男女別に増加量に違いがあることなどを踏まえ、体育の授業における指導の工夫改善等を進めるとともに、体を動かしたり運動したりすることが好きな児童・生徒を増やすことに努めていただきたい。スマートフォンやタブレットの長時間の使用は、視力の低下だけでなく体を動かす機会の減少につながることにについても注意を喚起したい。

基本施策３－２ 安全・安心な学校給食の推進に向けた取組、学校給食を通じた食育の推進が着実に進められている。引き続きそれぞれの取組について、充実したものとなることを期待したい。

基本施策３－３ 学校保健安全については、学校として求められる基礎的な取組と同時に、具体的な課題に対応した取組が実施されている。アレルギー疾患対応、薬物乱用防止、がん教育、セーフティ教室ともに、着実に取組が進められた。

評価：4 施策は順調に推進されている。

基本施策4－1 学校間連携の取組の基本は、幼児・児童・生徒の相互交流、学校種を越えた教員による幼児・児童・生徒理解、教育内容・方法等の理解にあると考える。また、円滑な接続を促すカリキュラムと学習指導の工夫、連携を促す組織体制も重要である。この点で、連携教育に向けた取組が着実に実施されており、引き続き更なる取組の充実を期待したい。

基本施策4－3 ここであげる取組は、基本施策1の「確かな学力の定着」を支える取組の一つであり、引き続き取組の充実を期待したい。

基本施策4－4 学校経営については、目標－計画－実施－評価－改善のサイクルが確立しており、また、授業力等の向上を目指す教員研修も計画的に実施されている。地域資源の活用や地域と連携した学校の教育力の向上については、その具体的な方策についてさらに深めていくことを期待したい。

基本施策4－6 授業におけるICTの活用については、授業改善に欠かせない契機として位置づけ、教科等の特性や学年段階、指導内容等に応じた効果的な活用方法が共有されていくことを期待したい。

基本施策4－8 外国の言語に関する教育の機会の提供や体験活動、海外交流事業等の取組が着実に実施されている。各学校の教育課程の編成・実施とも連動させながら、継続した取組を期待したい。

【倉持 伸江】（生涯学習分野）

プロフィール

・東京学芸大学教育学部教育学講座生涯教育学分野 准教授

<主な経歴>

立川市生涯学習推進審議会委員 / 所沢市公民館運営審議会委員

東京都生涯学習審議会委員

総評

猛威を振るった新型コロナウイルス感染症の社会活動への影響がほとんどなくなり、生涯学習の推進事業が活発に展開されました。「文化芸術活動の促進」「文化財の保護・調査・活用」「スポーツ・レクリエーションの振興」「図書館活動の充実」「生涯を通じた学習活動の推進」の5つの基本施策の取り組みが、「市民相互と地域のつながりを育てる生涯学習」という目標に向けて、着実に実施されていると思います。

地域の資源を活用した、さまざまな市民ニーズに応じた多様な生涯学習、文化芸術活動、スポーツ・レクリエーションの機会が提供されていることは高く評価できます。また、図書館、市民会館・公民館、郷土資料室・郷土資料展示室などの施設・場が、地域の学習拠点として有効に機能していることが見て取れます。

地域の生涯学習活動の推進にあたっては、「学習と活動の循環」をいかに促していくかが重要です。地域の生涯学習にまだ参加していない市民に積極的に働きかけ、すそ野を広げる学びのきっかけづくりに取り組むとともに、学びの成果をいかしてグループ活動やボランティア、地域活動などの活動を始めたり、継続したり、広げたりすることを促すための支援にも、力を入れていってほしいと思います。

基本施策Ⅰ 文化芸術活動の促進

（59 頁 再掲載）

評価：4 施策は順調に推進されている。

文化芸術に対する市民の関心と理解を深めるために、誰もが芸術作品を身近に鑑賞できる機会の充実を図ること、文化芸術に係る市民の自主的な活動への支援を行うこと、文化活動の成果を発表する機会を提供すること、昭島市文化芸術推進基本計画に基づき幅広い分野との連携を図りながら文化芸術を通して多様な交流を推進することが、本施策の方向性として示されています。

「基本施策Ⅰ-Ⅰ 文化芸術活動への支援」では、市民文化祭のチラシを全戸配布するなど事業のPRと集客の工夫が感じられる。一方で、参加する文化芸術団体数や出場者数が高齢化等の理由により、コロナ禍以前の水準まで達していないとの課題がある。長期にわたって活動を継続してきた団体への支援とともに、新しく立ち上がった団体への参加を働きかけることや、他の生涯学習事業と連携し団体設立そのものをバックアップするなど、幅広い取り組みが求められます。

「基本施策Ⅰ-2 文化芸術に接する機会の充実」における「ふれあいコンサート」について、申し込みが数日で定員に達するなど市民ニーズに応じた機会の提供となっていますが、一方で申し込み数に対する当日の参加者数の割合がやや低いことが気になります。より多くの市民が文化芸術に接する機会を実現するために、さらなる工夫を期待します。

「基本施策 1-3 多様な主体と連携した文化芸術活動の促進」では、企画や運営に市民や当事者が参加・参画し、連携・協働が積極的に図られたユニークな事業が展開されていることは、高く評価できます。今後もぜひ継続してください。

基本施策 2 文化財の保護・調査・活用

(63 頁 再掲載)

評価：4 施策は順調に推進されている。

地域の暮らしの中で守られ継承されてきた文化財を次世代に確実に継承するため、文化遺産を調査・研究し計画的な保護・保存と活用を図ること、教育の場で効果的な活用を図ること、地域の歴史や文化への理解を促進することが、本施策の方向性として示されています。

「基本施策 2-1 文化財の保護・保存・調査・研究の推進」では、郷土資料室・郷土資料展示室の入場者数が目標値には届いていないものの、開館年度を除き着実に増加してきており、企画展の工夫など、取り組みの成果を一定程度認めることができます。今後も市民の関心を引き出す魅力的な展示に努めてほしいと思います。

「基本施策 2-2 文化財の活用と継承の支援」では、市史・文化財資料図書の発刊やデジタルアーカイブズの充実など、昭島の歴史と文化財への理解を促す取り組みが充実していました。

基本施策 3 スポーツ・レクリエーションの振興

(68 頁 再掲載)

評価：5 施策は順調に推進され、ねらい以上の成果がでている。

市民が健やかでより豊かな生活を実現するため、「いつでも どこでも いつまでも」スポーツ・レクリエーションに親しむ地域スポーツ社会を実現すること、市民のニーズに応じた活動・普及促進と環境整備に取り組むこと、東京 2020 オリンピック・パラリンピック大会のレガシーとしてスポーツ習慣の定着に取り組むことが本施策の方向性として示されています。

「基本施策 3-1 スポーツ・レクリエーション活動の普及・促進」では、スポーツ教室や体験会など様々な機会を提供することができています。ただ、スポーツ推進計画に掲げる数値目標には達していないため、今後こうした活動に新規で参加する人を増やす取り組みを積極的に行うことが期待されます。また、施策の方向性に「個々のライフステージに応じた」とあるように、多様な世代の参加者のニーズに応える工夫も求められます。

「基本施策 3-2 スポーツ・レクリエーション環境の整備」では、市民の要望に応える施設整備が行われており、高く評価できます。

「基本施策 3-3 人材の育成・地域交流の促進」では、コロナ禍をきっかけに、市民体育大会の運営が難しくなっている地域が見受けられ、活発に行っている地域との間で差が生じてきています。生活状況やライフスタイルの変化などもある中で、今の時代に合った運営・支援の在り方を検討してください。

基本施策 4 図書館活動の充実

(75 頁 再掲載)

評価：3 一部課題があり工夫が必要だが、施策は概ね順調に推進されている。

昭島市民図書館基本方針・基本計画に基づき、学び成長を応援すること、仕事や暮らしに役立つこと、誰にでも利用しやすいこと、地域や学校との連携を図ることなどを通して、図書館サービスの充実に努めることが本施策の方向性として示されています。

「基本施策 4-1 多様な情報・資料の提供」では、電子書籍の蔵書数や利用者数に課題があるため自己評価がCとなっているが、市民の様々な要望に応じたサービスの提供について前向きに取り組んでいることがうかがえます。

「基本施策 4-2 図書館利用の促進」について、子ども読書活動推進計画の推進、学校図書館との連携、中学高校生の読書フォーラムなど、子どもを対象とした図書館利用や読書の推進について、多角的かつ活発に行われています。

「基本施策 4-3 図書館を拠点とした活動の支援」について、図書館ボランティアとの協働に課題があり残念ながら昨年度に引き続き自己評価がCでした。図書館ボランティア活動を魅力的なものとし、活躍の場を広げることは、図書館活動の充実を図るとともに、学習と活動の循環を促し、地域の生涯学習そのものを活性化するために重要なことです。現在の課題を分析し、さまざまな市民に積極的に呼びかけていってください。

基本施策 5 生涯を通じた学習活動の推進

(82 頁 再掲載)

評価：4 施策は順調に推進されている。

「だれもが、いつでも、どこでも」自由に学ぶことができる環境を整えたような学習活動を支援するために、市民にわかりやすい生涯学習情報を提供すること、生涯学習サポーターの養成など地域で活動する人材や団体のつながりを広げること、市民のニーズに応じた生涯学習活動への参加を支援すること、学習の成果を生かして市民相互と地域のつながりを育てる生涯学習を推進することが本施策の方向性として示されています。

「基本施策 5-1 学習機会の提供」では、多種多様な公民館事業や、デジタルデバインド解消のための教室が実施されました。講座によっては、参加者数が定員に達していないものも見受けられます。必ずしも人数だけが講座を評価する指標ではありませんが、テーマや内容、方法、講師などを工夫して、市民の関心や参加意欲を引き出すよう努めてください。

「基本施策 5-2 学習活動の支援」について、さまざまな市民の関心やニーズに応じた生涯学習の機会の提供や支援、団体の育成に取り組まれています。障害者の生涯学習について、全国的な推進課題となっていますので、障害のある青年の交流講座以外にも、障害のある市民が参加できる学習機会を充実してください。

第5章 資料

参考資料一覧

I 昭島市教育関連計画

【参照 URL、公開場所】

①昭島市ホームページ トップページ > 子育て・教育 > 教育委員会 > 大綱と計画

<https://www.city.akishima.lg.jp/li/020/020/120/010/index.html>

②昭島市ホームページ トップページ > 市政情報 > 企画・政策

<https://www.city.akishima.lg.jp/li/060/070/index.html>

計画名	主管課／作成者	公開場所
昭島市教育振興基本計画	教育総務課	①
昭島市特別支援教育推進計画	指導課	①
昭島市子ども読書活動推進計画	アキシマエンス管理課	①
昭島市スポーツ推進計画	スポーツ振興課	①
昭島市文化芸術推進基本計画	企画政策課	②
昭島市民図書館基本方針・基本計画	アキシマエンス管理課	①

II 参考資料

教育委員会の開催日時・場所、各回の議案・協議事項・報告事項、議事録を市公式ホームページで公開しています。（議事録等は市役所でも閲覧可能です。）

昭島市ホームページ トップページ > 子育て・教育 > 教育委員会 > 教育委員会定例会

<https://www.city.akishima.lg.jp/li/020/020/140/020/index.html>

資料名	主管課／作成者	参照 URL、公開場所
令和6年度「昭島市立学校の児童・生徒及び保護者アンケート」の調査結果	指導課	令和7年昭島市教育委員会第2回定例会 報告事項2 https://www.city.akishima.lg.jp/s111/010/020/030/010/012/120/0/0702houkoku2.pdf
令和6年度 昭島市立学校学校経営重点計画（教育推進計画）年度末評価の結果について	指導課 （各学校）	令和7年昭島市教育委員会第5回定例会 報告事項3 https://www.city.akishima.lg.jp/s111/010/020/030/010/012/150/0/0705houkoku3.pdf

昭島市教育委員会の事務事業に関する 点検及び評価報告書（令和６年度分）

発行年月 令和７年８月
発行 昭島市教育委員会
編集 昭島市教育委員会 学校教育部 教育総務課
〒196-8511
東京都昭島市田中町 1-17-1
電 話 042-544-5111（代表）
F A X 042-541-4337